分析者	山形県天童市	利用場面	RESASを活用した政策立案ワークショップ2020（令和2年度）

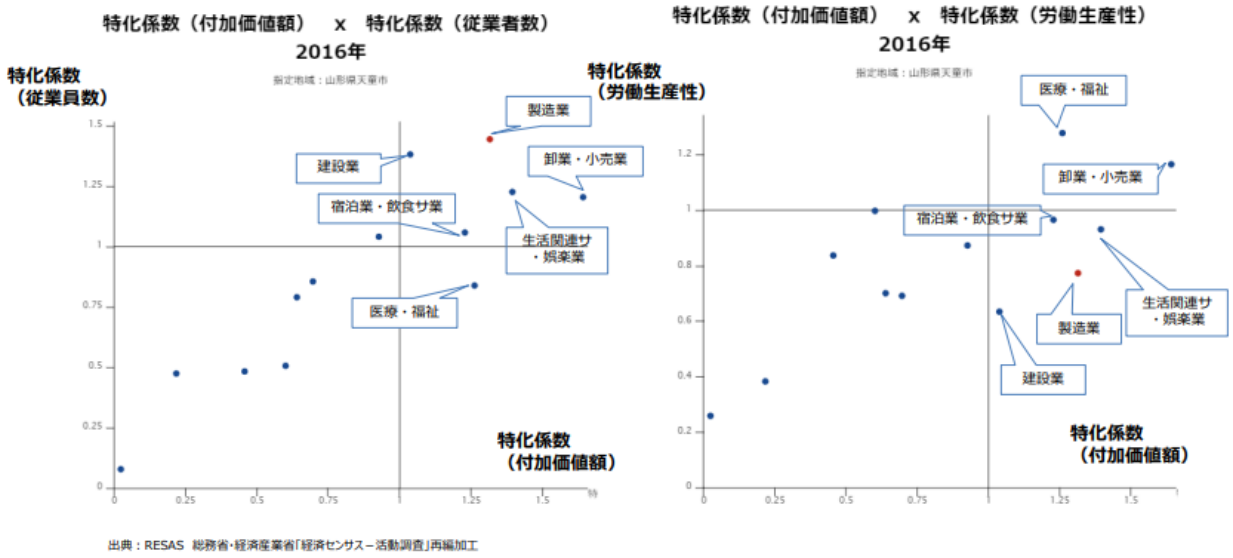
活用目的			
現状の把握	課題の特定	戦略・施策の検討	効果の検証
○	○	○	

地域課題キーワード
【製造業】労働生産性の低下

分析者			
教育機関	地方公共団体	研究機関	民間企業・団体
	○		

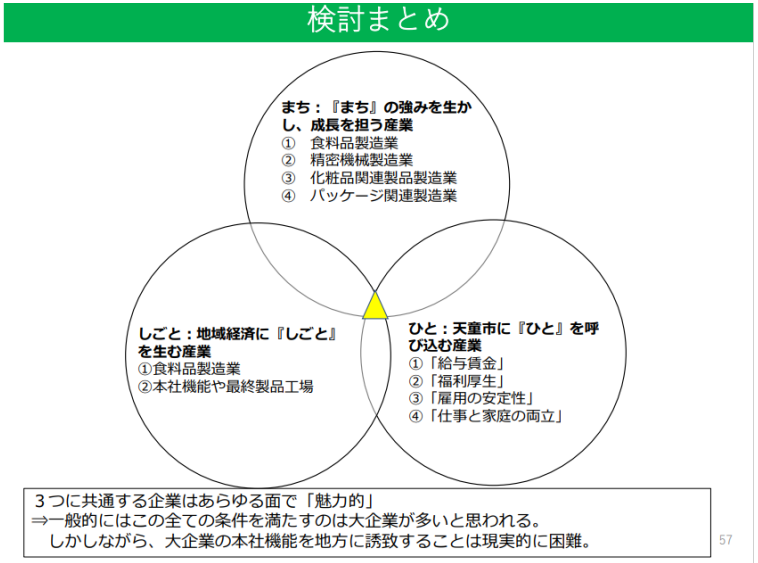
データ活用の目的	山形県天童市における、製造業の労働生産性の向上のための施策を検討する。
分析内容	● 売上高・付加価値額・従業者数については、「製造業」「卸売業・小売業」の割合が大きい。 ● 事業所数では、「卸売業・小売業」の割合が大きい。 ● 製造業について、付加価値構成比・従業員数構成比は全国を上回るが、労働生産性については全国を下回る。 ● すべての業種で賃金が低く、雇用者所得が全国平均を下回る。
地域の課題	● 多数の従業員数を抱える製造業をはじめとして、多くの産業の労働生産性が低いため、付加価値を高める必要がある。 ● 魅力ある雇用を創出し人口の流入を図る上で、効果的な企業誘致の方向性や持続的な経済発展に向けた検討が必要である。
戦略・施策	雇用の受皿として大きな役割を占める製造業の誘致を図る。特に、『ひと』を呼び込み、地域内に『しごと』を生み、『まち』の強みを生かし、今後の成長を担う業種を重点的に誘致する。 ● まち：『まち』の強みを生かし、成長を担う産業として食料品製造業、精密機械製造業、化粧品関連製品製造業、パッケージ関連製造業が該当する。 ● しごと：地域経済に『しごと』を生む産業として食料品製造業、本社機能や最終製品工場が該当する。 ● ひと：天童市に『ひと』を呼び込む産業として給与賃金、福利厚生、雇用の安定性、仕事と家庭の両立に魅力がある産業が該当する。

特化係数（付加価値額、従業者数、労働生産性）に関する分析



【出典】山形県天童市　結果概要

政策アイデア



【出典】山形県天童市　結果概要

RESASを活用した政策立案ワークショップ2020（令和2年度）

山形県天童市
地域の魅力ある雇用創出に向けた施策検討
～企業誘致の視点から～

活用目的			
現状の把握	課題の特定	戦略・施策の検討	効果の検証
○	○	○	

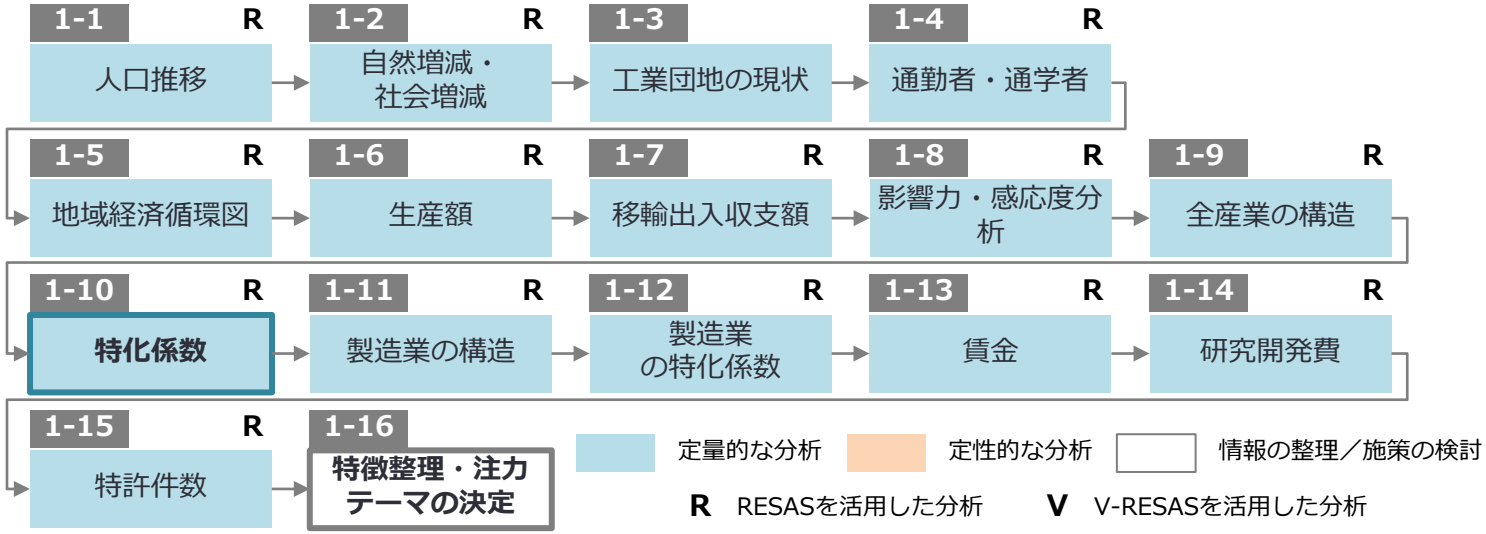
地域課題キーワード
【製造業】労働生産性の低下

分析者			
教育機関	地方公共団体	研究機関	民間企業・団体
	○		

利用データ・メニュー
【人口】人口構成、人口増減、人口の自然増減、人口の社会増減、【地域経済循環】地域経済循環図、生産分析、【全産業】全産業の構造、稼ぐ力分析、【製造業】製造業の構造、製造業の比較、【雇用】一人当たり賃金 、【研究開発】研究開発費の比較、特許分布図、

現状の把握、課題の特定

プロセス



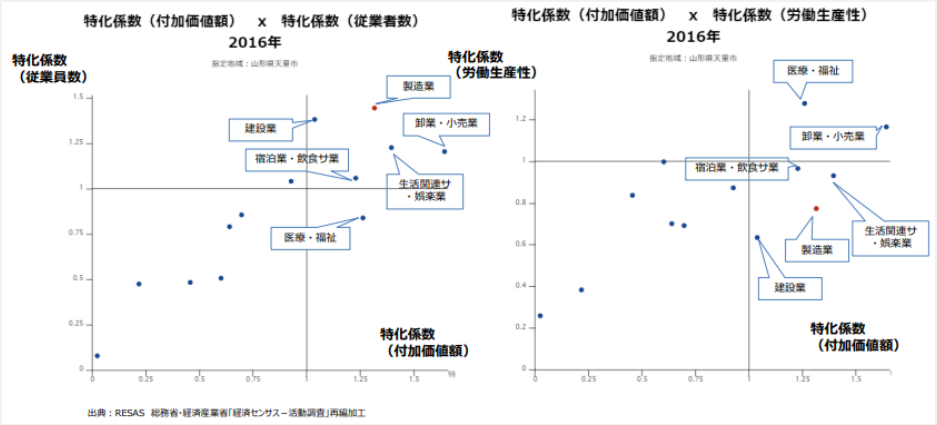
- 人口推移、自然増減・社会増減、通勤者・通学者の分析から人口の現状を把握した。
- 地域経済循環図、生産額、移輸出入収支額の分析から域外収支の現状を把握した。
- 全産業の構造、特化係数の分析から強みのある産業を把握した。
- 特許件数の分析から、特許の現状を把握した。
- 分析結果を踏まえてSWOT分析を利用しながら天童市の特徴を整理し、製造業をはじめとした多くの産業で労働生産性が低いという課題を特定した。また、注力テーマも分析結果を踏まえた上で決定した。

内容

1-10 R 特化係数

付加価値額構成比、従業者数構成比、労働生産性といった異なる特化係数を軸に設定した散布図において、1を基準に4つの象限に分解して分析することで、両者が共に1を超える象限にあり、全国を上回る数値が出ている産業を特定した。

特化係数（付加価値額、従業者数、労働生産性）に関する分析

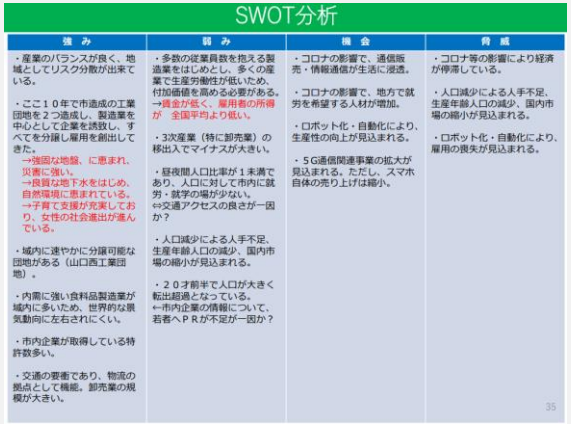


【出典】山形県天童市　結果概要

1-16 特徴整理・注力テーマの決定

データ分析の内容を、人口、域外収支、産業大分類、各種特化係数、特許出願の5つの項目で整理した。また、地域特性の情報も含めてSWOT分析のフレームワークを利用し、地域の強み、弱み、機会、脅威を整理し、課題を抽出した。

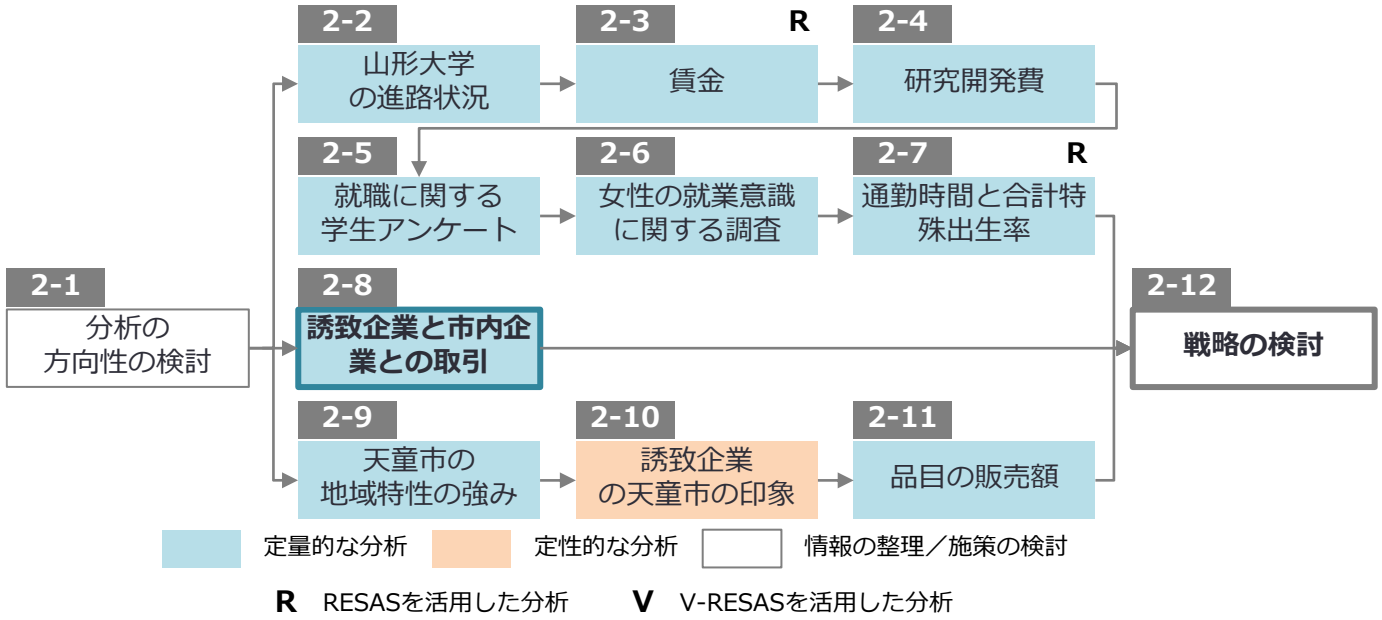
SWOT分析による分析結果などの整理



【出典】山形県天童市　結果概要

戦略・施策の検討

プロセス



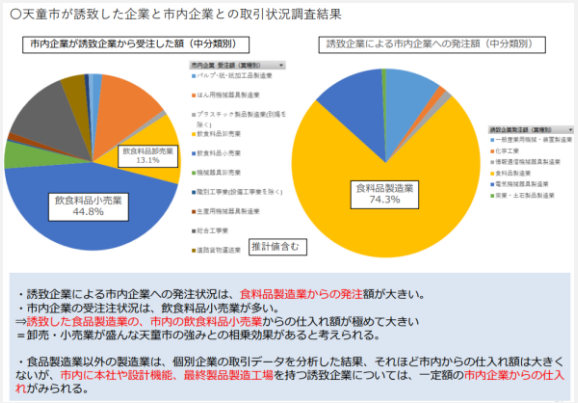
- まち、ひと、しごとのフレームワークに則り、「まち」の強みを生かし成長を担う産業、天童市に「ひと」を呼び込む産業、地域経済に「しごと」を生む産業の分析を進めた。
- 「ひと」を呼び込む産業ではアンケート調査を中心に若者にとって魅力的な仕事を特定した。
- 地域経済に「しごと」を生む産業では誘致企業と市内企業の取引状況を分析した。
- 「まち」の強みを生かし成長を担う産業では地域特性、品目の販売額を分析した。
- 最後に分析結果をフレームワークに整理することで誘致すべき産業を特定した。

内容

2-8 誘致企業と市内企業との取引

市内企業が誘致企業から受注した額及び誘致企業による市内企業への発注額について、産業中分類別に全体に占める割合を分析することで、市内企業への波及効果が高い産業を把握した。

誘致企業と市内企業との取引状況

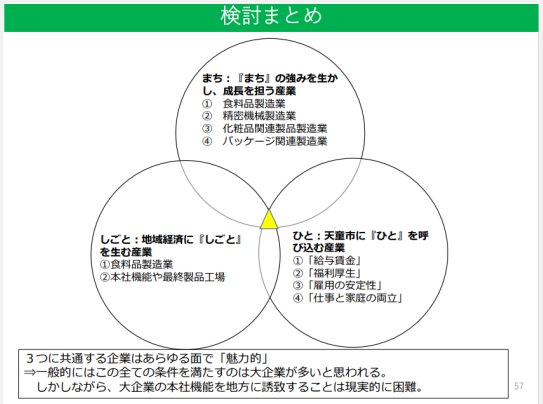


【出典】山形県天童市　結果概要

2-12 戦略の検討

まち、ひと、しごとのフレームワークを利用し、これまでの分析結果をフレームワークに整理した。まち、ひと、しごと、のうち２つの条件を満たす産業を誘致すべき産業とした。

政策アイデア



【出典】山形県天童市　結果概要

分析者作成資料

RESASを活用した政策立案
ワークショップ2020（令和2年度）

山形県天童市
地域の魅力ある雇用創出に向けた施策検討
～企業誘致の視点から～

活用目的			
現状の把握	課題の特定	戦略・施策の検討	効果の検証
○	○	○	

地域課題キーワード
【製造業】労働生産性の低下

分析者			
教育機関	地方公共団体	研究機関	民間企業・団体
	○		

地域の魅力ある雇用創出に向けた施策検討

～RESASを活用した施策立案支援事業～

TENDO®

山形県天童市　令和３年１月２９日

天童市の概要

昭和２９年１０月１日に１町６カ村が合併して誕生した人口約62,000人の都市。天童高原スキー場や建勲神社、全国一の生産量を誇る将棋駒といった自然・歴史資産にも恵まれており農商工のバランスのとれた活気ある都市。

■主要データ

面　　積	113.01㎢
人　　口	61,934人※1
世帯数	22,616世帯※1
事業所数	3,061事業所
従業者数	29,097人

※1　天童市住民基本台帳R2.10.31現在

■気候

年平均気温	12.4℃
年間降水量	858.5mm
年平均風速	1.8m／秒

■特産品

将棋駒、果物（サクランボ・西洋梨・モモ・ブドウ）、地酒　等

■ロケーション　～交通の要衝～

山形県のほぼ中央部に位置し、奥羽山脈を源にする立谷川・乱川等の扇状地で、西部は山形盆地に属する平野部。東部は、奥羽山脈に含まれる山岳地帯になっています。市の南西部を市域に沿って最上川が流れ、中央部を流れる倉津川と、北部を流れる乱川が最上川に合流しています。

市内北部で国道13号と48号が交わり、東北中央自動車道天童ＩＣや東北自動車道山形北ＩＣへのアクセスにも優れています。さらに、山形新幹線の停車駅であるＪＲ天童駅を備え、山形空港へもほど近い県内屈指の交通の要衝です。

■歴史　～産業の発展～

昭和29年の合併以来、計画的な都市計画を進め、住宅地の供給を行うとともに、第１次、2次、3次産業をバランス良く振興してきました。

市制施行当時から、農業地域の振興を図るために土地改良や農業構造改善事業を積極的に推し進め、農業生産を高めてきました。

また、昭和30年代前半から企業誘致を積極的に行い、昭和37年には、県内に先駆けて「天童市企業誘致条例」を制定し、さらなる企業誘致に努め、昭和45年ごろから飛躍的に第2次、第3次産業の規模が拡大してきました。この流れを受け、昭和47年から切れ目なく市内に工業団地・産業団地の開発を進め、産業振興を加速させており、現在市内8か所目の工業団地として山口西工業団地の分譲を開始しています。

さらに、天童温泉や、伝統工芸である将棋の駒を核とした観光業も盛んであり、幅の広い産業を形成しています。

■行政施策

第七次天童市総合計画に基づき、「子育て応援」、「教育・学習向上」、「移住定住・結婚支援」、「防災・安全強化」、「観光・交流充実」、「産業振興・雇用対策」、「生活安心充実」を柱とし、総合的かつ横断的な施策を実行しています。

天童市へのアクセス

鉄道 Railway

山形新幹線つばさ

駅　名	所要時間	運転数
東京⟷天童	2時間40分	1日8往復
東京⟷山形	2時間30分	1日16往復

JR仙山線

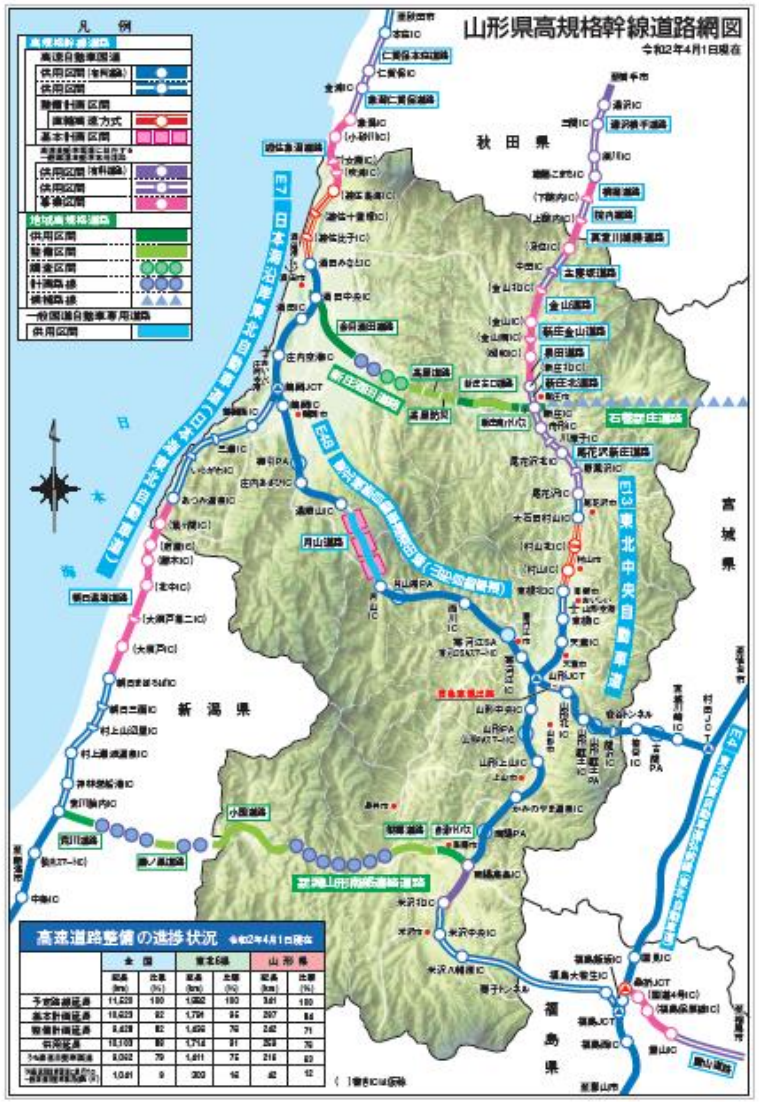
駅　名	所要時間	運転数
仙台⟷山寺	1時間	1日18往復

空路 Air route

おいしい山形空港航空路線（航空会社：JAL・FDA）

都市名	所要時間	便　数
東京（羽田）	60分	1日2往復
大阪（伊丹）	75分	1日3往復
名古屋（小牧）	65分	1日2往復
札幌（新千歳）	60分	1日1往復

道路 Road



主要都市への所要時間（自動車）

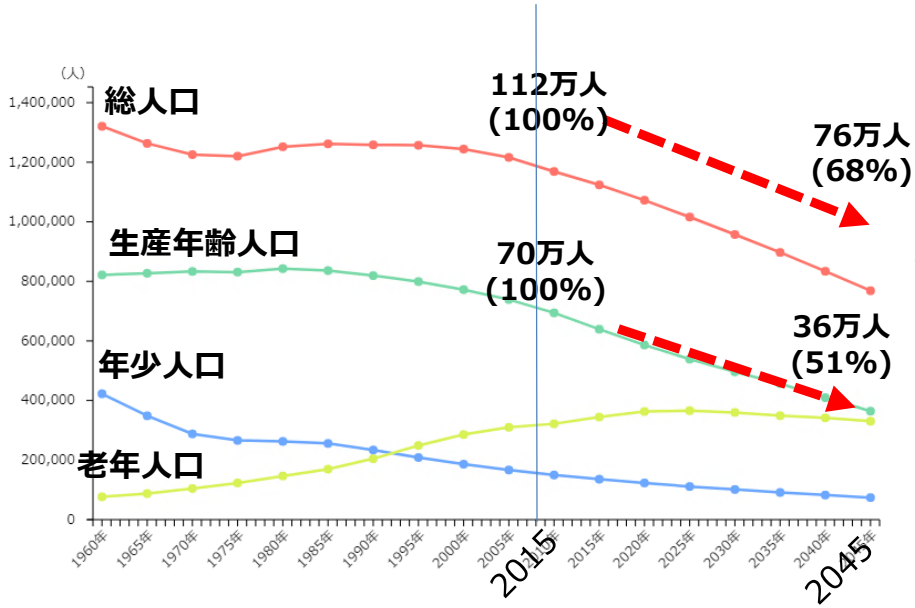
都市名	所要時間
東京	4時間40分
仙台（仙台港）	60分（1時間20分）
酒田（酒田港）	1時間50分

高速バス

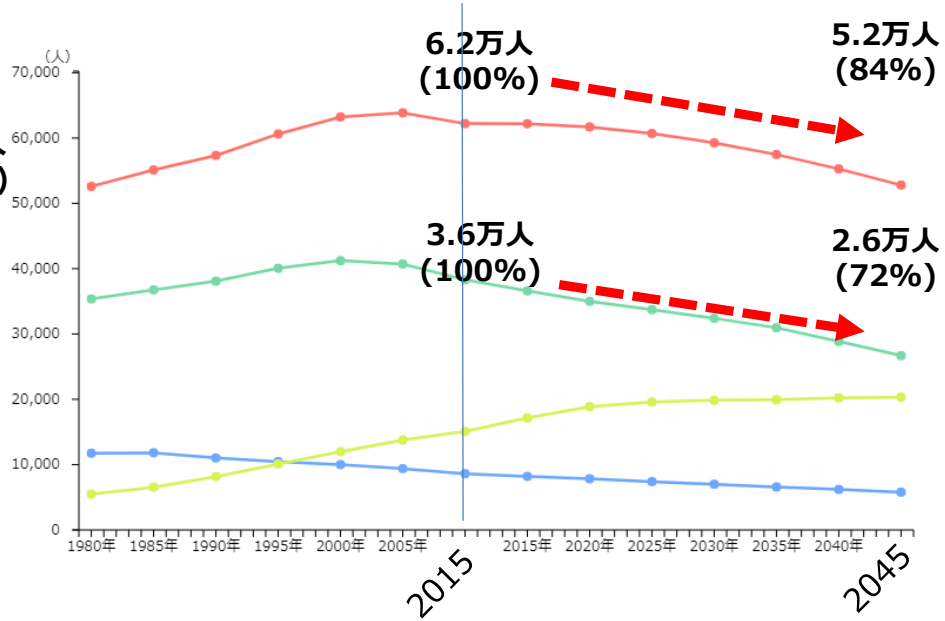
駅　名	所要時間	運転数	
仙台⟷山形 （仙台駅前）⟷（山形駅前）	1時間10分	平　日	80往復
		土日祝日	66往復

人口の推移

山形県　人口推移



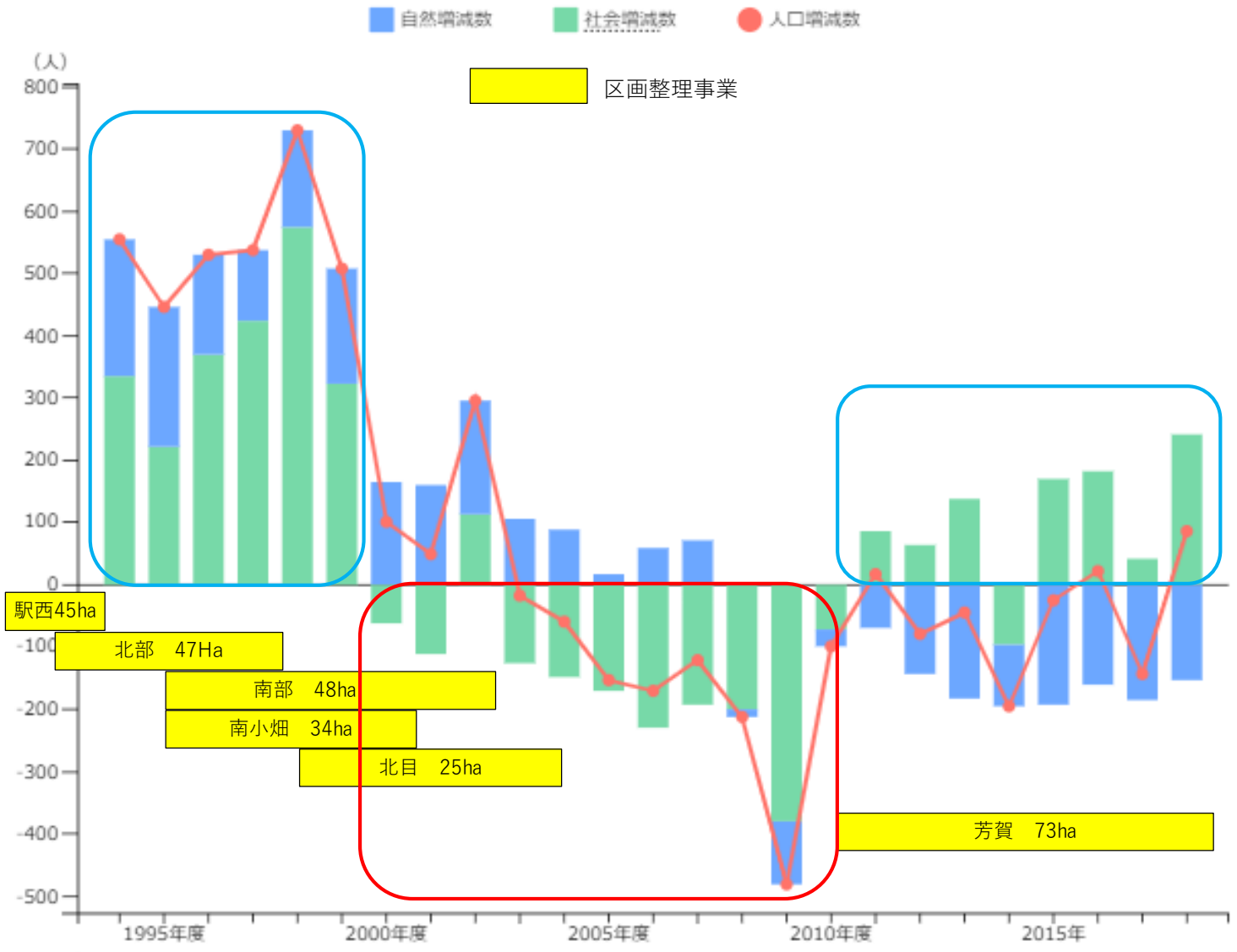
天童市　人口推移



出典：RESAS　総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

- 2045年の天童市の総人口は約5.2万人に減少し、生産年齢人口でみると約2.6万人に減少すると予測されている。
- 山形県全体の推移と比べると、減少の幅は緩やかである。

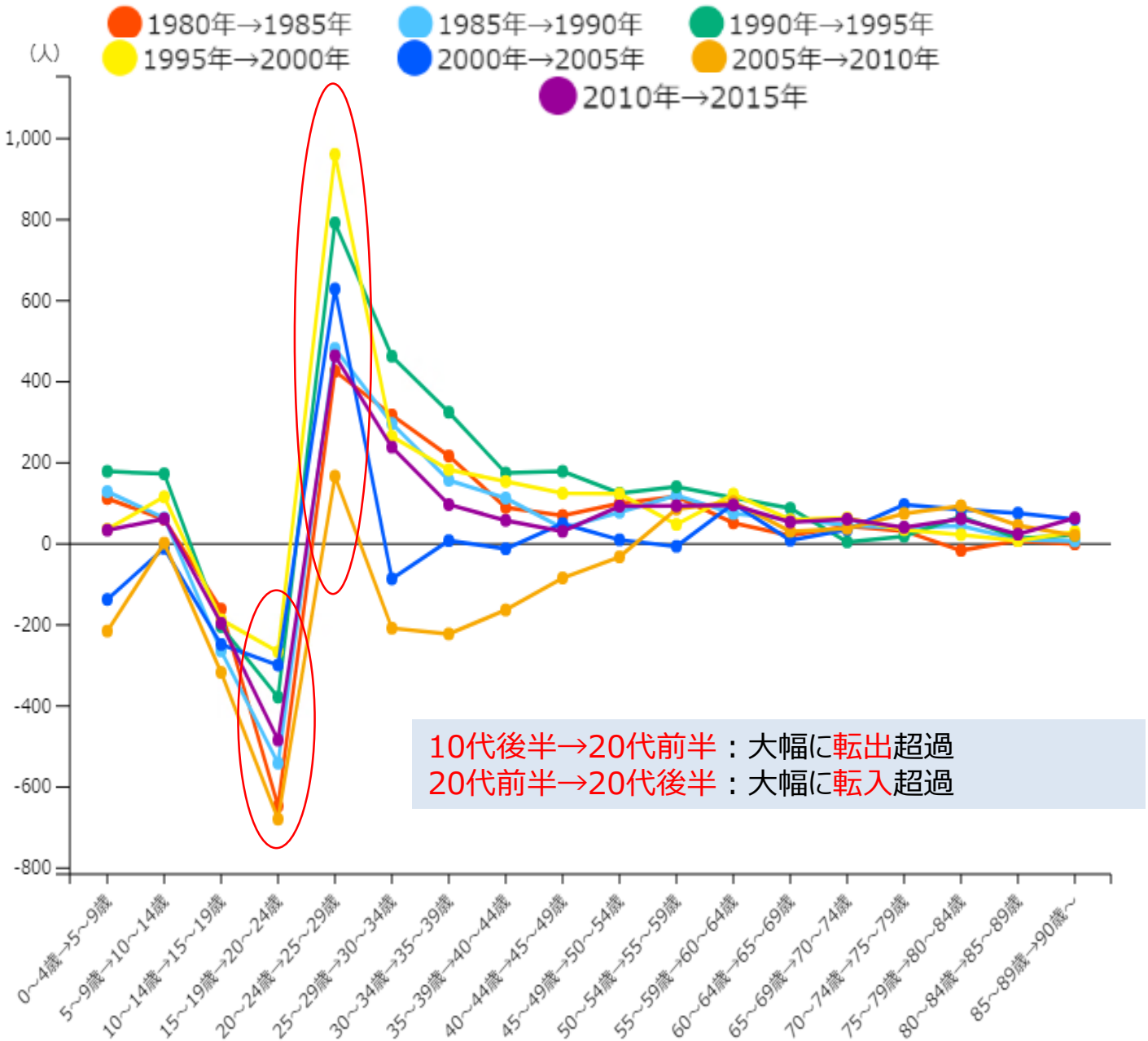
天童市　自然増減・社会増減の推移と区画整理（住宅団地）



出典：RESAS総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」再編加工

・社会増減については、2000年までは増加が続いていた。その後2010年までは減少が続いていたが、芳賀土地区画整理事業の分譲開始等に伴い、2011年から増加に転じた。
・自然増減については、2008年以降、減少が続いている。

天童市　年齢階級別純移動数の時系列分析



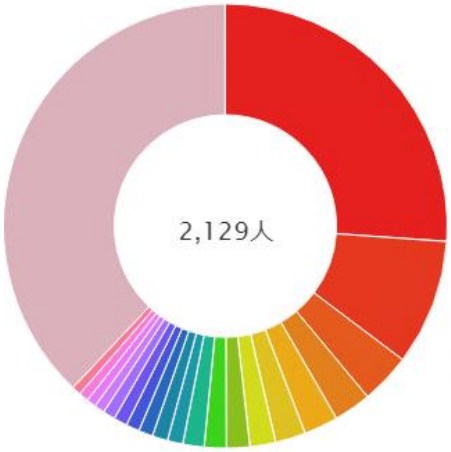
10代後半→20代前半：大幅に転出超過
20代前半→20代後半：大幅に転入超過

人口　～転入・転出～

2019年 天童市　転入転出状況　From-to（定住人口）　出典：RESAS
総務省「住民基本台帳人口移動報告」

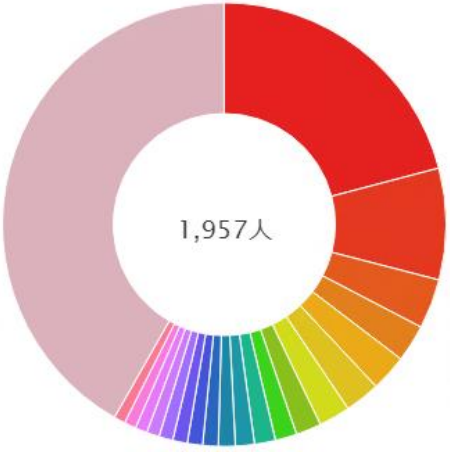
（全数）

転入数内訳



1位 山形県山形市 556人 (26.12%)
2位 山形県東根市 195人 (9.16%)
3位 山形県寒河江市 78人 (3.66%)
4位 山形県新庄市 58人 (2.72%)
5位 山形県鶴岡市 53人 (2.49%)
6位 山形県河北町 47人 (2.21%)
7位 山形県上山市 40人 (1.88%)
8位 山形県米沢市 36人 (1.69%)
9位 山形県酒田市 34人 (1.60%)
10位 宮城県仙台市青葉区 33人 (1.55%)

転出数内訳



1位 山形県山形市 409人 (20.90%)
2位 山形県東根市 159人 (8.12%)
3位 山形県寒河江市 71人 (3.63%)
4位 山形県米沢市 53人 (2.71%)
5位 宮城県仙台市青葉区 52人 (2.66%)
6位 宮城県仙台市太白区 50人 (2.55%)
7位 山形県鶴岡市 45人 (2.30%)
8位 山形県酒田市 36人 (1.84%)
9位 山形県新庄市 31人 (1.58%)
10位 福島県郡山市 30人 (1.53%)

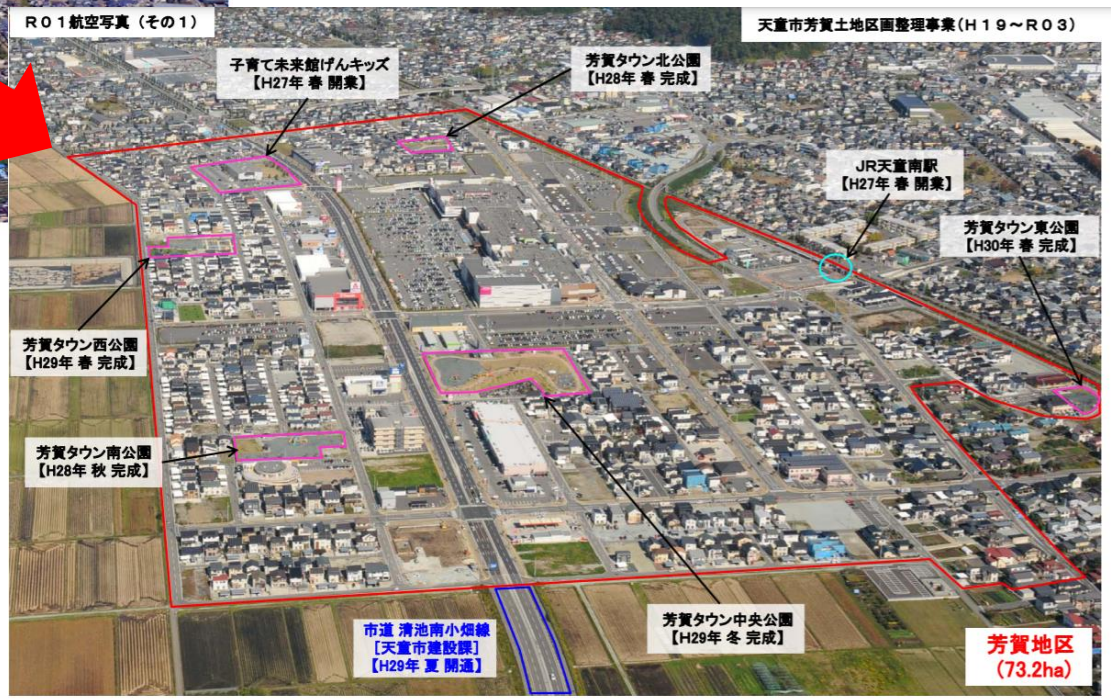
全体としては転入超過（＋172人）である。
山形県内の市町村からの転入が多く、内訳としては転入転出ともに山形市が最も多い。
仙台市への転出も一定数見られる。

芳賀土地区画整理事業

※写真奥が北（東根市方面）、写真手前が南（山形市方面）です

平成22年度

天童南駅



※写真上が北（東根市方面）、写真下が南（山形市方面）です

撮影：R1. 10. 28

令和元年度

げんキッズ

地域産業の経過

年代	団地等	分譲面積	備考
昭和３０年代～	王将工業団地	―	個々の企業で立地（約100ｈａ）
昭和４７年	清池工業団地	19.0ｈａ	その他、個々の企業で立地有り
昭和５４年	天童南部工業団地	9.3ｈａ	市造成・分譲率100％
平成元年	天童北部工業団地	14.3ｈａ	市造成・分譲率100％
平成２２年（２０１０年）	東長岡工業団地	3.9ｈａ	市造成・分譲率100％
平成２３年（２０１１年）	**荒谷西工業団地**	**15.7ｈａ**	**市造成・分譲率100％**
平成２６年（２０１４年）	**天童インター産業団地**	**10.9ｈａ**	**市造成・分譲率100％**
平成２６年（２０１４年）	**イオンモール天童開業**	―	
令和２年（２０２０年）	**山口西工業団地**	**18.7ｈａ**	**市造成・現在造成工事中 令和２年：約11ｈａ 令和３年：約7.7ｈａ**

地域産業の現状

東根I.C
天童I.C
E13
E48
山形Jct
山形北I.C
天童北部工業団地
山口西工業団地
天童インター産業団地
天童南部工業団地
東長岡工業団地
清池工業団地
王将工業団地
荒谷西工業団地
乱川
押切川
倉津川
至東根市
至新庄駅
至河北町
至寒河江市
至仙台市
至山寺
至村田JCT
至山形中央I.C
至東京駅
至山形市
山形自動車道
おいしい山形空港
陸上自衛隊神町駐屯地
JR山形新幹線・JR奥羽本線
東北中央自動車道
天童駅
乱川駅
スポーツセンター
デクシス
総合福祉センター
市役所
市立図書館・美術館
警察署
天童温泉
道の駅
県教育センター
市民病院
健康センター
消防署
舞鶴山
出羽桜酒造
三和油脂
水戸部酒造
子育て未来館げんキッズ
イオンモール天童
山形県総合運動公園
パナソニック
ミクロ
日新製薬
デンソーFA山形
総合交通安全センター
天童ワイン
日本電子山形
エムテックスマツムラ
天童木工
チノー
管製作所

山口西工業団地

天童インター産業団地

荒谷西工業団地

東長岡工業団地

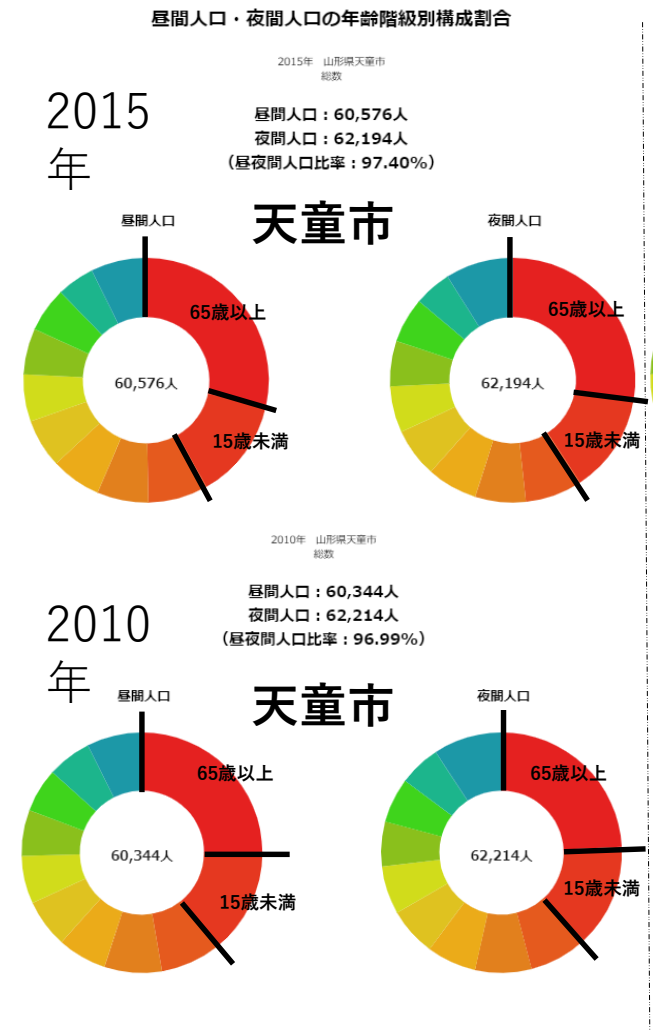
天童北部工業団地

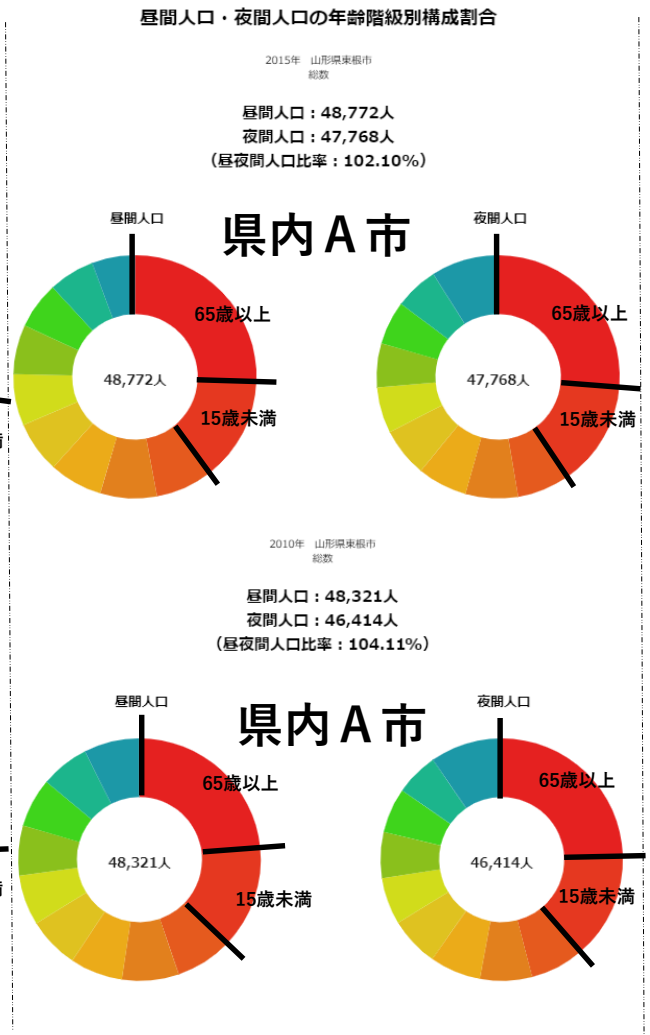
王将工業団地

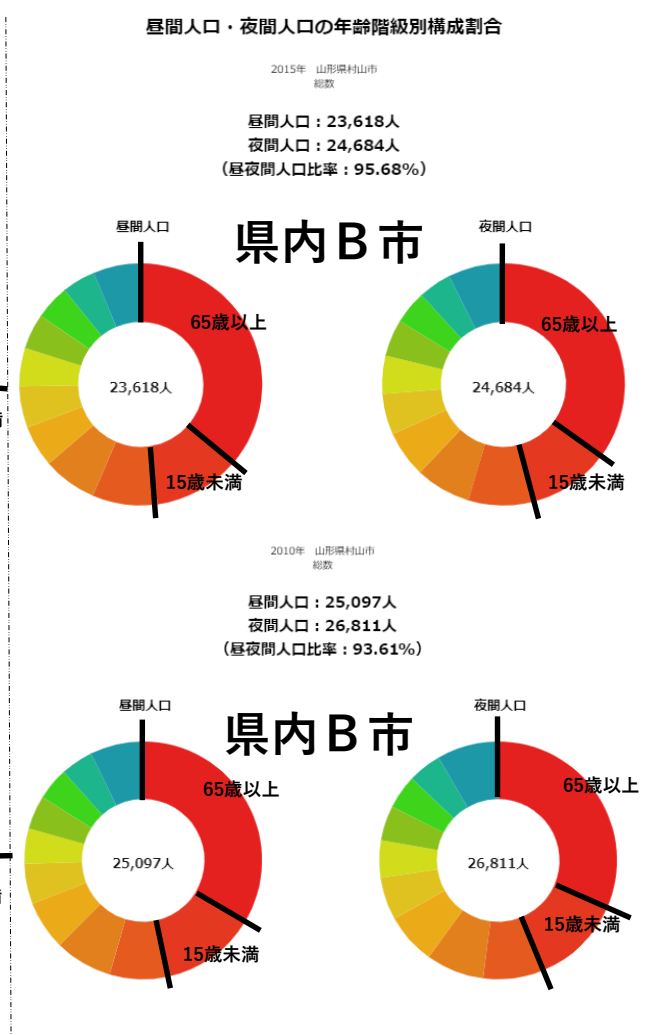
天童南部工業団地

清池工業団地

昼夜間人口







（出展：RESAS総務省「国勢調査」

昼夜間人口について、2010年（H22）→2015年（H27)で比較すると
　天童市：昼夜間人口比率は、１００%を切るが、夜間人口を維持しながら増加している。
　Ａ市　：昼夜間人口比率は、１００%をこえ、さらに昼間人口、夜間人口ともに増加している。
　Ｂ市　：昼間人口、夜間人口ともに減少。夜間人口の減少が著しいため、昼夜間人口比率は上昇。

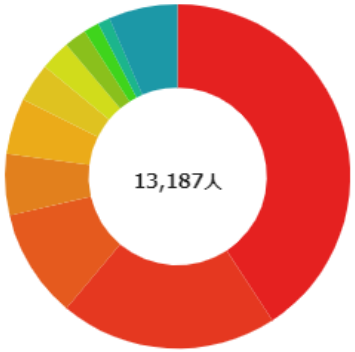
通勤・通学

流入者数・流出者数の地域別構成割合

2015年　天童市
通勤者

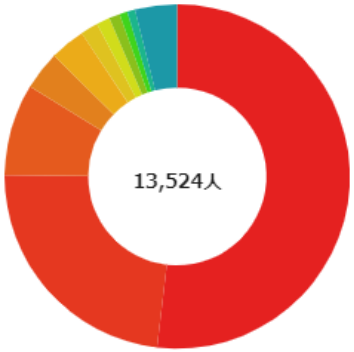
流入者数：13,187人
流出者数：13,524人
（流出超過数：337人）

域内への流入者数



1位 山形県山形市 5,373人（40.74%）
2位 山形県東根市 2,691人（20.41%）
3位 山形県寒河江市 1,346人（10.21%）
4位 山形県村山市 757人（5.74%）
5位 山形県河北町 693人（5.26%）
6位 山形県中山町 485人（3.68%）
7位 山形県山辺町 371人（2.81%）
8位 山形県上山市 275人（2.09%）
9位 山形県尾花沢市 191人（1.45%）
10位 山形県大江町 153人（1.16%）
その他 852人（6.45%）

域外への流出者数



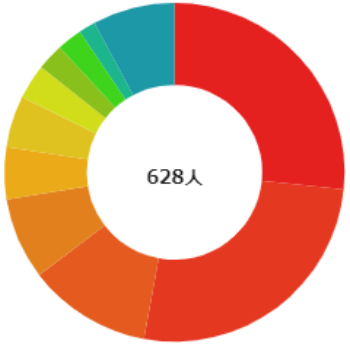
1位 山形県山形市 7,014人（51.86%）
2位 山形県東根市 3,143人（23.24%）
3位 山形県寒河江市 1,166人（8.62%）
4位 山形県河北町 490人（3.62%）
5位 山形県村山市 449人（3.32%）
6位 宮城県仙台市 222人（1.64%）
7位 山形県中山町 169人（1.25%）
8位 山形県上山市 138人（1.02%）
9位 山形県新庄市 100人（0.74%）
10位 山形県山辺町 98人（0.72%）
その他 535人（3.97%）

流入者数・流出者数の地域別構成割合

2015年　天童市
通学者

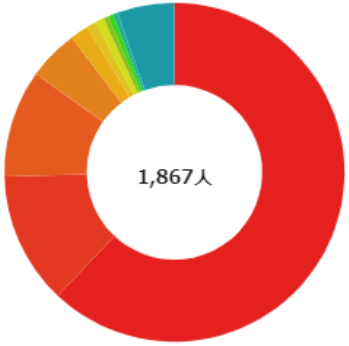
流入者数：628人
流出者数：1,867人
（流出超過数：1,239人）

域内への流入者数



1位 山形県山形市 167人（26.59%）
2位 山形県東根市 165人（26.27%）
3位 山形県村山市 74人（11.78%）
4位 山形県寒河江市 49人（7.80%）
5位 山形県尾花沢市 31人（4.94%）
6位 山形県河北町 31人（4.94%）
7位 山形県中山町 21人（3.34%）
8位 山形県上山市 16人（2.55%）
9位 山形県大石田町 15人（2.39%）
10位 山形県山辺町 10人（1.59%）
その他 49人（7.81%）

域外への流出者数



1位 山形県山形市 1,158人（62.02%）
2位 山形県村山市 235人（12.59%）
3位 宮城県仙台市 191人（10.23%）
4位 山形県寒河江市 90人（4.82%）
5位 山形県上山市 33人（1.77%）
6位 山形県山辺町 17人（0.91%）
7位 山形県米沢市 15人（0.80%）
8位 山形県酒田市 9人（0.48%）
9位 新潟県新潟市 9人（0.48%）
10位 山形県尾花沢市 8人（0.43%）
その他 102人（5.47%）

出典：RESAS 総務省「国勢調査」

通勤者：全体として若干の流出超過。流入出ともに山形市、東根市の割合が大きい。
通学者：大きく流出が超過。特に山形市への流出が大きい。

天童市の地域経済循環

地域経済循環率
93.8%

・県内の地域経済循環率
山形県：87.3%
山形市：100.9%
鶴岡市：82.5%
米沢市：101.0%
東根市：119.4%
村山市：74.4%

地域経済循環図
2015年

指定地域：山形県天童市

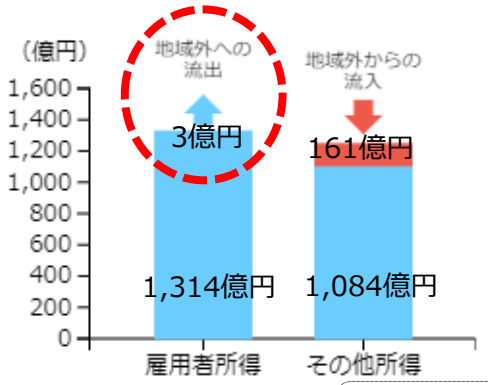
【地域経済循環率】
生産（付加価値額）を分配（所得）で除した値であり、地域経済の自立度を示している。（値が低いほど他地域から流入する所得に対する依存度が高い。）

出典：RESAS　環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」（株式会社価値総合研究所（日本政策投資銀行グループ）受託作成）

所得への分配
2,400

所得からの支出
2,558

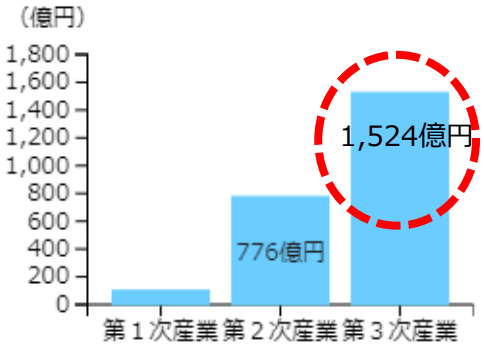
分配（所得）



詳細を見る

財産所得：利子、配当等
企業所得：経常利益等
税　金　：交付税、補助金等

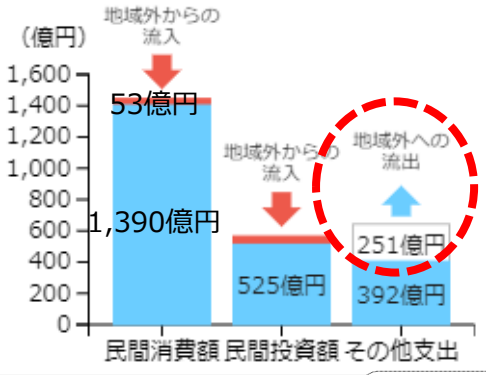
生産（付加価値額）



詳細を見る

支出による生産への還流
2,400

支出



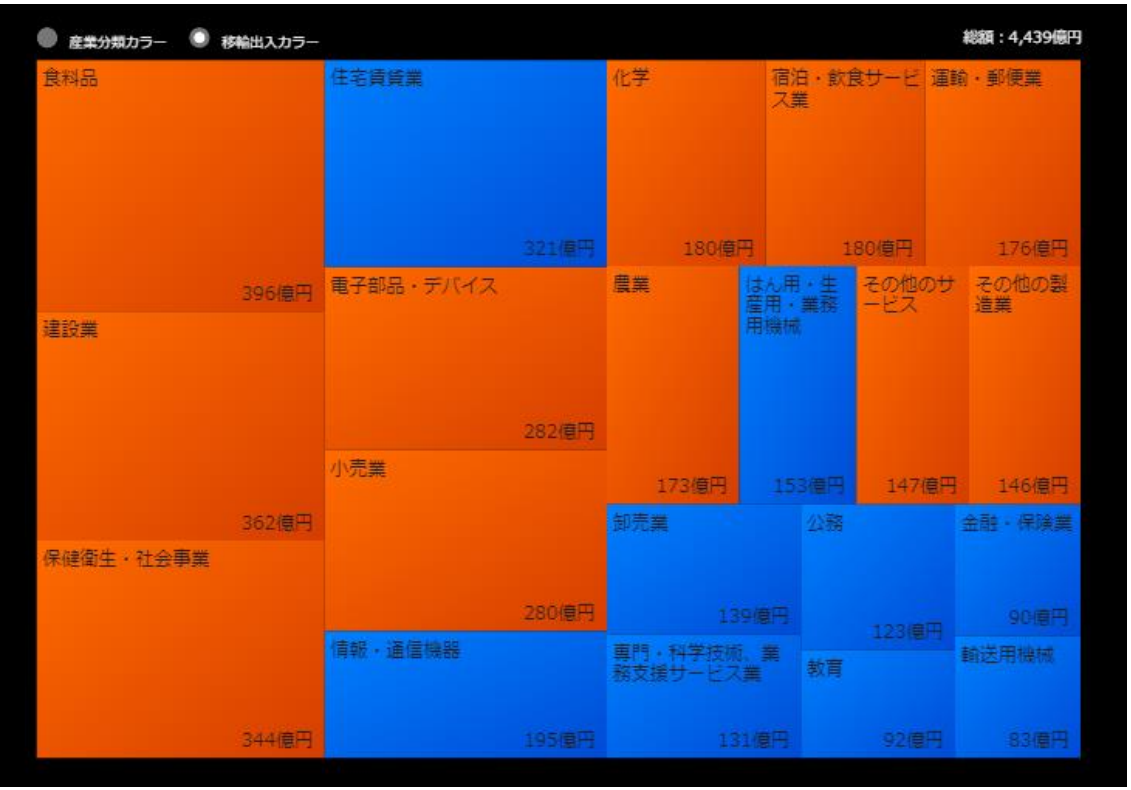
詳細を見る

政府支出：公務、公共事業等
移輸出入収支：地域間の財・サービスの収支

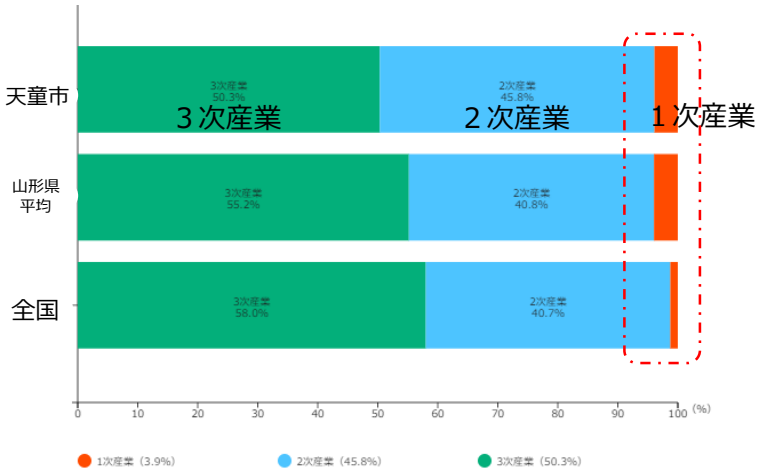
◆「生産」では、「第3次産業（サービス業が中心）」に所得を稼いでいる。
◆「分配」では、域外からの通勤者が多いこと（雇用者所得の流出）や、財政移転(交付金等)が多いこと(その他所得の流入) がわかる。
⇒雇用者所得は、若干の流出はあるが、ほぼ均衡しており、働く場と住環境のバランスが取れていると推察される。
◆「支出」では、地域内で買い物や観光消費されていること（民間消費の流入）、域内へ設備投資していること（民間投資の流入）、域外から財・サービスを受けている（その他支出の流出）がわかる。
⇒　地域外からの通勤者が多く、地域外居住者が消費活動を行っている地域と推察される。

地域産業の概況　～生産額～

生産額（総額）中分類　2015年

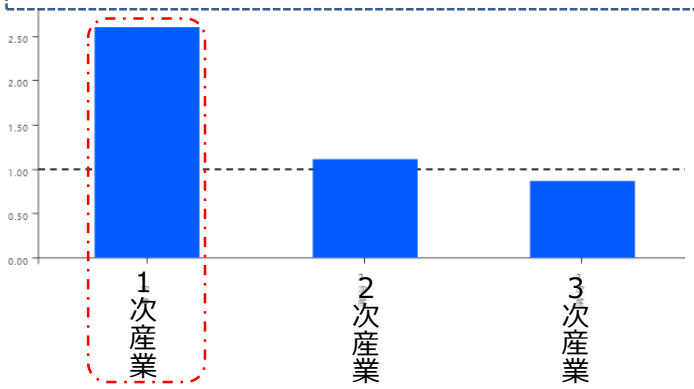


出典：RESAS　環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」（株式会社価値総合研究所（日本政策投資銀行グループ）受託作成）



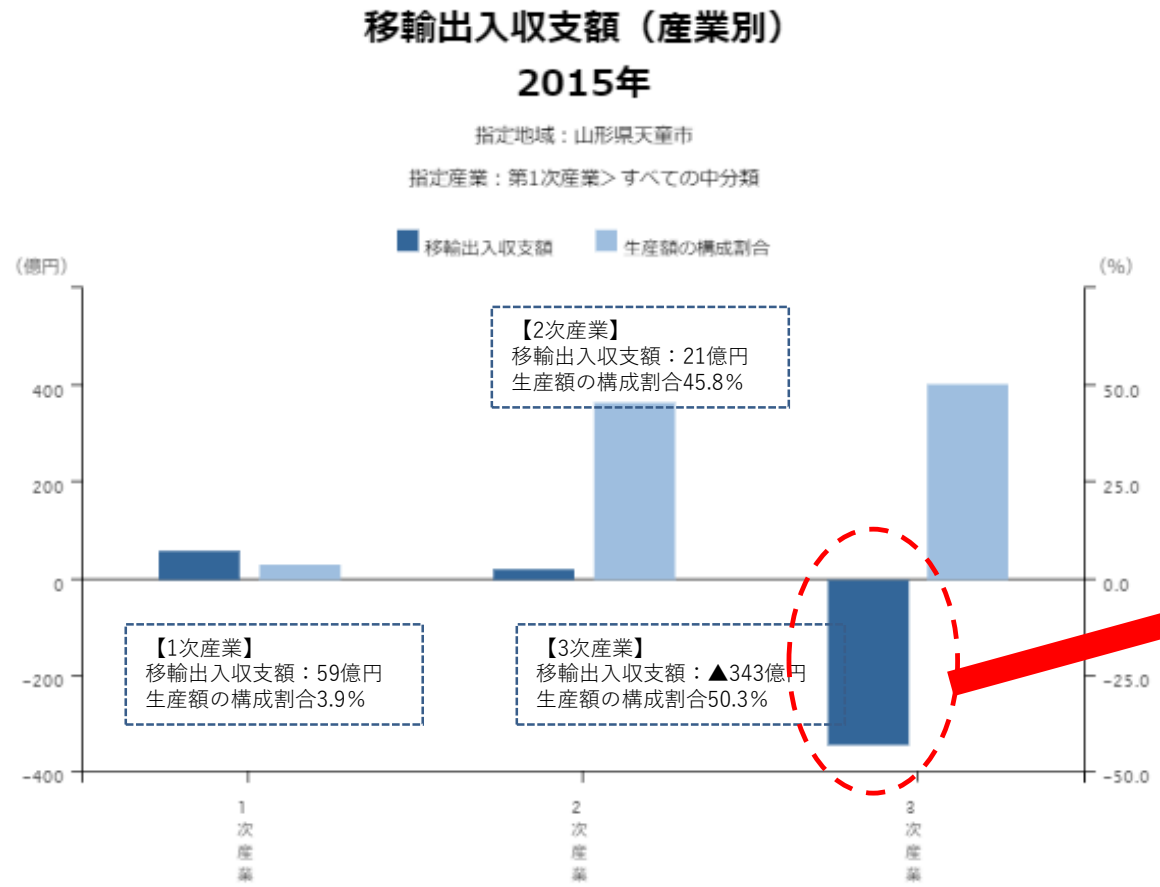
生産額（修正特化係数-産業別）

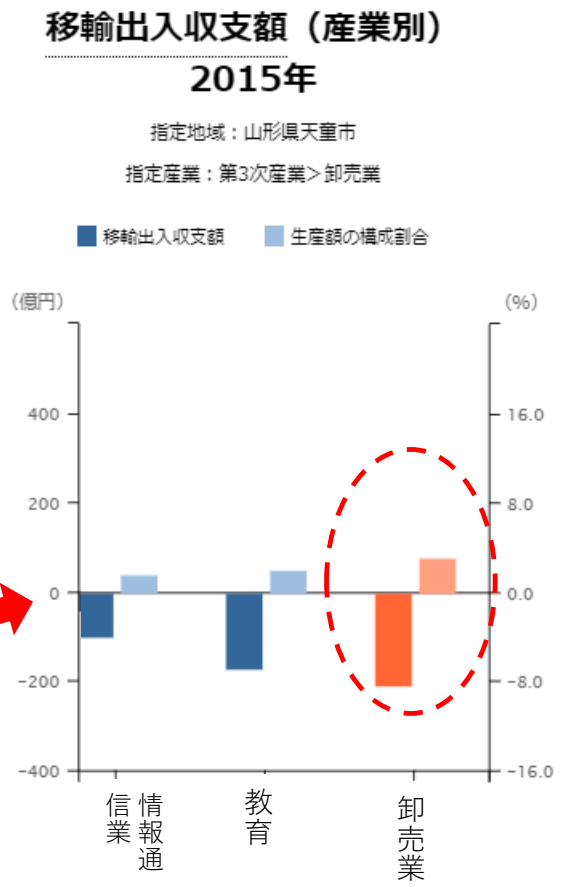
【特化係数】域内のある産業の比率を全国の同産業の比率と比較したものを指します。1を超えていれば、当該産業が全国に比べて特化している産業とされます。



◆天童市の産業を生産額でみると、2次産業（45.8%）、と3次産業（50.3%）で大部分を占める。
◆１次産業は、生産額の割合は小さいが、特化係数では2.5を超える（全国平均よりも１次産業が盛ん）。
◆産業中分類でみると、「食料品」「建設業」「保健衛生・介護事業」の割合が高く地域外からお金を獲得している産業（赤色表示）である。

地域産業の概況　～移輸出入～





【移輸出入額】域外からの（移出・輸出に伴う）収入額から域外への（移入・輸入に伴う）支出額を差し引いたものを指します。プラスの産業は域外からお金を獲得している産業、マイナスの産業は域外にお金が流出していることを示します。

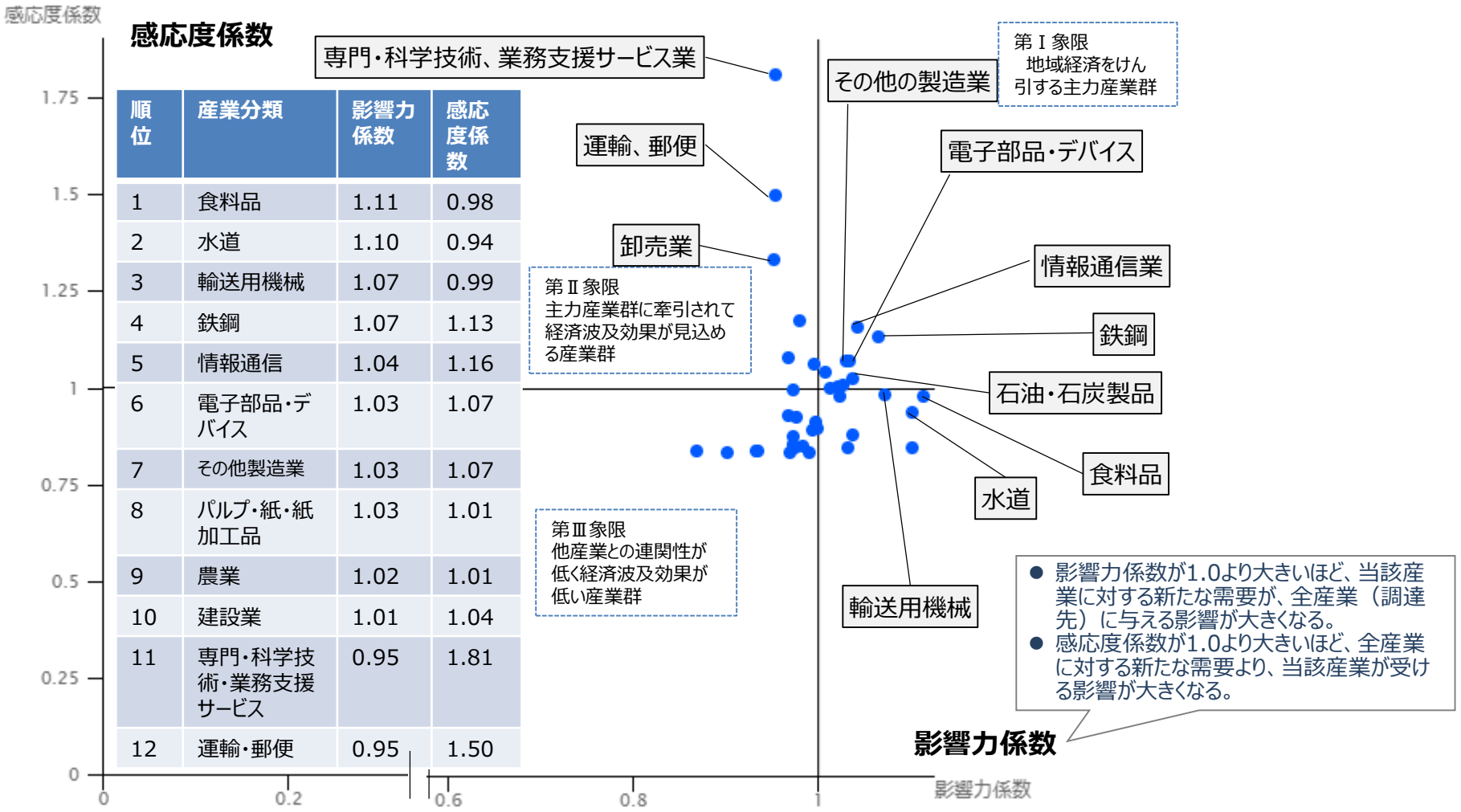
出典：RESAS　環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」（株式会社価値総合研究所（日本政策投資銀行グループ）受託作成）

◆産業別の移輸出入収支額をみると、１次産業（59億円）と２次産業（21億円）と域外からお金を稼いでいる。
◆生産額全体の約５割を占める３次産業は、▲343億円であり、お金が市外に流出していることがわかる。
　※三次産業における移出超過については、主に卸売業に起因するもの。天童市は交通の要衝であり、物流のハブとして機能していると推察される。

影響力・感応度係数

感応度係数

順位	産業分類	影響力係数	感応度係数
1	食料品	1.11	0.98
2	水道	1.10	0.94
3	輸送用機械	1.07	0.99
4	鉄鋼	1.07	1.13
5	情報通信	1.04	1.16
6	電子部品・デバイス	1.03	1.07
7	その他製造業	1.03	1.07
8	パルプ・紙・紙加工品	1.03	1.01
9	農業	1.02	1.01
10	建設業	1.01	1.04
11	専門・科学技術・業務支援サービス	0.95	1.81
12	運輸・郵便	0.95	1.50

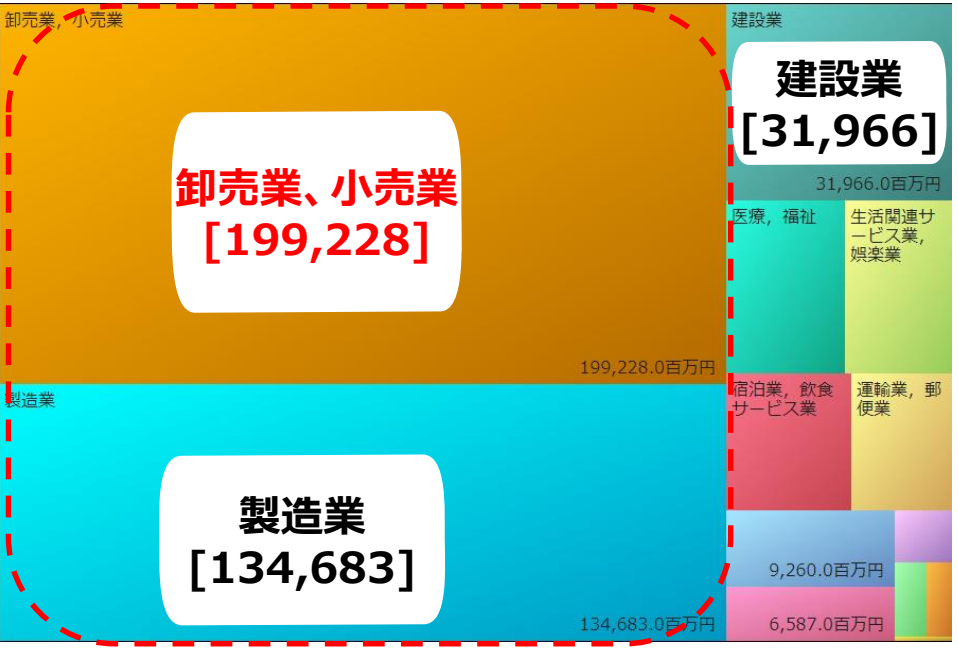


出典：RESAS　環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」（株式会社価値総合研究所（日本政策投資銀行グループ）受託作成）

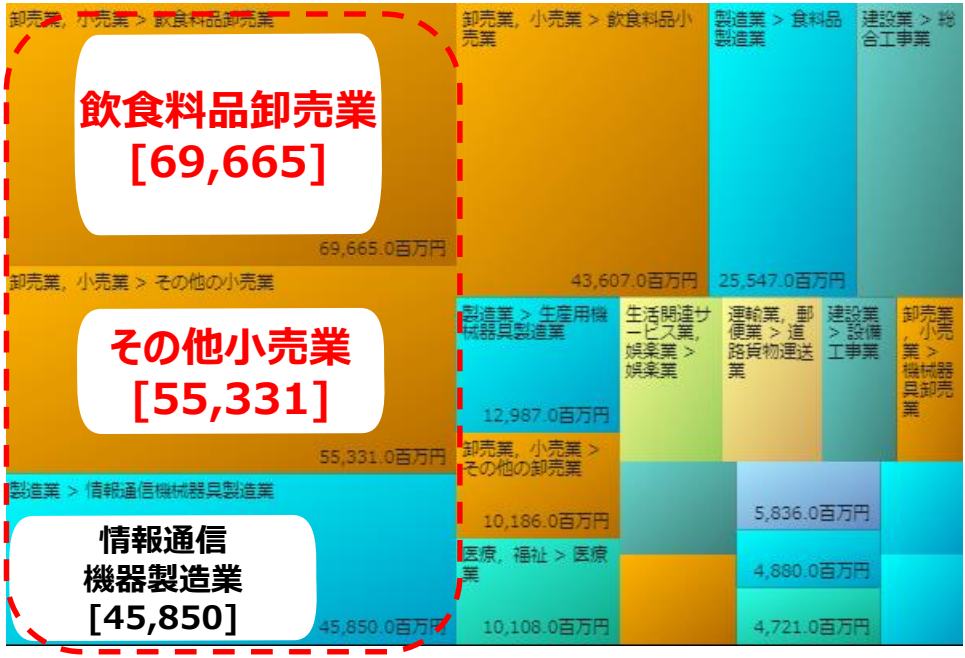
◆経済波及力(影響力係数)で見ると「食料品」、「水道」、「輸送用機械」、「鉄鋼」等の波及力が比較的大きい。

売上高

大分類　　2016年売上高(企業単位)：439,110百万円　　中分類　　単位：百万円



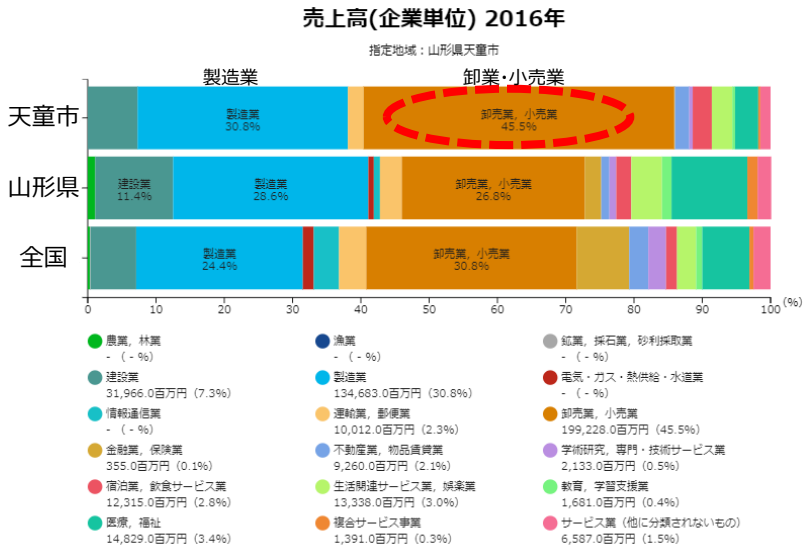
※上図以外の売上高(企業単位)の合算：1,332百万円



※上図以外の売上高(企業単位)の合算：77,266百万円

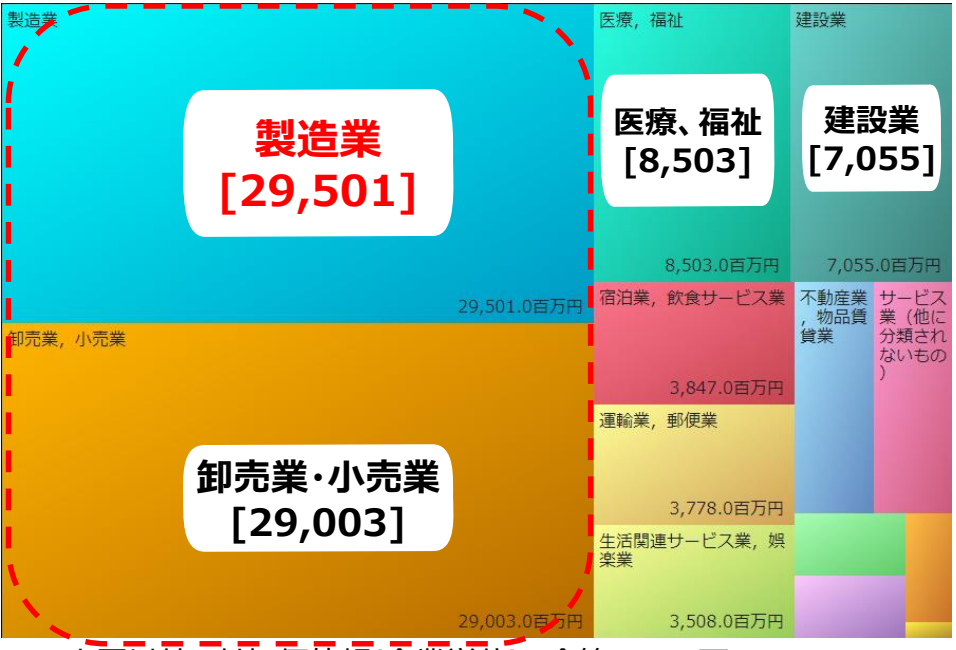
出典：RESAS　総務省「経済センサス－基礎調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」再編加工

◆企業単位の売り上げで見ると・・・
　大分類では「卸小売業」「製造業」「建設業」が大きい。
　中分類では「飲食料品卸売業」「その他小売業」「情報通信機器製造業」が大きい。
◆県・全国と比べても「卸小売業」の割合が大きい。

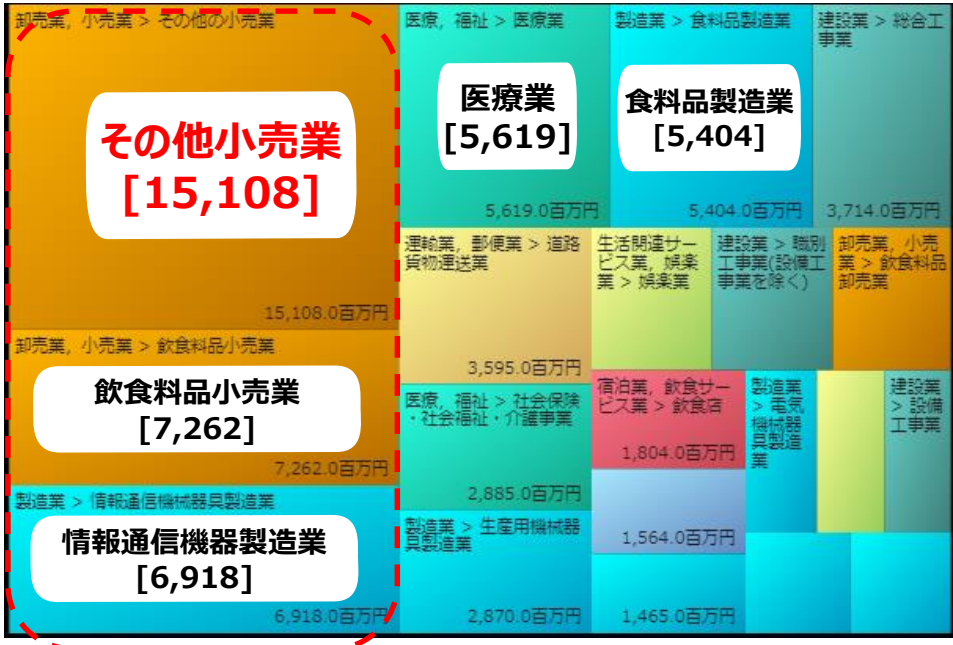


付加価値

大分類　2016年付加価値額(企業単位)：94,403百万円　中分類　単位：百万円



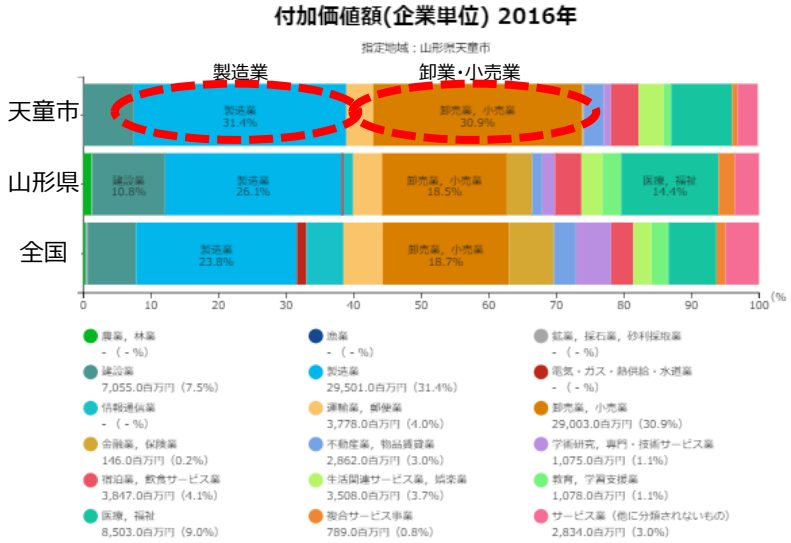
※上図以外の付加価値額(企業単位)の合算：424百万円



※上図以外の付加価値額(企業単位)の合算：23,695百万円

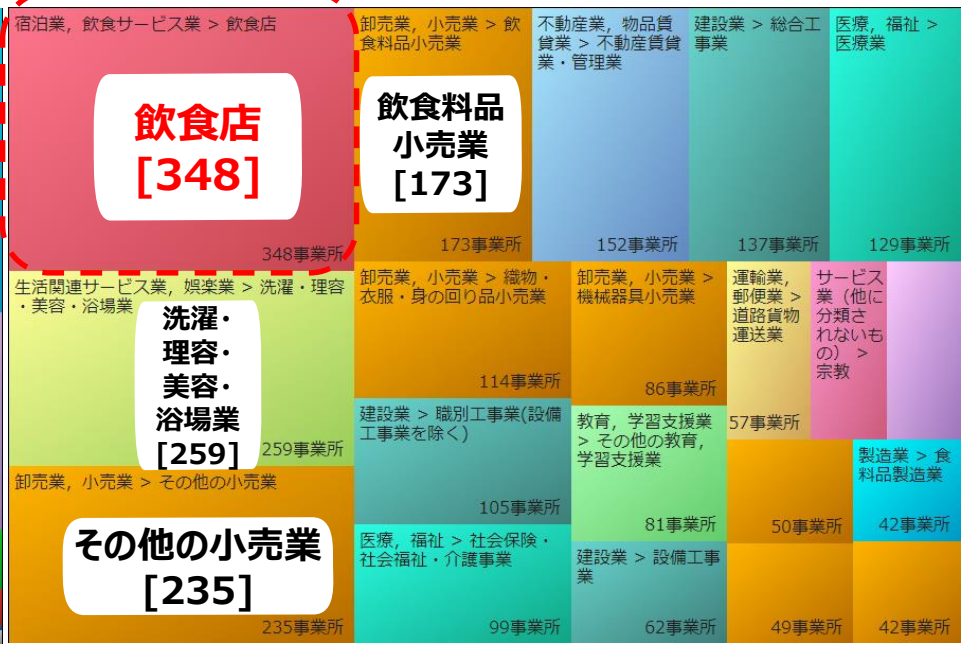
出典：RESAS　総務省「経済センサス－基礎調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」再編加工

◆企業単位の付加価値で見ると・・・
　大分類では「製造業」「卸小売業」「医療、福祉」が大きい。
　中分類では「その他小売業」「飲食料品卸売業」「情報通信機器製造業」が大きい。
◆県・全国と比べて、「製造業」「卸小売業」の割合が大きい。



事業所数

大分類　　2016年事業所数(事業所単位)：3,061事業所　　中分類

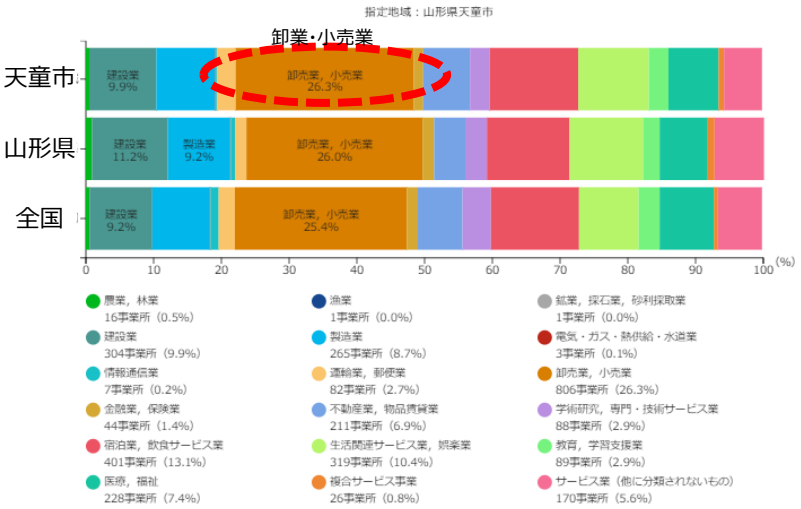


※上図以外の事業所数(事業所単位)の合算：738事業所

出典：RESAS　総務省「経済センサス－基礎調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」再編加工

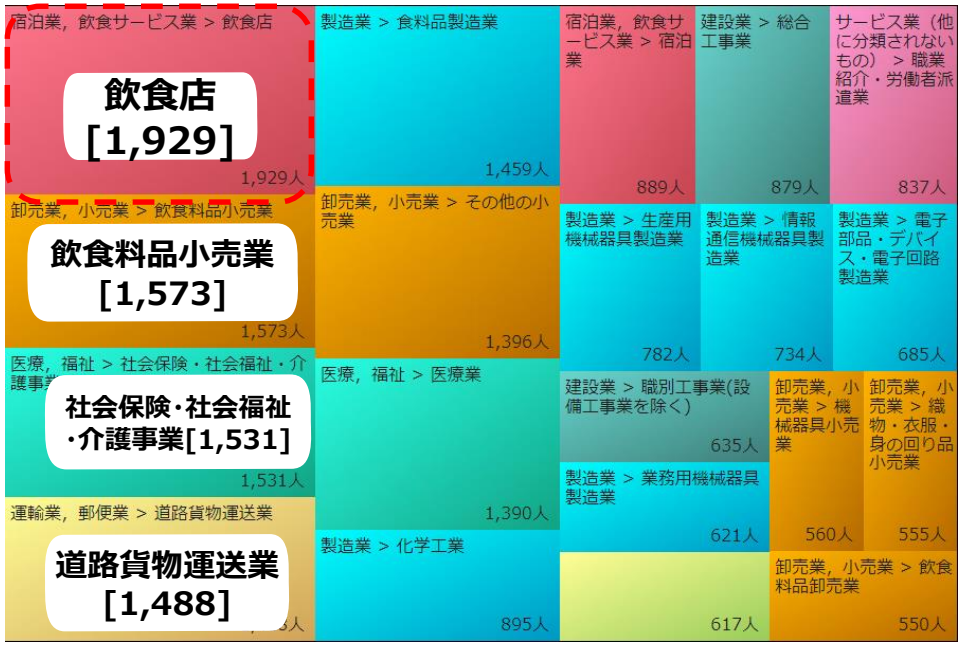
◆事業所単位の事業所数で見ると・・・
　大分類では「卸小売業」「宿泊業、飲食サービス業」が大きい。
　中分類では「飲食店」　が最も大きい。
◆県・全国と比べて、際立って割合の大きい業種は見られない。

事業所数(事業所単位) 2016年



従業者数

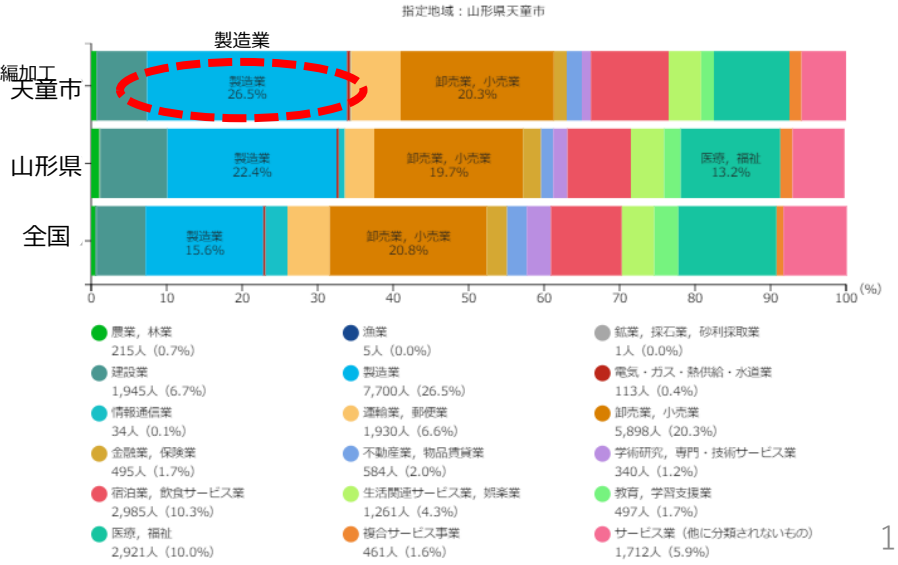
大分類　　2016年従業者数(事業所単位)：29,097人　　中分類



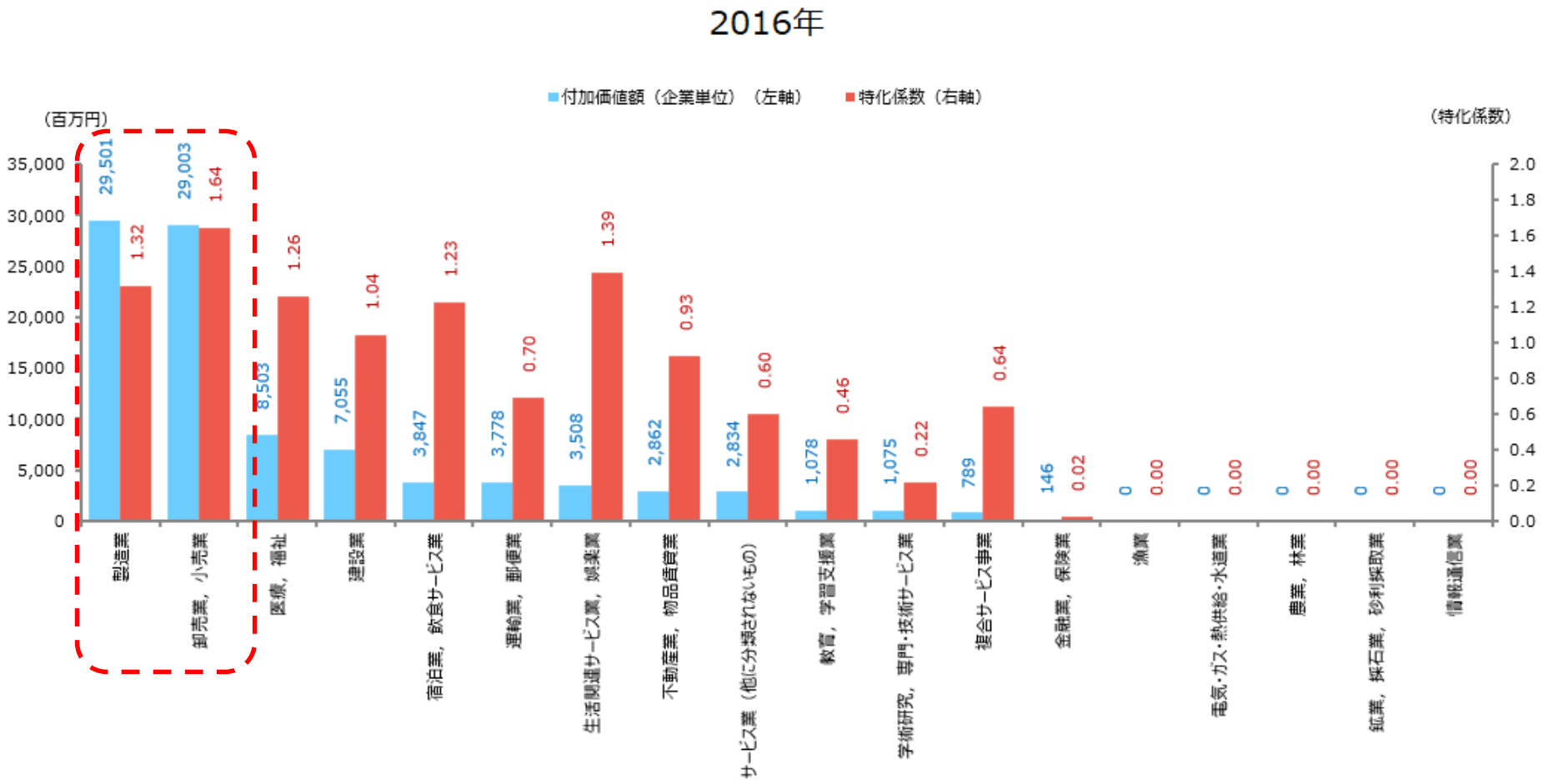
出典：RESAS　総務省「経済センサス－基礎調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」再編加工

◆事業所単位の事業所数で見ると･･･
　大分類では「製造業」「卸小売業」が大きい。
　中分類では「飲食店」 が最も大きい。
◆県･全国と比べて、「製造業」の割合が大きい。

従業者数(事業所単位) 2016年



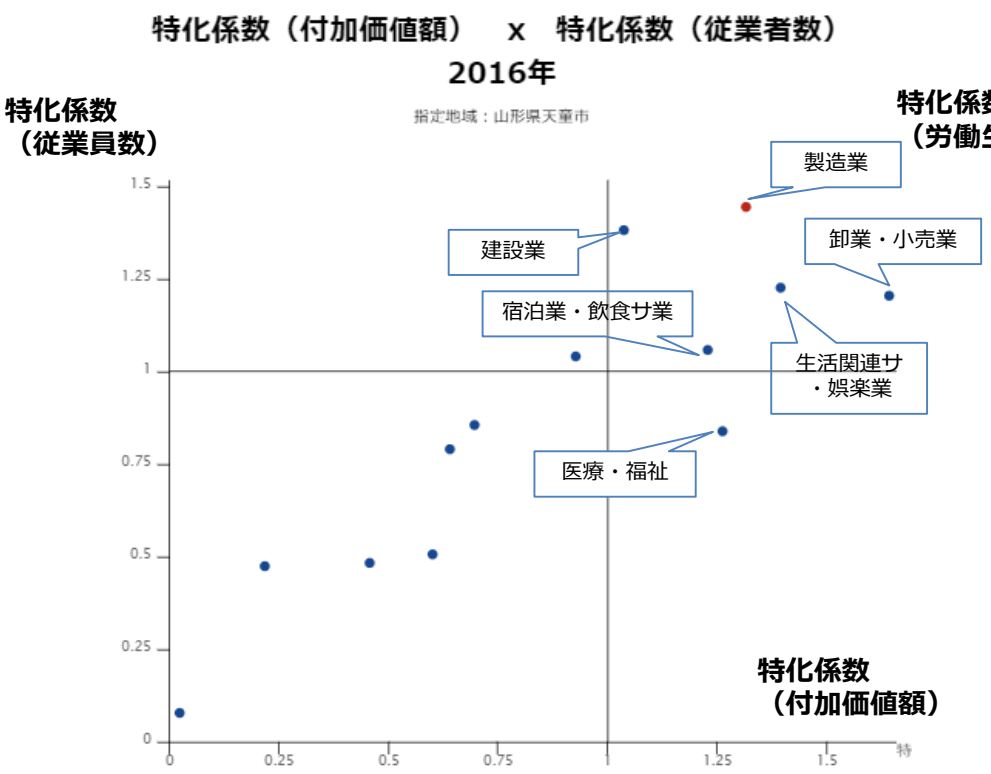
地域の産業構造　～特化係数～

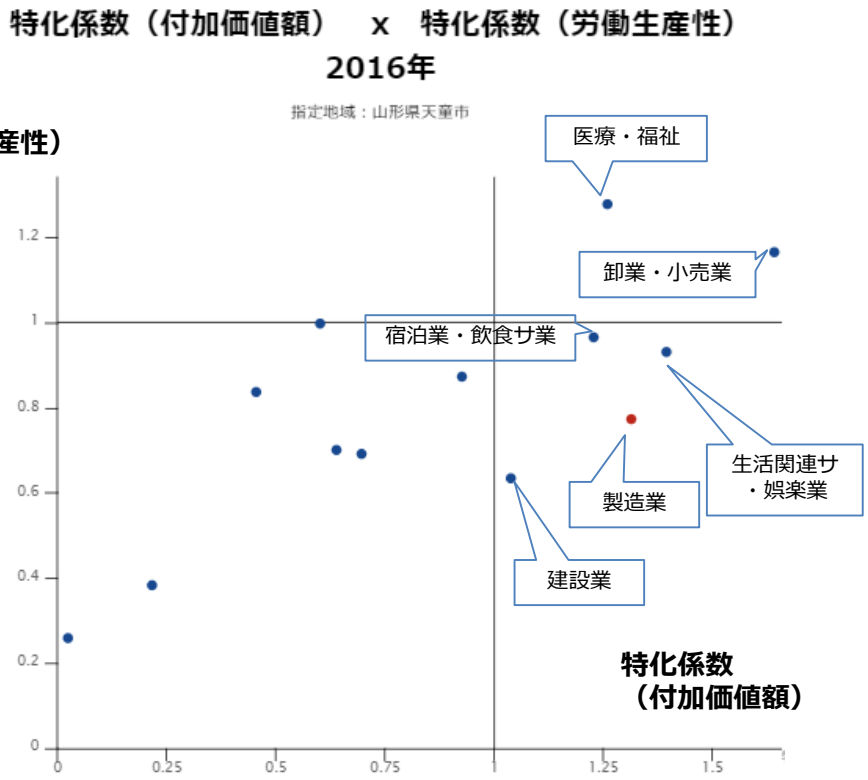


出典：RESAS　総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」再編加工

◆付加価値額の面から、自地域において稼ぐ力の大きな産業を概観すると、「製造業」「卸小売業」が付加価値額が高く、かつ特化係数が１よりも大きな産業であり特徴的な産業と言える。

地域の産業構造　～特化係数２～





出典：RESAS　総務省･経済産業省「経済センサス－活動調査」再編加工

◆特化係数（付加価値額）：「卸・小売」「生活関連サービス産業・娯楽業」「製造業」などが全国を上回る。
◆特化係数（従業員数）　：「製造業」「建設業」「生活関連サービス産業・娯楽業」などが全国を上回る。
◆特化係数（労働生産性）：「医療・福祉」「卸小売業」が全国を上回る。
◆天童市において売上高と付加価値で多くを占める分野について・・・
　「卸・小売業」：付加価値・従業員数・労働生産性のいずれも全国を上回る。
　「製造業」　　：付加価値・従業員数は全国を上回るが、労働生産性については全国を下回る。

【参考】天童市の特化係数

※特化係数：域内産業の比率を全国の同産業の比率と比較したもの。
1.0を超えていれば、全国に比べ特化している産業とされる。

	産業大分類名	付加価値額	従業者数	労働生産性
A	農業,林業	×	1.7	×
B	漁業	×	0.4	×
C	鉱業，採石業，砂利採取業	×	0.1	×
D	建設業	1.0	1.4	0.6
E	製造業	1.3	1.4	0.8
F	電気・ガス・熱供給・水道業	×	0.1	×
G	情報通信業	×	0.0	×
H	運輸業，郵便業	0.7	0.9	0.7
I	卸売業，小売業	1.6	1.2	1.2
J	金融業，保険業	0.0	0.1	0.3
K	不動産業，物品賃貸業	0.9	1.0	0.9
L	学術研究，専門・技術サービス業	0.2	0.5	0.4
M	宿泊業、飲食サービス	1.2	1.1	1.0
N	生活関連サービス業，娯楽業	1.4	1.2	0.9
O	教育，学習支援業	0.5	0.5	0.8
P	医療，福祉	1.3	0.8	1.3
Q	複合サービス事業	0.6	0.8	0.7
R	サービス業（他に分類されないもの）	0.6	0.5	1.0

出典：RESAS　総務省･経済産業省「経済センサス－活動調査」再編加工

付加価値：「卸小売業」「不動産、物品賃貸業」「生活関連サービス業、娯楽業」「複合サービス業」「製造業」の順位が高い
労働生産性：「卸小売業」「教育、学習支援業」「複合サービス業」「製造業」の順位が高い

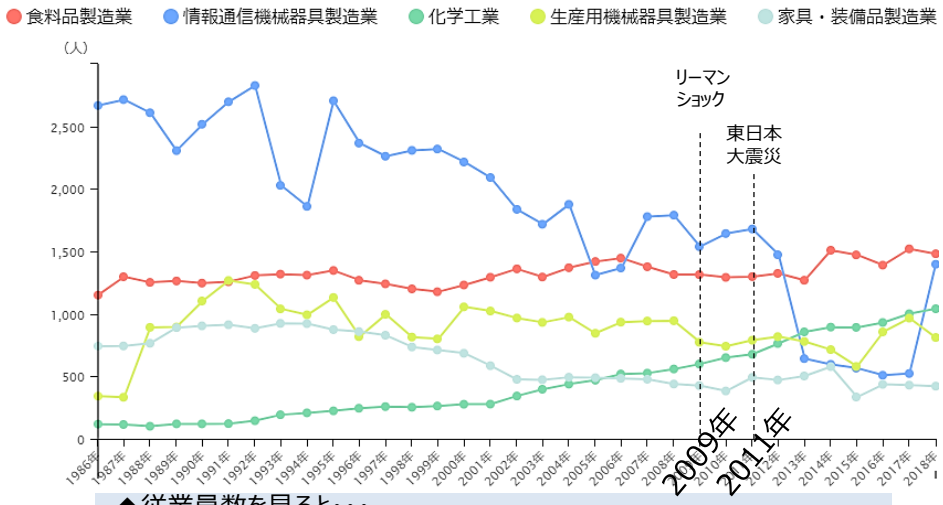
地域の製造業の構造　～従業員、付加価値額～

2018年_製造業の常用従業員の内訳

2018年_付加価値額の内訳

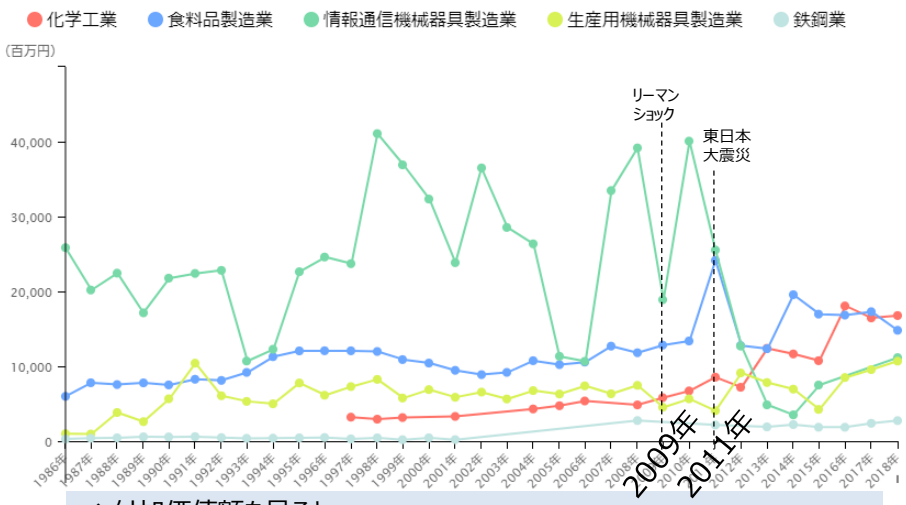
単位：百万円

常用従業員の推移（上位5つ）



◆従業員数を見ると・・・
- 「食料品」「情報通信機械器具」が大きい。
- 推移を見ると、化学工業は増加傾向にある
- 情報通信機械器具は変動が大きいが、食料品は安定している。

付加価値額の推移（上位5つ）



◆付加価値額を見ると・・・
- 「化学工業」「食料品」が大きい。
- 推移を見ると、化学工業は増加傾向にある
- 情報通信機械器具は変動が大きいが、食料品は安定して付加価値額を生み出している。

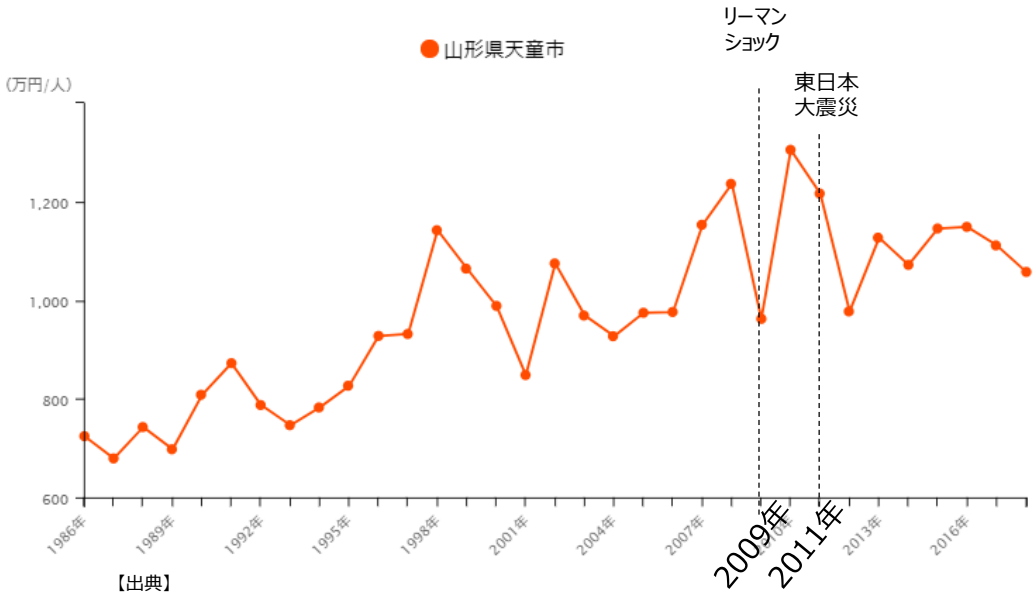
【出典】経済産業省「工業統計調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」再編加工、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

地域の製造業の構造　～労働生産性～

2018年_労働生産性の内訳

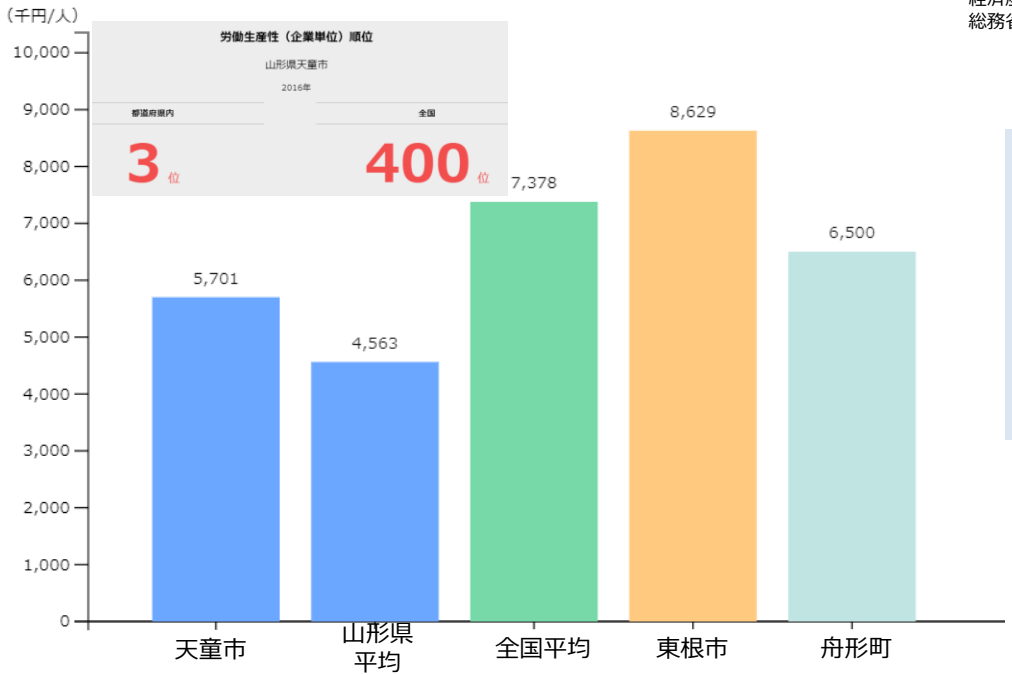
単位：万円／人

労働生産性の推移



【出典】
経済産業省「工業統計調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」再編加工、
総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

労働生産性（企業単位）2016年



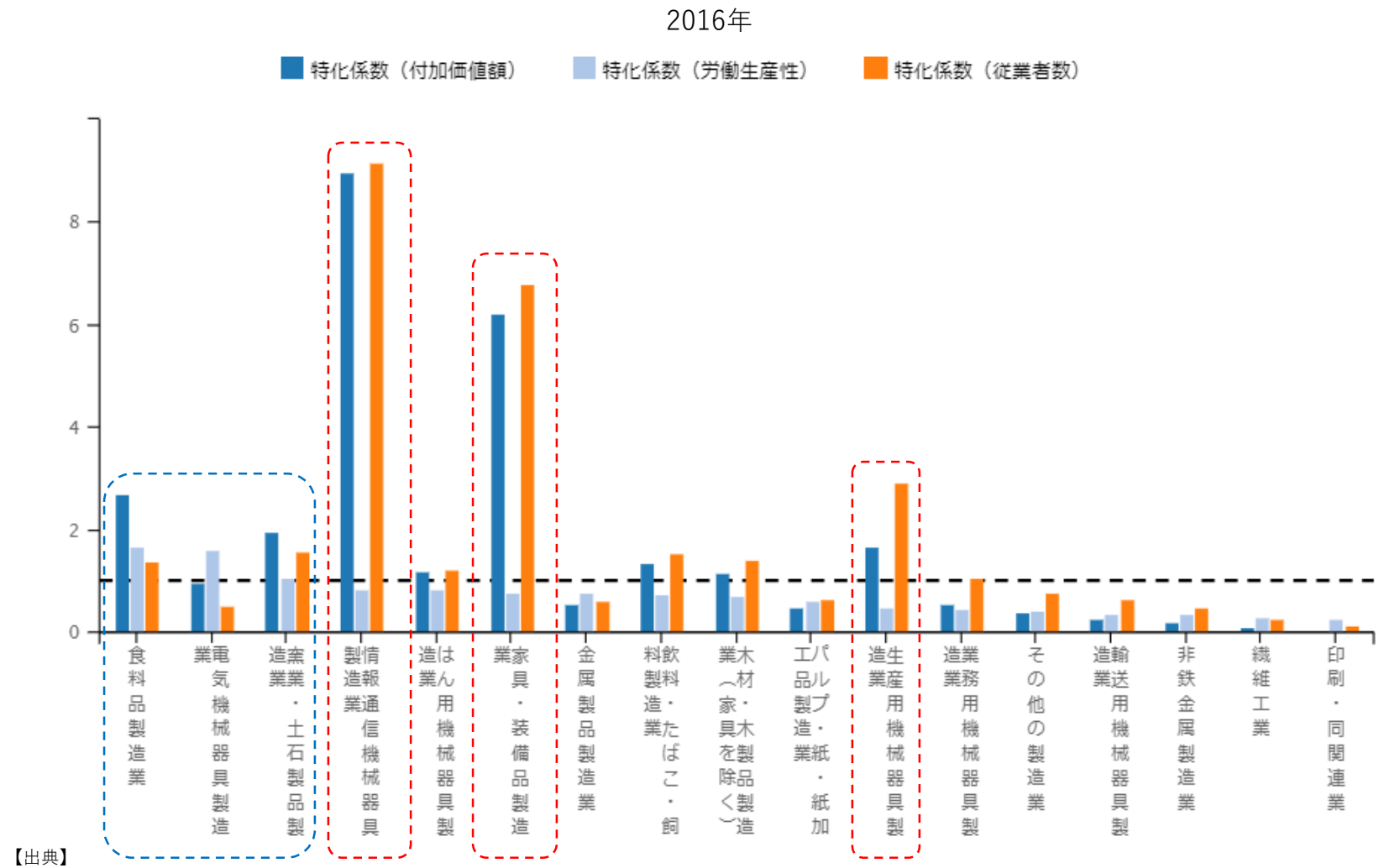
◆労働生産性を見ると、「木材・木製品」「パルプ・紙・紙加工製品」「鉄鋼業」が大きい。

◆労働生産性の推移を見ると、リーマンショック、東日本大震災で変動はあるものの増加傾向である。

◆労働生産性の県内順位は3位／35、全国は400位／1687と、上位に位置している。

【出典】
総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」再編加工

地域の製造業の構造　～特化係数～



【出典】
総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」再編加工

◆付加価値額の面から、自地域において稼ぐ力の大きな製造業を概観すると、「情報通信機械」「家具・装備品」「生産用機械器具」が付加価値額が高く、かつ特化係数が１より大きな産業であり特徴的な産業と言える。

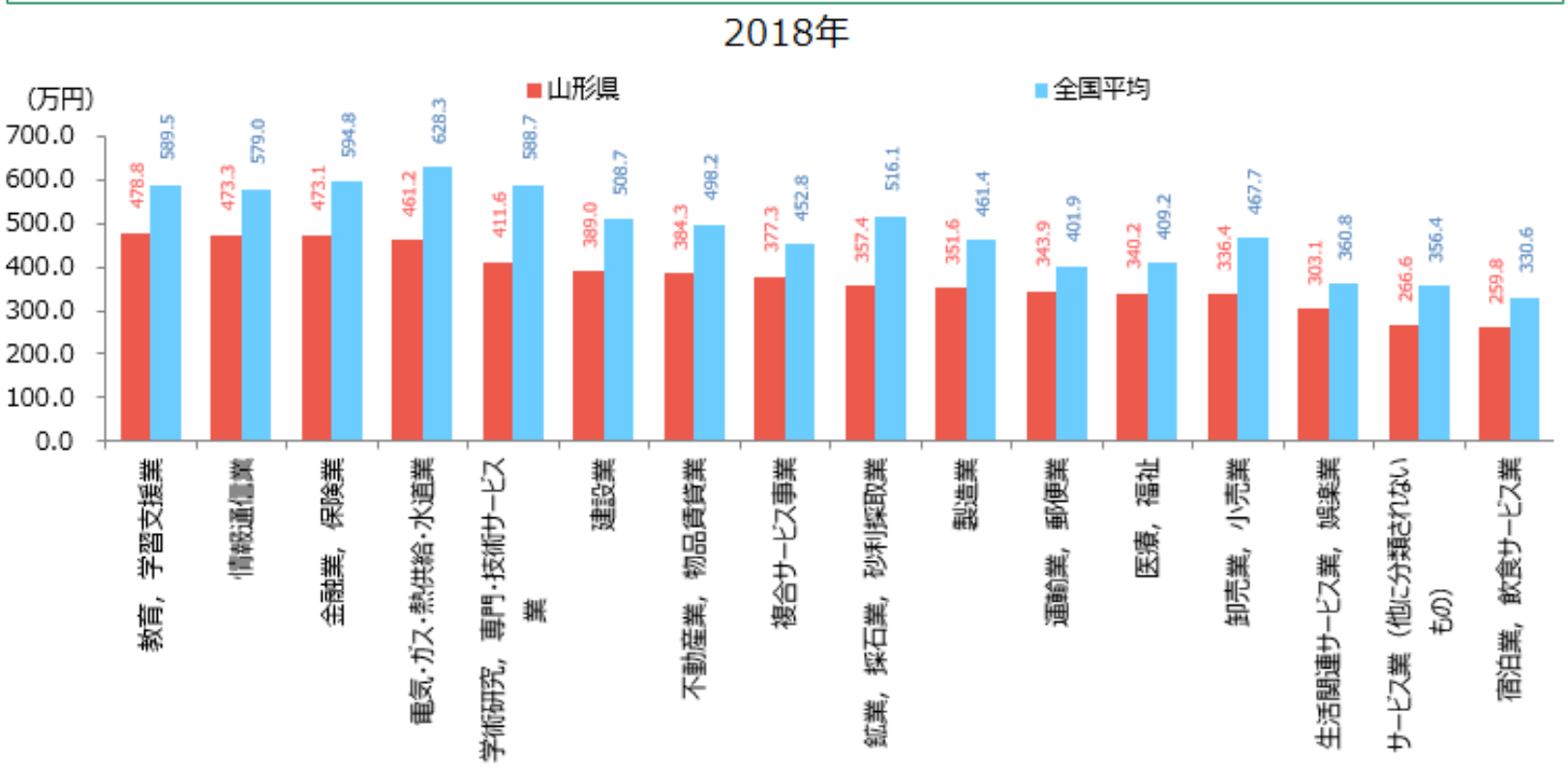
◆労働生産性の面から見ると「食料品」「電気機械器具」「窯業・土石製品」が労働生産性が高く、特化係数は1を超えている

一人当たり賃金

④一人当たり賃金（産業間比較）　【都道府県単位】

雇用／医療・福祉マップ>一人当たり賃金　→　「グラフを表示」（ダウンロードデータより作成）

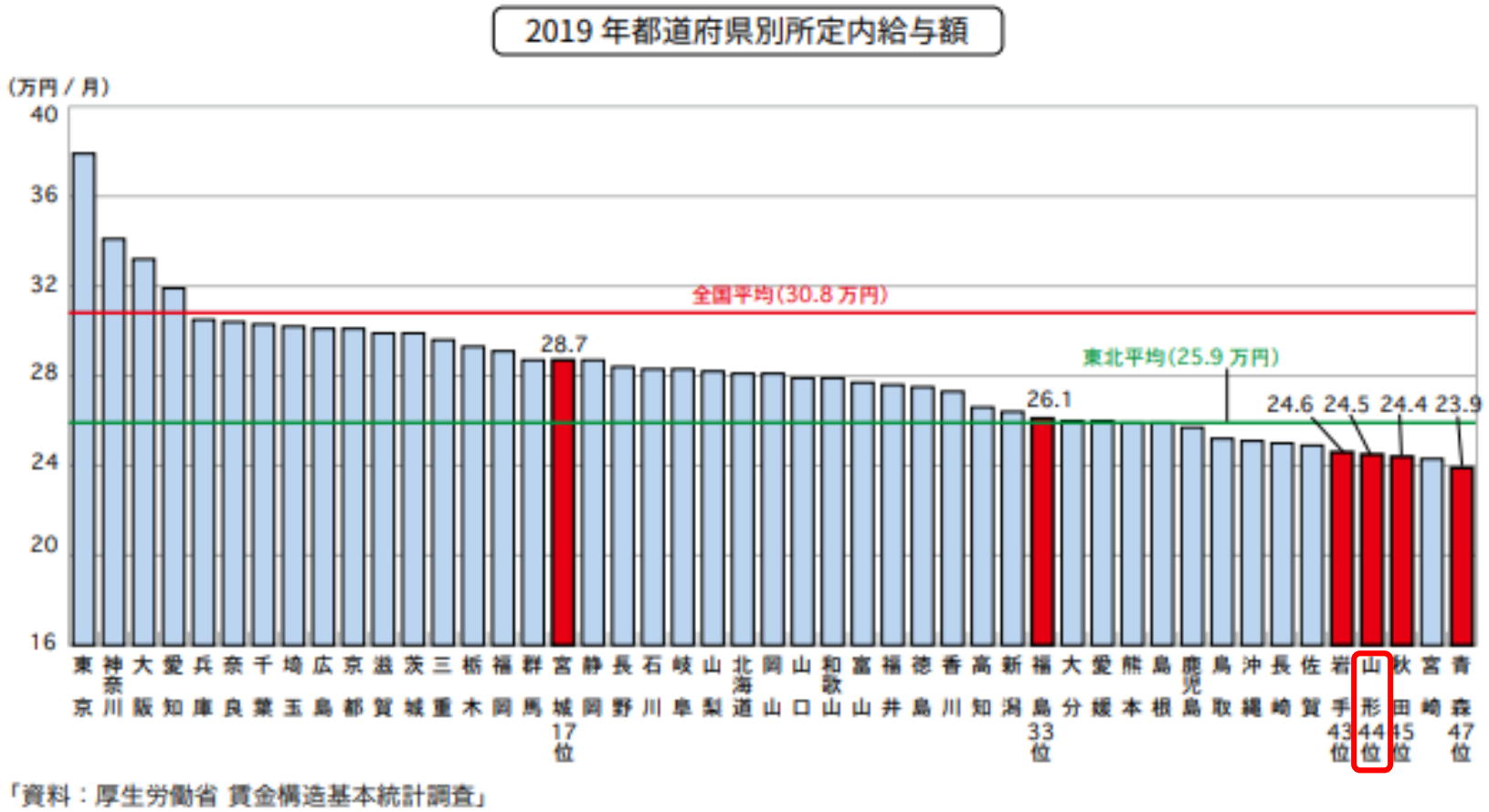
・産業別に一人当たり賃金を比較します。
・また、全国平均との比較により、全国よりも賃金水準の高い産業・低い産業を概観できます。



【出典】　厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

・全ての業種で全国平均を下回る。

所定内給与額



「資料：厚生労働省 賃金構造基本統計調査」

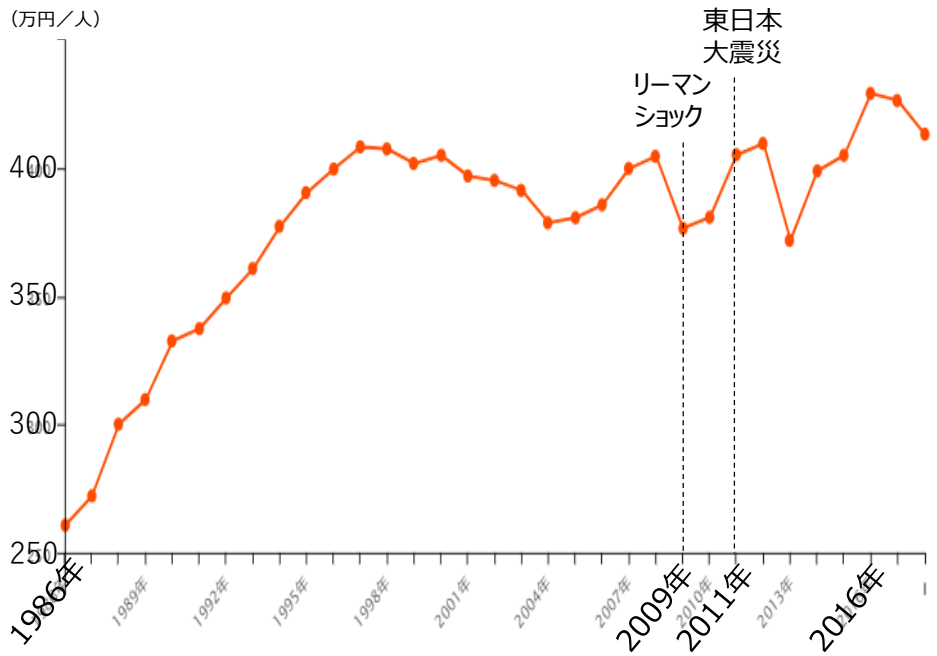
出典：経済産業省　東北経済産業局　令和2年度版　東北経済のポイント

・山形県の順位は44位と全国でも低い水準にある。

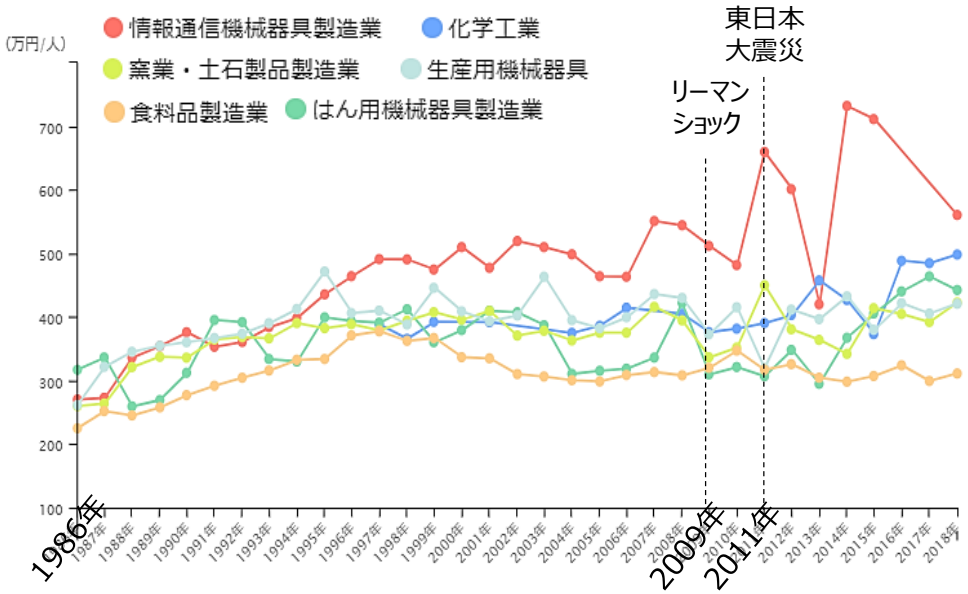
製造業の賃金構造

2018年_現金給与総額（従業員1人あたり）の内訳　単位：万円／人

2018年_現金給与総額（従業員1人あたり）の内訳_全体



現金給与総額（従業員1人あたり）の推移_産業別



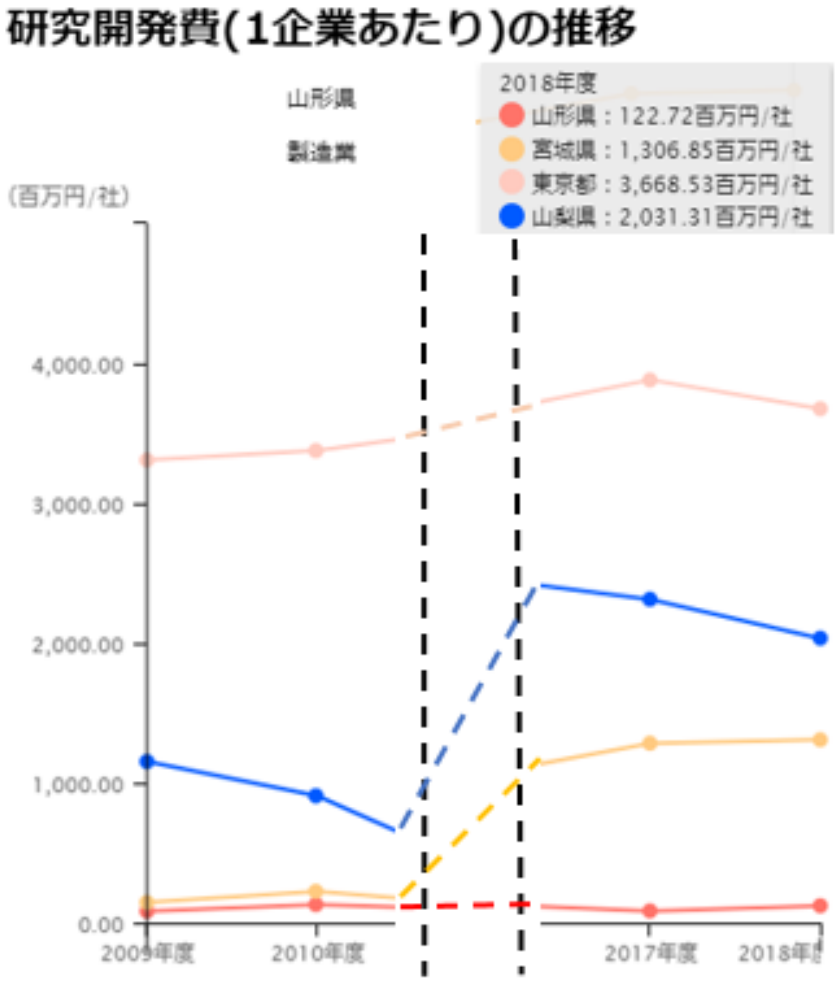
◆賃金構造を見ると、情報通信機械器具、化学工業、はん用機械器具が高い。

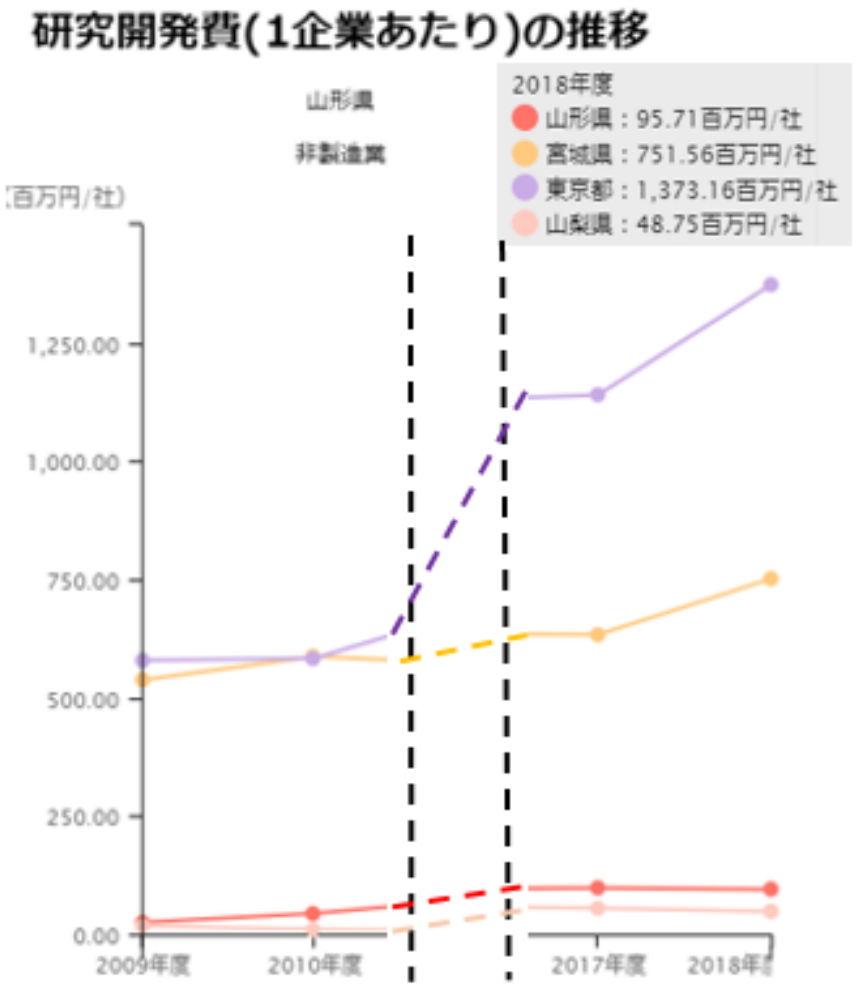
◆産業別の推移を見ると、情報通信機械器具の変動は大きいが、食料品製造業の変動は少ない。

◆天童市の現金給与総額を見ると、増減はあるもの増加傾向にある

【出典】
経済産業省「工業統計調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」再編加工、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

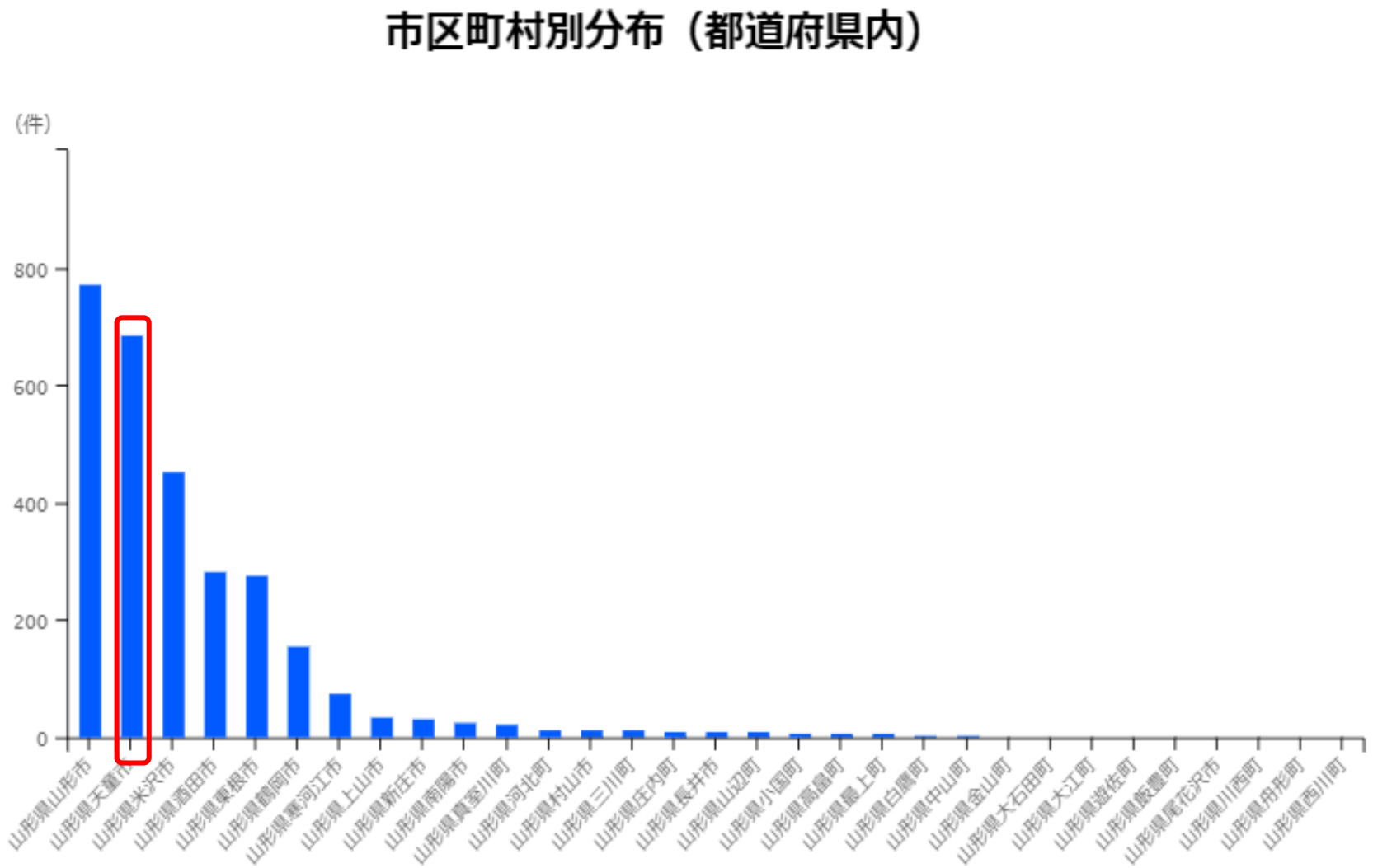
県内企業の研究開発費





・山形県内企業の研究開発費は極めて低い水準

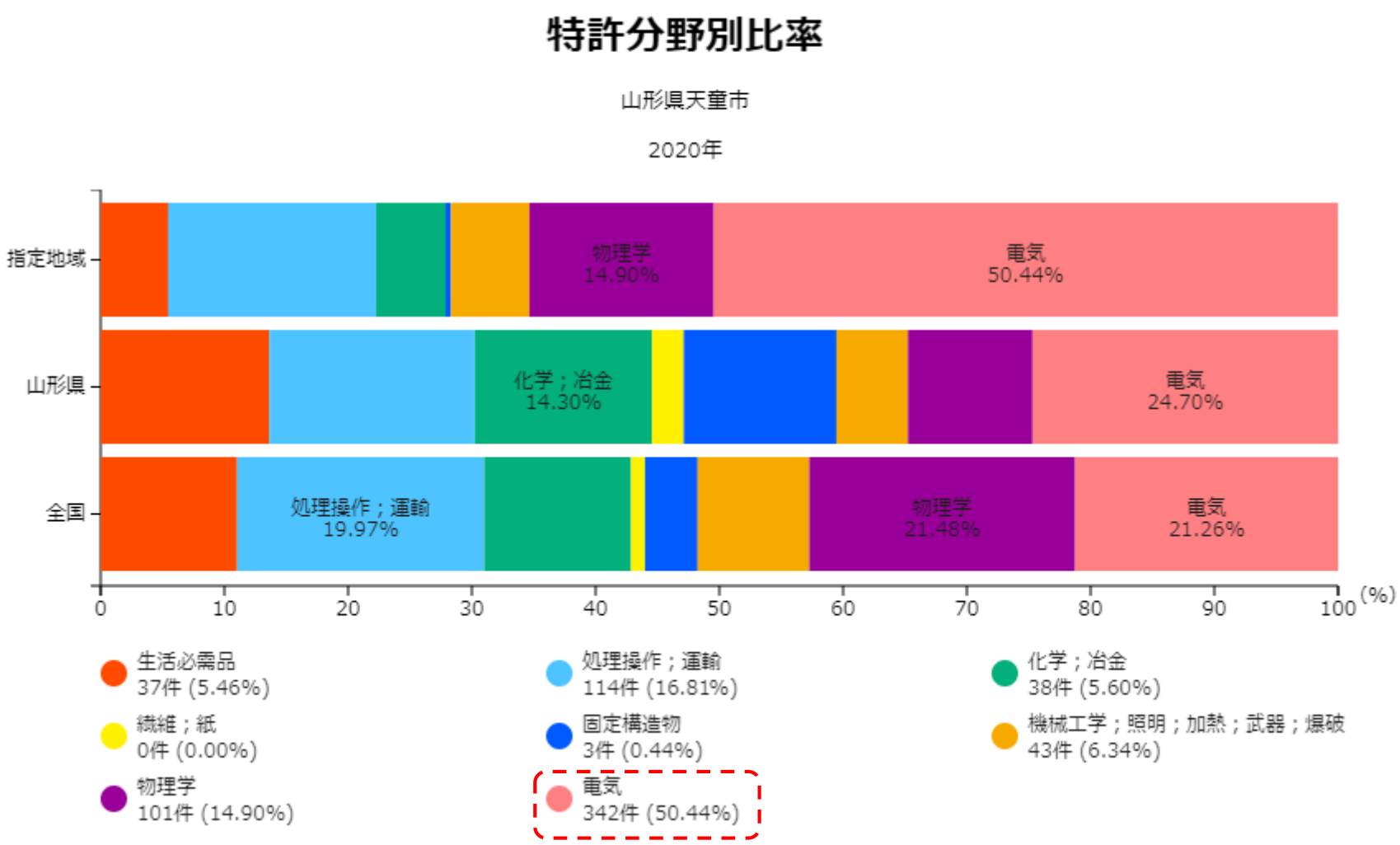
特許件数



出典：RESAS　特許庁「特許情報」（2014年9月、2016年7月、2017年9月、2018年9月、2019年10月）

- 特許取得数は県内第2位。

特許件数



出典：RESAS　特許庁「特許情報」（2014年9月、2016年7月、2017年9月、2018年9月、2019年10月、2020年11月）

・電気に関する特許が半数を占める。

【参考】天童市内の主な特許取得企業

エムテックスマツムラ株式会社	70
化学；冶金	2
処理操作；運輸	20
生活必需品	1
電気	41
物理学	6

株式会社山形信越石英	12
化学；冶金	7
機械工学；照明；加熱；武器；爆破	1
処理操作；運輸	2
電気	2

株式会社山本製作所	81
化学；冶金	1
機械工学；照明；加熱；武器；爆破	28
固定構造物	1
処理操作；運輸	41
生活必需品	5
物理学	5

東北パイオニア株式会社	430
化学；冶金	14
機械工学；照明；加熱；武器；爆破	8
処理操作；運輸	30
生活必需品	4
電気	290
物理学	84

東北パイオニアＥＧ株式会社（現デンソーＦＡ山形）	9
処理操作；運輸	3
電気	1
物理学	5

天童市の伝統工芸　～将棋の駒～

天童将棋駒の起こり

　全国の約９割以上を占めるといわれる天童の将棋駒産業は、織田藩が天童に入る以前の高畠にあったときから将棋駒の生産が行われ、天童に持ち込まれたことがわかっています。その後、江戸時代後期に生活の困窮にあえぐ藩士の救済として、当時の天童織田藩の用人職で後に幕末・明治維新にかけて活躍する吉田大八が、当時の天童で生産されていた将棋駒の製作を藩士に奨励したことが、後世に伝わる天童将棋駒の振興のきっかけとなったといわれています。（天童市公式ホームページから）

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R 1
事業所数	15	15	15	15	14	14	14	14	14	14
従事者数（人）	52	53	53	53	52	54	54	57	59	61
生産額（万円）	12,764	12,224	14,278	16,873	18,650	30,120	29,980	27,400	26,500	22,070
ふるさと納税（内数、万円）	―	―	―	―	5,821	16,644	11,278	11,754	5,941	2,882

特徴整理

項　目	概　要	特　徴
人口	これまでの人口の推移と今後の見通しは？	・2045年の天童市の総人口は現在の6.2万人から約5.2万人に減少する見込み。 ・社会増減については、2010年までは、減少が続いていたが、2011年から増加に転じた。 ・自然増減については、2008年以降、減少が続いている。 ・昼夜間人口比率は、100%を切るが、夜間人口を維持しながら増加している。
域外収支	域外からお金を獲得している産業はどれか？（2015年）	1次産業と２次産業の収支はプラス（市外からお金を獲得している）。 3次産業は、大きくマイナスとなっている。（卸売業・教育・情報通信業）
産業大分類	大分類で見た時に、強みがある産業はどれか？（2016年）	売上高・付加価値額・従業者数については、「製造業」「卸売業・小売業」の割合が大きい。事業所数では、「卸売業・小売業」の割合が大きい。
各種特化係数	特化係数で見た時に、強みがある産業はどれか？（付加価値額、労働生産性、従業者数）（2016年）	付加価値：「卸・小売」「生活関連サービス産業・娯楽業」「製造業」などが全国を上回る。 従業員数：「製造業」「建設業」「生活関連サービス産業・娯楽業」などが全国を上回る。 労働生産性：「医療・福祉」「卸小売業」が全国を上回る。 → 【卸・小売業】付加価値・従業員数・労働生産性のいずれも全国を上回る。 【製造業】付加価値・従業員数は全国を上回るが、労働生産性については全国を下回る。
特許出願	どのような特徴の特許が多く出願されているか？（2019年）	特許分野では電気の割合が多く、件数では山形市（773件）天童市（688件）米沢（455件）となっており、多くの特許が取得されている。

SWOT分析

強　み	弱　み	機　会	脅　威
・産業のバランスが良く、地域としてリスク分散が出来ている。 ・ここ１０年で市造成の工業団地を２つ造成し、製造業を中心として企業を誘致し、すべてを分譲し雇用を創出してきた。 →強固な地盤、に恵まれ、災害に強い。 →良質な地下水をはじめ、自然環境に恵まれている。 →子育て支援が充実しており、女性の社会進出が進んでいる。 ・域内に速やかに分譲可能な団地がある（山口西工業団地）。 ・内需に強い食料品製造業が域内に多いため、世界的な景気動向に左右されにくい。 ・市内企業が取得している特許数多い。 ・交通の要衝であり、物流の拠点として機能。卸売業の規模が大きい。	・多数の従業員数を抱える製造業をはじめとし、多くの産業で生産労働性が低いため、付加価値を高める必要がある。 →賃金が低く、雇用者の所得が　全国平均より低い。 ・3次産業（特に卸売業）の移出入でマイナスが大きい。 ・昼夜間人口比率が１未満であり、人口に対して市内に就労・就学の場が少ない。 ⇔交通アクセスの良さが一因か？ ・人口減少による人手不足、生産年齢人口の減少、国内市場の縮小が見込まれる。 ・２０才前半で人口が大きく転出超過となっている。 ←市内企業の情報について、若者へＰＲが不足が一因か？	・コロナの影響で、通信販売・情報通信が生活に浸透。 ・コロナの影響で、地方で就労を希望する人材が増加。 ・ロボット化・自動化により、生産性の向上が見込まれる。 ・５G通信関連事業の拡大が見込まれる。ただし、スマホ自体の売り上げは縮小。	・コロナ等の影響により経済が停滞している。 ・人口減少による人手不足、生産年齢人口の減少、国内市場の縮小が見込まれる。 ・ロボット化・自動化により、雇用の喪失が見込まれる。

注力テーマ

【注力テーマ】
魅力ある雇用の創出　～企業誘致の方向性の検討～

【テーマ選定理由】
●これまでの工業団地整備や製造業等を中心とした企業誘致の成果を踏まえ、今後も魅力ある雇用を創出し、人口の流入を図るため、地域にとって、効果的な企業誘致の方向性を検討する。

●コロナ等で地方で働きたい人が増える中、現在分譲中の山口西工業団地について、どのような企業誘致が効果的かつ既存企業や地域への好影響が期待できるかを検討する。

●中長期的な観点から、天童市の強みを生かし、周辺地域の状況や今後の社会情勢、経済動向等も考慮し、天童市の経済を持続的に発展させるための施策方針を検討する。

まち・ひと・しごと総合戦略

天童市まち・ひと・しごと総合戦略（平成28年２月策定　令和２年３月改定）
※　現在、本分析を反映させながら第２期戦略策定中

総合戦略策定の趣旨（一部抜粋）
「子供を生み育てやすい環境整備や交流人口の拡大、地域経済の活性化などにより、天童の持つ魅力にさらに磨きをかけ、「ひと」がここに住み続け、生活し、「しごと」を『する場所として選ばれる「まち」にならなければなりません。」

総合戦略の施策の方向性（一部抜粋）
「地方創生は「ひと」が中心であり、「ひと」が「しごと」をつくり、「まち」を作るという流れを確かなものとし、現在の課題を解決して好循環に向かわせなければなりません。
本市に、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立し、「まち」の活力を高めることが重要です。」

⇒　「ひと」を呼び込む「しごと」、「まち」の活力を高める「しごと」の拡大を重視

注力テーマ分析の方向性

『ひと』を呼び込む産業とは

天童市は社会増減については県内でも一定の成果あり。
ただし、高校卒業後に進学等で市外へ転出し、卒業後も天童市へUターンしない若者が一定数いる。
⇒若者にとって魅力的な「しごと」を検討する。

自然増減については、近年減少を続けている。
→女性の社会進出と子育てを両立できる、女性にとって魅力的な「しごと」を検討する。

地域経済に『しごと』を生む産業とは

これまでの製造業中心の誘致活動により、多くの雇用が創出され、安定雇用の確保の点から「まち」の活力を生んできた。
反面、誘致企業が地元企業に与える波及効果については、これまで検証がなされておらず、その効果は不透明な状況。
→地域経済への効果を検証し、今後の誘致活動に当たり、地域経済により波及効果のある施策を検討する。

『まち』の強みを生かし、成長を担う産業とは

天童市は、その地理的条件や、これまでの各種産業振興施策、企業誘致等により幅広い産業を有しており、多様性があり、比較的経済動向の変動を受けにくい産業構造と言える。
しかしながら、世界経済の変化や技術革新の激しい現在において、将来的にも地域の強みを生かしながら持続的に成長できる産業の誘致・育成を図る必要がある。
⇒昨今のトレンドや、有識者の意見を通じ、将来的に成長が見込まれる「しごと」を検討する。

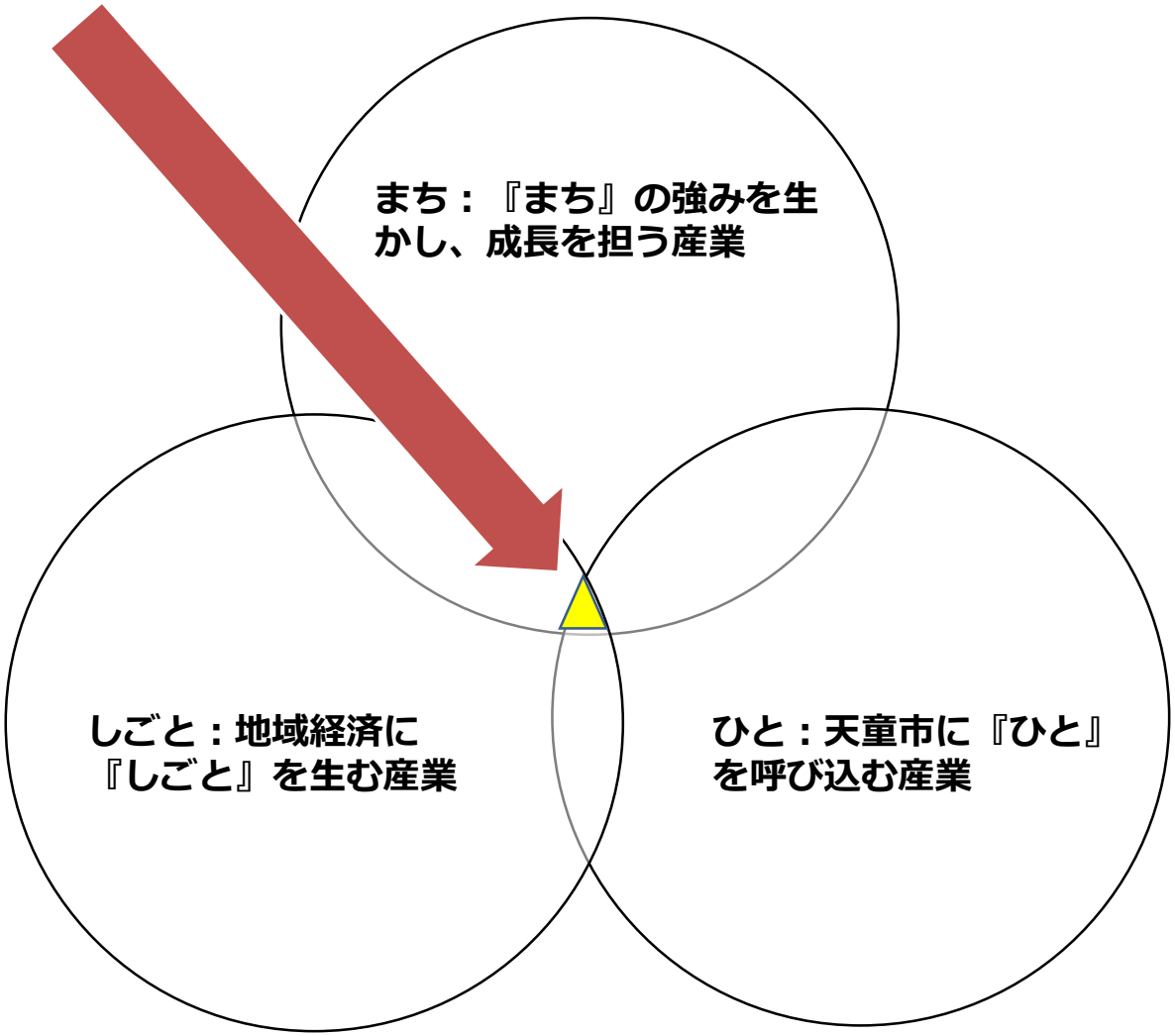
山口西工業団地の概要

・国道48号と国道13号資金の優れた交通利便性
・強固な地盤と良質な地下水に恵まれ、自然災害も少ない工場好適地

所在地：山形県天童市大字山口

（イメージ）注力テーマ分析の方向性

検討の方向性
◎３つに共通する業種はあらゆる面で「魅力的」
⇒誘致・育成の優先度が高い産業といえる。



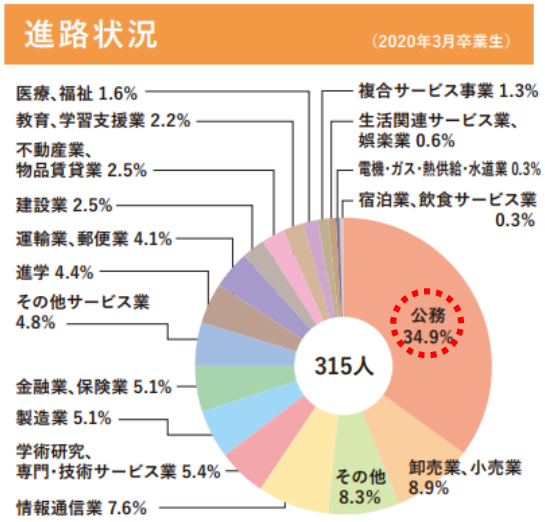
「ひと」を呼び込む産業とは

若者にとって魅力的なしごととは？

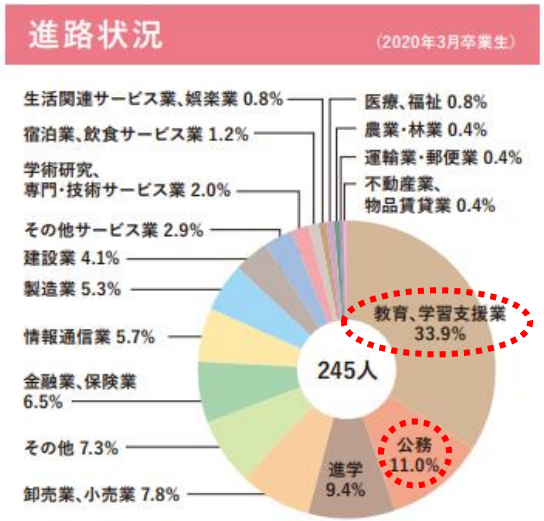
『求人のための山形大学案内2022』から

学部生

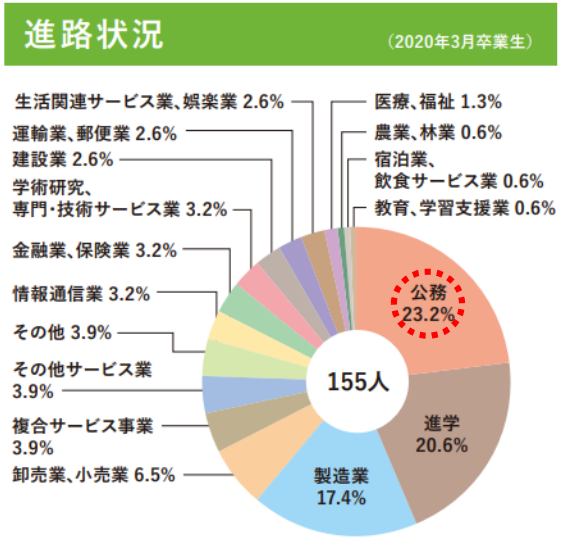
人文社会科学部



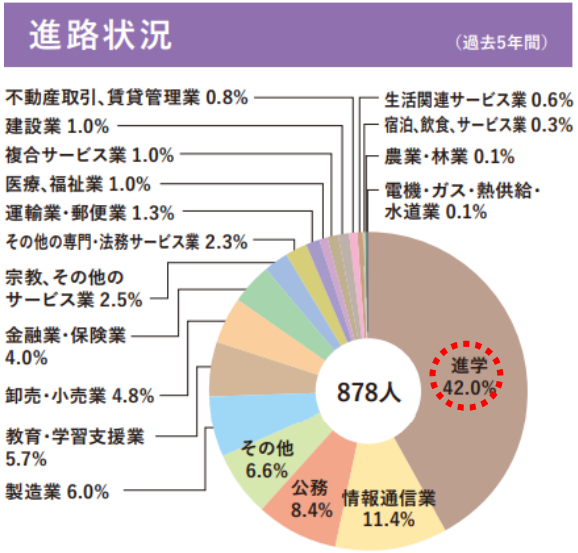
地域教育文学部



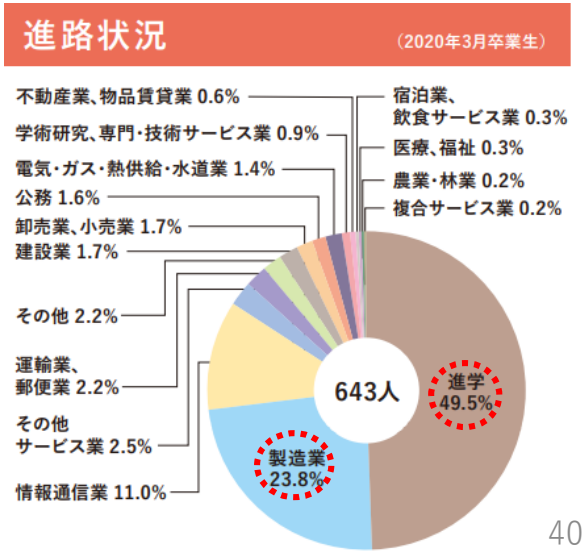
農学部



理学部



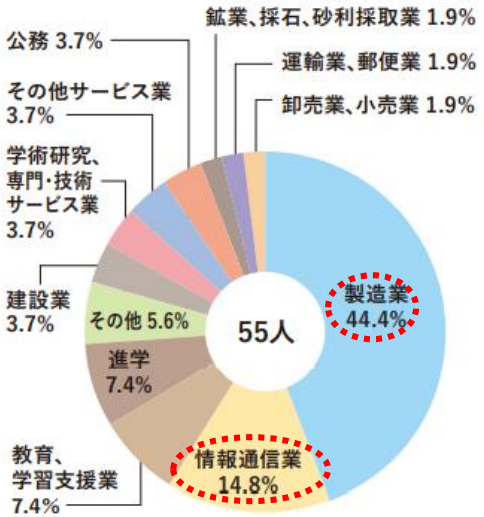
工学部



大学院

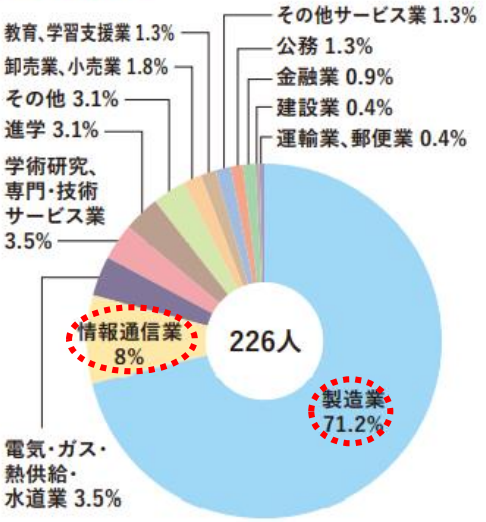
理工学研究科（理学系）

進路状況 （2020.3月修了生）



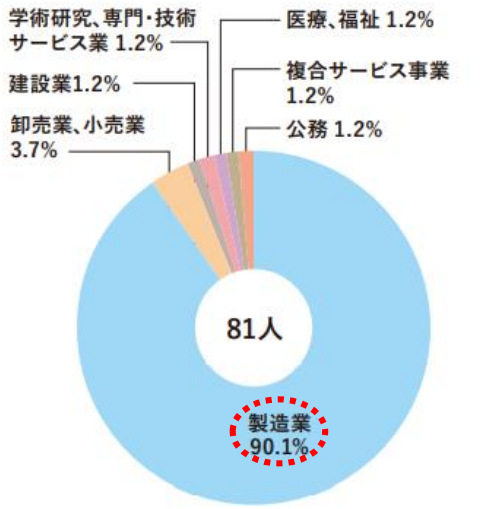
理工学研究科（工学系）

進路状況 （2020.3月修了生）



有機材料システム研究科

進路状況 （2020.3月修了生）



大学院生

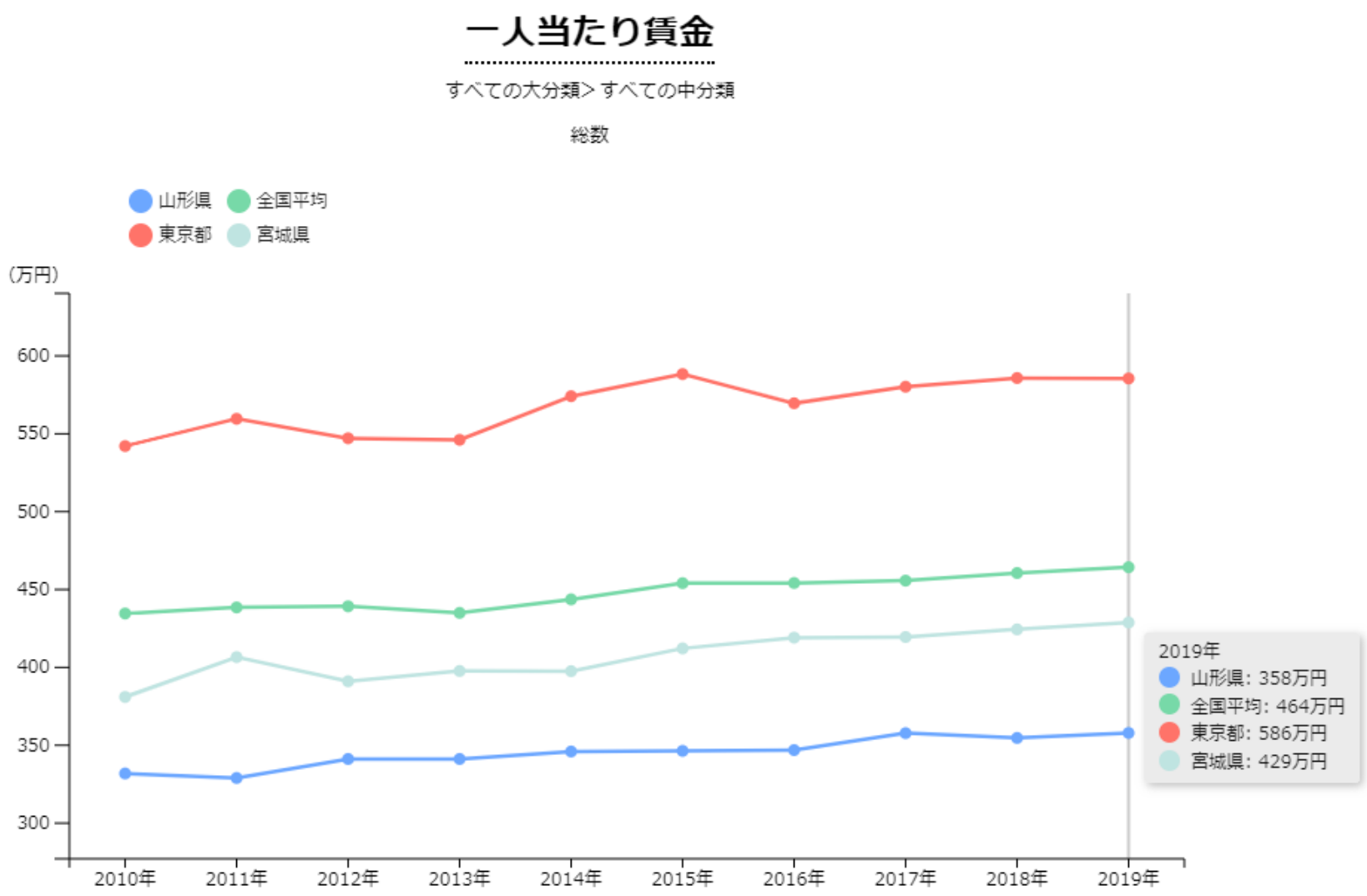
就職者数：440人　　就職率（希望者における）：99.8%

2020年3月修了（現職教員含む）		就職地域												
		山形	宮城	福島	新潟	北東北・北海道	関東	北陸・甲信越	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄	海外	合計
出身地域	山　形	58	7	0	1	0	34	0	4	3	0	0	0	107
	宮　城	12	25	1	0	1	40	0	4	1	1	0	0	85
	福　島	4	1	7	0	1	11	0	0	2	0	0	0	26
	新　潟	0	1	1	1	0	10	1	2	0	0	0	0	16
	北東北・北海道	2	2	3	1	6	31	0	3	1	0	1	0	50
	関　東	2	1	1	0	2	64	1	3	9	1	2	0	86
	北陸・甲信越	1	0	0	0	0	8	0	1	1	0	0	0	11
	東　海	0	0	0	0	0	16	0	15	1	1	0	0	33
	近　畿	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	4
	中国・四国	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
	九州・沖縄	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
	海　外	5	0	0	0	0	8	0	1	0	0	0	4	18
	合　計	84	37	13	3	10	227	2	33	20	4	3	4	440

文系：公務員の割合が最も高い。
（推論）安定性を重視

理系：半数近くが大学院に進み、その半数以上が製造業に就職。更にその半数以上が関東圏へ就職している。
　市内・県内に、製造業は多数存在しているが、現実として、関東圏の企業へ就職する学生が多い。
（推論）
・関東圏と比べて給与、福利厚生が弱い
・学生に対する地元企業の情報発信不足
・大学、大学院での研究分野を活かせる研究開発を行っている企業が少ない

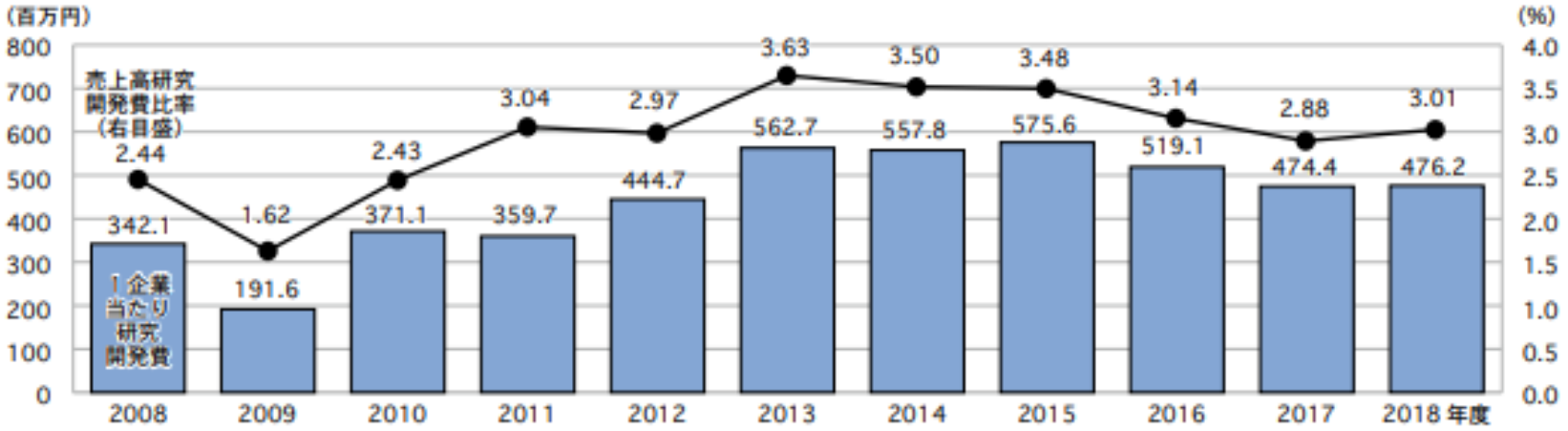
【参考】一人当たり賃金



【出典】
厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

【参考】東北地域に本社を置く製造業の研究開発費

製造業の売上高研究開発費比率と１企業当たりの研究開発費の推移



製造業における研究開発費の現況

	企業活動基本調査報告企業数		研究開発費報告企業数				売上高に対する研究開発費の割合（%）		１企業当たり研究開発費（百万円）	
			東北		全国					
	東北	全国	企業数	報告割合(%)	企業数	報告割合(%)	東北	全国	東北	全国
2016 年度	802	12,870	204	25.4	6,161	47.9	3.14	5.04	519.1	1,856.7
2017 年度	768	12,705	195	25.4	6,174	48.6	2.88	5.02	474.4	1,971.2
2018 年度	773	12,826	197	25.5	6,160	48.0	3.01	4.83	476.2	1,943.7
前年度差	5	121	2	0.1	▲ 14	▲ 0.6	0.13	▲ 0.19	0.4	▲ 1.4

(注)「１企業当たり研究開発費」の前年度差は、前年度比（%)。
「資料：経済産業省 企業活動基本調査」

・東北地域に本社を置く製造業の研究開発費は、全国と比べて低い。

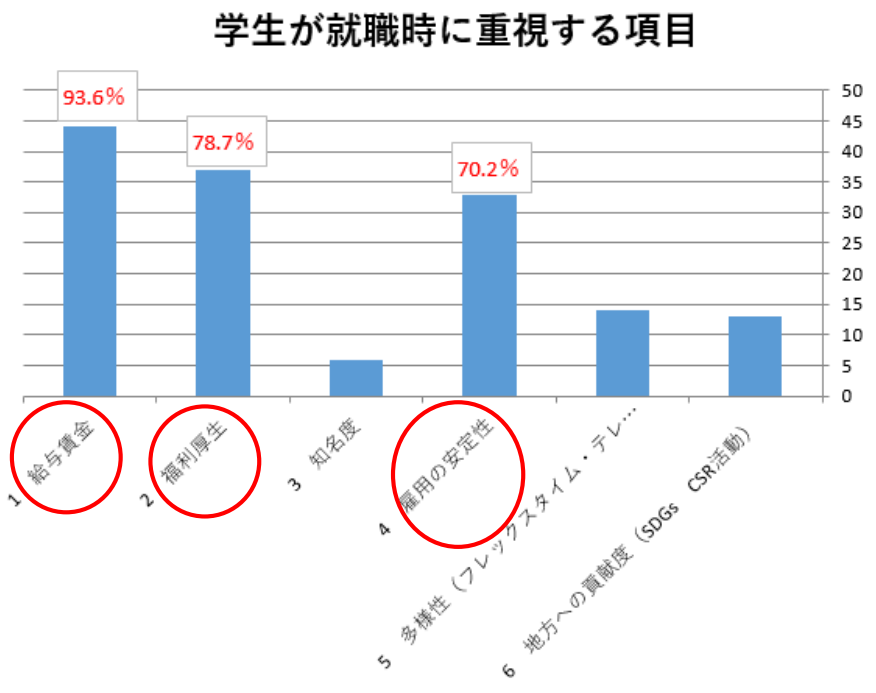
天童市出身の学生にアンケートを実施

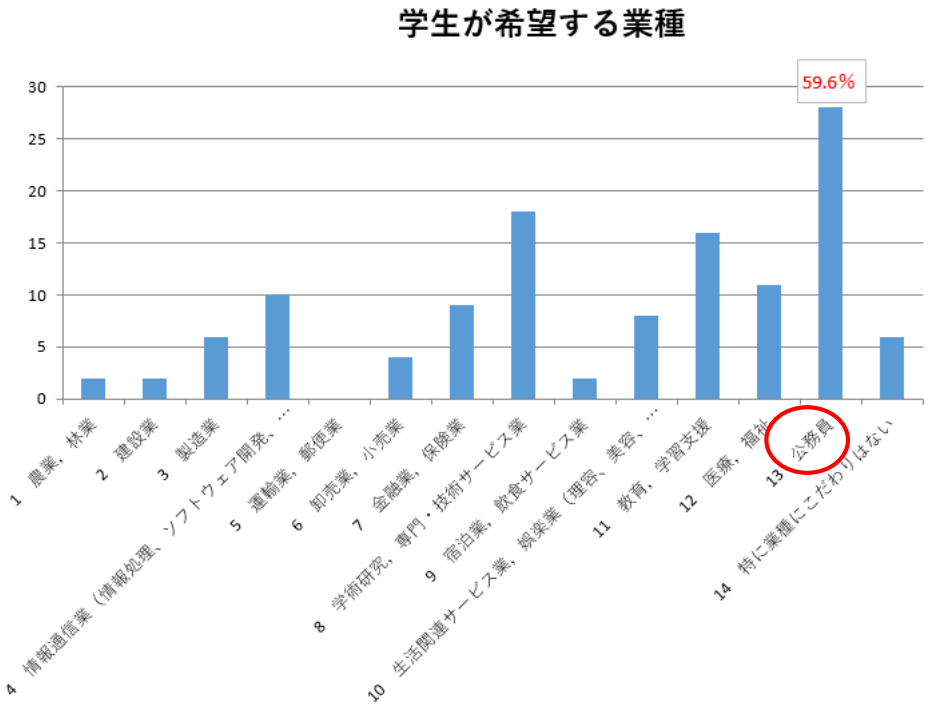
対象者：「天童市出身の県外在住在学生への食の支援事業※」を活用し、 かつ本市からの情報提供を希望した学生

※新型コロナ感染拡大を受け、天童市出身で、現在県外へ居住する学生に対して、天童市の農産品等を提供し、支援する事業。

対象人数：１５１名（うち５１名回答：文系２０名、理系２８名、その他３名）

実施時期：令和２年１１月１１日～１１月１８日

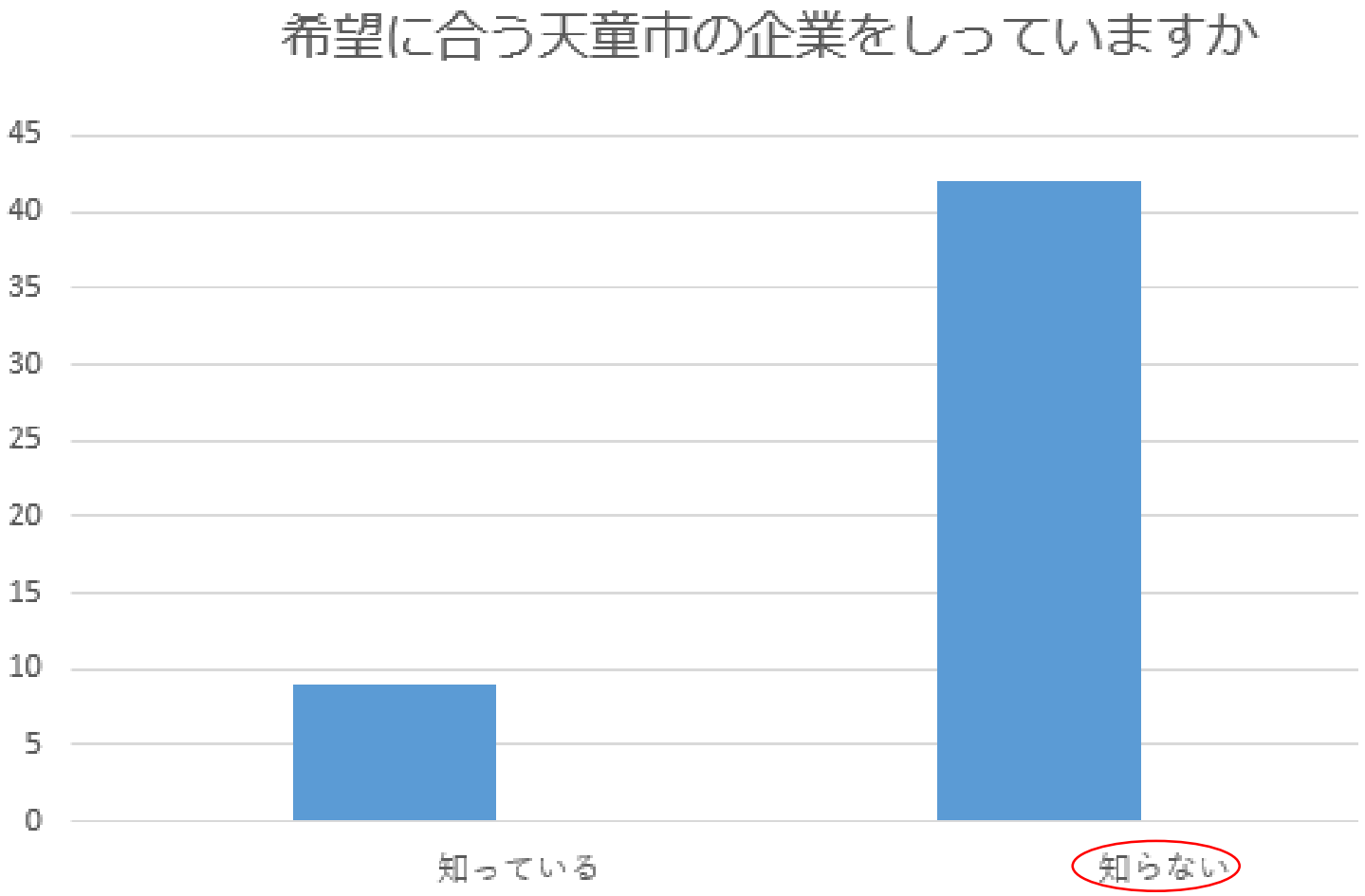




〇重視項目：９０%以上が「給与賃金」を重視。「福利厚生」、「雇用の安定性」を重視する人の割合も70%以上。

※　１０月に実施した、県内大学の就職担当者からの聞き取り調査でも、同様の傾向があるとの回答であった。

〇希望業種：回答者の半数以上が公務員を希望　⇒　重視項目との相関関係が認められる。



・天童市出身の学生のうち、８０％以上が天童市に自分の希望に合う企業あるかを知らないと回答。

【結論】
若者にとって魅力的な「しごと」とは、「給与賃金」「福利厚生」「雇用の安定性」を備えた仕事といえる。
しかし、そのような「しごと」が市内に存在するかについては、大多数の若者が知らない現状である。

【参考】アンケート調査票

（１）　あなた自身についてお伺いします。

年齢：＿＿＿＿＿＿才

性別：＿＿＿＿＿＿

学部・学科等＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

居住地（市区町村まで）：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿例：山形県天童市

※新型コロナウイルス感染症の影響で、現在市内に滞在中の方は、学校の所在地

（２）　ご自身が就職先を決める上で重視するポイントは何ですか（上位３つを選択）

1　給与賃金
2　福利厚生
3　知名度
4　雇用の安定性
5　多様性（フレックスタイム・テレワーク等）
6　地方への貢献度（SDGs　CSR活動）

（３）就職先として希望する業種は何ですか（上位３つを選択）

1　農業，林業
2　建設業
3　製造業
4　情報通信業（情報処理、ソフトウェア開発、放送業等）
5　運輸業，郵便業
6　卸売業，小売業
7　金融業，保険業
8　学術研究，専門・技術サービス業
9　宿泊業，飲食サービス業
10　生活関連サービス業，娯楽業（理容、美容、クリーニング、娯楽施設等）
11　教育，学習支援
12　医療，福祉
13　公務員

（４）希望する職種は何ですか（具体的な職業を上位から３つ記入ください）

1、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
2、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
3、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

例）医師、小（中高）学校教師、美容師、飲食店員、営業職、公務員、事務職　等

（５）ご自分の希望に合う天童市の企業知ってますか？

1　知っている
2　知らない

（６）天童市へのＵターンを検討するにあたって他に重視するポイントはありますか

自由記載

（７）天童市へのＵターンを検討する際に、Ｕターンを妨げる要素はありますか。

自由記載

質問は以上となります。
ご協力ありがとうございました。

【参考】高校卒業後の進路

区　分	卒業者数	A大学等進学者	B専修学校(専門課程)進学者	C専修学校(一般課程)等入学者	D公共職業能力開発施設等入学者	E就職者等				F左記以外	G不詳・死亡
						自営業主等	常用労働者		臨時労働者		
							無期雇用労働者	有期雇用労働者			
総　数	9,791	4,515	1,872	285	177	37	2,696	13	9	182	5
公　立	6,823	3,334	1,176	225	155	14	1,804	12	9	92	2
私　立	2,968	1,181	696	60	22	23	892	1	－	90	3
全日制　計	9,711	4,509	1,864	283	174	36	2,656	10	1	173	5
普通	5,988	3,662	1,137	241	40	19	742	5	1	136	5
農業	304	36	56	12	18	1	176	－	－	5	－
工業	1,399	206	168	5	92	5	908	－	－	15	－
商業	697	187	199	1	5	2	294	2	－	7	－
水産	44	6	5	－	－	2	31	－	－	－	－
家庭	208	30	51	－	－	1	124	－	－	2	－
看護	39	39	－	－	－	－	－	－	－	－	－
情報	38	16	17	－	4	－	1	－	－	－	－
福祉	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
その他	233	174	13	23	－	1	18	－	－	4	－
総合学科	761	153	218	1	15	5	362	3	－	4	－
定時制　計	80	6	8	2	3	1	40	3	8	9	－
普通	63	6	8	－	3	1	30	3	4	8	－
工業	17	－	－	2	－	－	10	－	4	1	－

山形県『令和２年度学校基本調査　卒業後の状況調査 山形県結果－令和元年度間卒業者－』

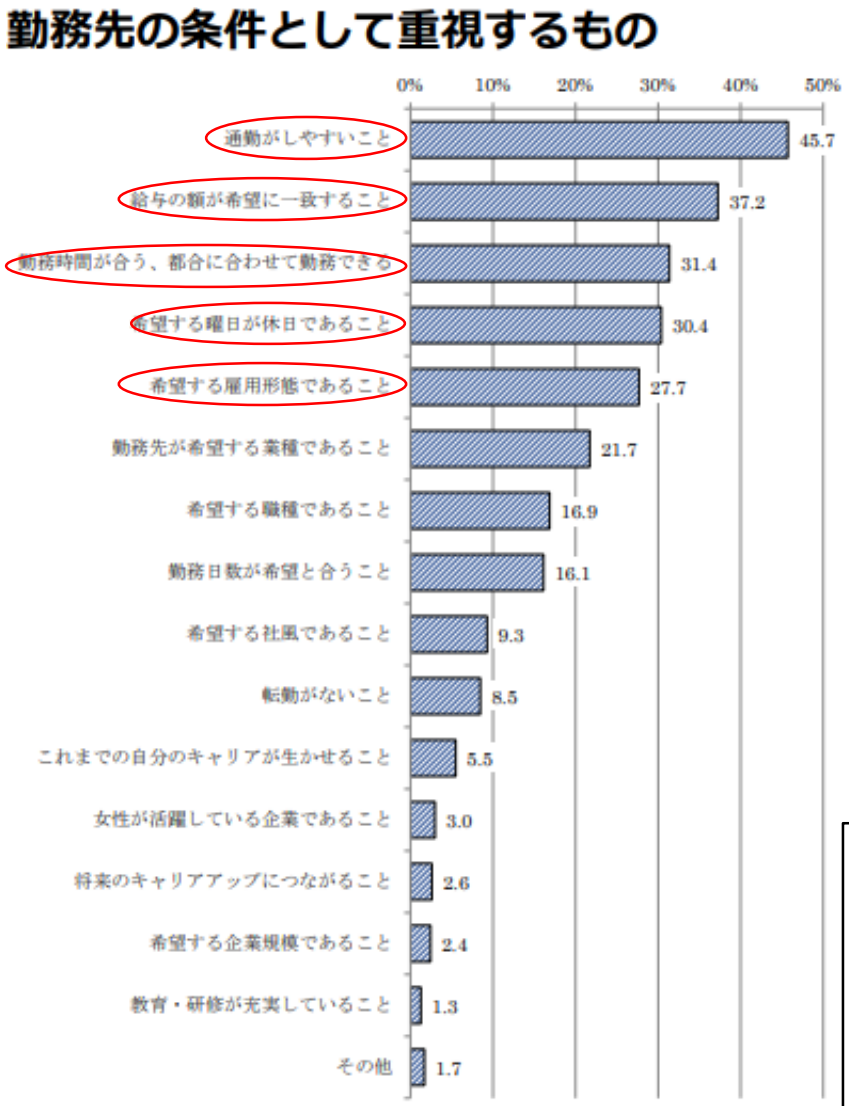
【参考】近隣工業系高校

学校名（所在地）	学科名	最終学年人数
県立山形工業（山形市）	機会、電子機械、電気電子、情報技術、建築、土木・化学	241
私立山形学院（山形市）	情報創造	37
私立山形明正（山形市）	自動車工学、情報機械	90
県立上山明新館（上山市）	情報経営	35
私立創学館（天童市）	やまがた創造工学	211
県立寒河江工業（寒河江市）	機械、電子機械、情報技術	107
県立村山産業（村山市）	機械、電子情報	62

山形県学校名鑑（令和２年５月１日）

女性にとって魅力的なしごととは？

『女性の就業意識に関する調査報告書』（経済産業省中部経済産業局　平成３１年３月）から



①女性人材は多様な働き方を求めている
仕事と私生活のバランスは、私生活を優先する割合が過半数である。私生活を優先する割合が高いものの、多様な働き方を求めており、 その中で働きやすさを求めている。

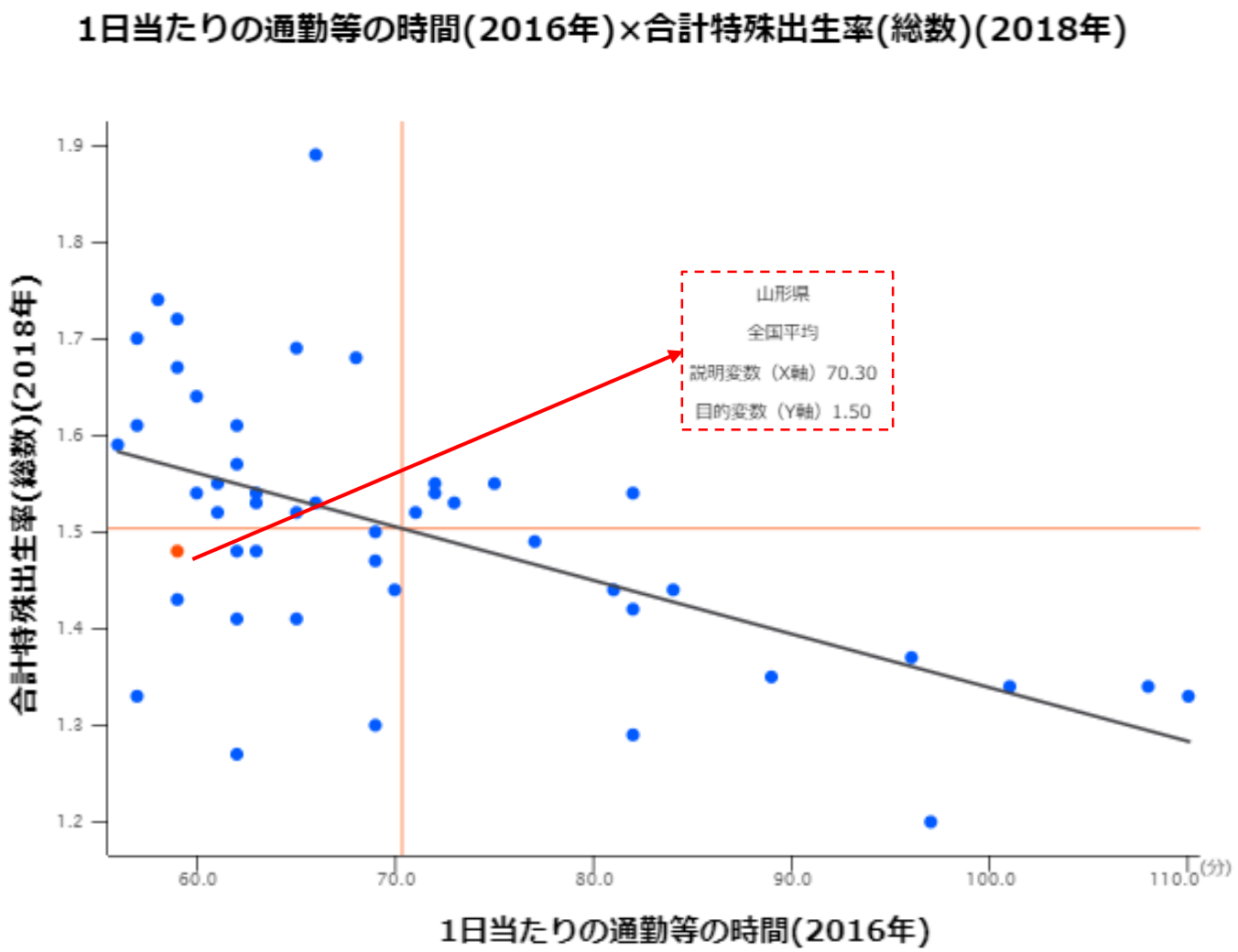
②女性が活躍するために希望することは仕事と家庭の両立支援
女性活躍のために推進してほしいことは、「仕事と家庭を両立しやすい環境の整備」が最も高 く、次いで「休暇制度の柔軟な運用」となっている。

③就業希望において、業種や規模へのこだわりは少ない

④モノづくり企業のイメージはよいが労働環境面・待遇面の改善が望まれている
　モノづくり企業のイメージについては、過半数が肯定的。その一方で、女性 が活躍しにくい、賃金が安い企業が多い、といった課題が指摘されている。 モノづくりの中小企業の課題の一つである人手不足対策は「柔軟な労働時間、休日取得の推 進」と「賃金や福利厚生などの待遇の一層の改善」が高く待遇面の改善が求められている。

【結論】
　女性にとって魅力的な「しごと」とは
・通勤のしやすさ、柔軟な勤務体系、休暇制度の柔軟な運用＝①「仕事と家庭の両立」
・給与の額が希望に一致する＝②「給与賃金」
①、②を備えた仕事といえる。

【参考】通勤時間と合計特殊出生率



・女性が最も重視する通期時間については、山形県は全国的に見ても短い。
・この図から、通勤時間の短さと合計特殊出生率の間には相関関係がある。
　→市内在住者が通勤時間が短い市内企業で働くワークスタイルは、出生の点からも望ましいと考えられる。

地域経済に『しごと』を生む産業

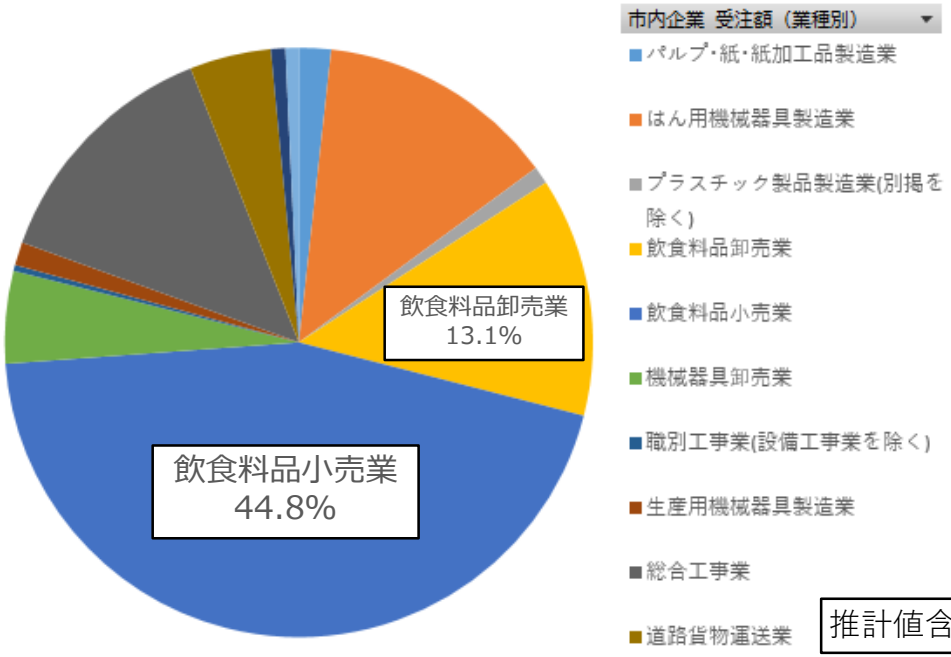
これまで天童市が誘致した企業と市内企業取引状況を調査した。

天童市誘致企業一覧

立地年度	企業名	主要製品等
昭和32年	大栄食品(株)(現　(株)ニチレイフーズ山形工場)	缶詰(当時)、レトルト食品(現在)
昭和32年	日東ベスト(株)	冷凍食品
昭和39年	八洲工業(株)(現　協友アグリ(株))	農薬、殺虫剤
昭和40年	山形段ボール(株)	段ボール製品
昭和41年	三和缶詰(株)	飲料缶
昭和41年	東北パイオニア(株)	カーステレオ、FAシステム機器(FAは事業売却)
昭和42年	前田コンクリート(株)	コンクリート製品
昭和45年	日新製薬(株)	医薬品
昭和57年	松下電器産業(株)(現　パナソニック(株))	光学デバイス等
平成25年	(株)シリコンプラス	太陽光パネル関連製品の製造･販売
平成2年	(株)旭製作所	自動車配線用ターミナル
平成2年	日本連続端子(株)	自動車コネクタ金属製品
平成3年	三協オイルレス工業(株)	金属加工
平成4年	(株)山形チノー(現　(株)チノー)	産業用温度計
平成25年	ロジスネクスト東北(株)	フォークリフトのメンテナンスなど
平成26年	(株)フレッシュダイナー	コンビニエンスストア向けの弁当、おにぎり、寿司、デザート等の製造など
平成27年	大虎運輸(株)	運送業
平成28年	(株)細胞科学研究所	細胞培養液の設計と製造
平成28年	所沢軽合金(株)	四輪用部品、二輪用部品、光学器械用部品、ロボット関係部品、その他の鋳造
平成29年	(株)トラフィックレンタリース	商用車のレンタル、リースなど
平成29年	生活協同組合共立社	供給事業(店舗、共同購入、灯油)、共済事業、福祉事業、葬祭事業、サービス事業
平成30年	公益社団法人山形県トラック協会	貨物自動車運送事業に関する指導、調査及び研究等
平成30年	(株)デクシス	外観検査等の製造販売
平成31年	(株)ユーキセッサク	金属加工
令和元年	(株)山形新聞社(山新オフセット(株))	新聞の印刷

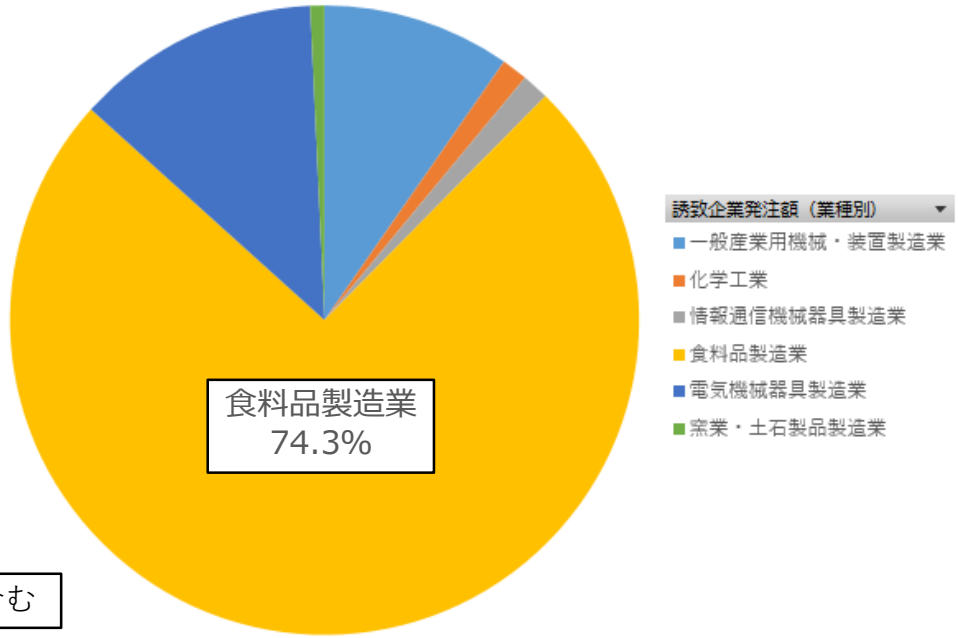
○天童市が誘致した企業と市内企業との取引状況調査結果

市内企業が誘致企業から受注した額（中分類別）



推計値含む

誘致企業による市内企業への発注額（中分類別）



・誘致企業による市内企業への発注状況は、食料品製造業からの発注額が大きい。
・市内企業の受注注状況は、飲食料品小売業が多い。
⇒誘致した食品製造業の、市内の飲食料品小売業からの仕入れ額が極めて大きい
＝卸売・小売業が盛んな天童市の強みとの相乗効果があると考えられる。

・食品製造業以外の製造業は、個別企業の取引データを分析した結果、それほど市内からの仕入れ額は大きくないが、市内に本社や設計機能、最終製品製造工場を持つ誘致企業については、一定額の市内企業からの仕入れがみられる。

1.我が国ビジネスモデルの特徴と今後の展開
（1）バリューチェーンからエコシステムへ

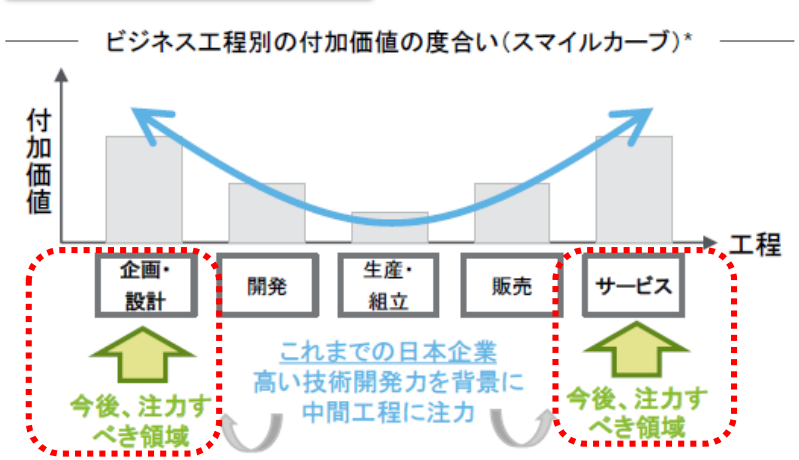
参考：『2019年ものづくり 白書 第 3 節 調査報告書』

全世界的に、プラットフォーマーをはじめ異業種から製造業への参入が製造業の業界を大きく変化させている。このような中、自社の強みが最大限に活きるビジネスモデルを俯瞰的な視点で考える必要がある。スマイルカーブにおける左端の「モノ」を企画・設計する工程及び右端の「モノ」の利用に係るサービスを提供する工程において付加価値が高まっており、上流・下流工程（即ち顧客接点）を強化すべき。

①我が国製造業におけるビジネスモデルの現状

戦い方 上流・下流工程を強化し付加価値向上

スマイルカーブの概要

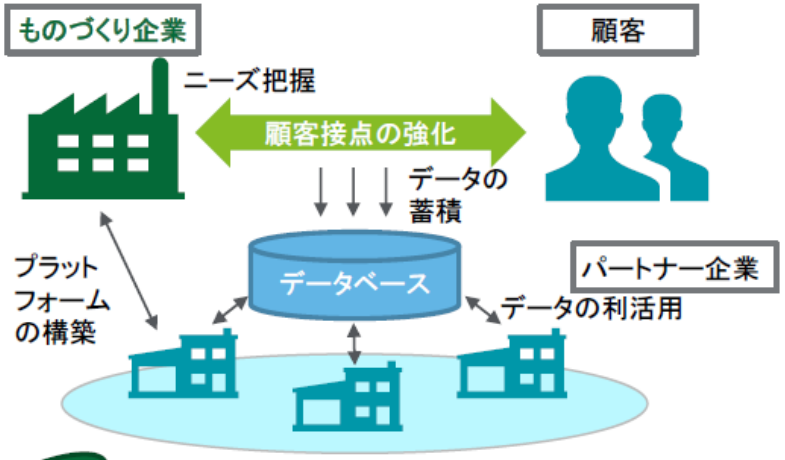


IT・ハイテク企業を中心としたプラットフォーマー企業が台頭し、生産工程のみでの展開では付加価値を出しにくくなっている

上流と下流を強化（＝顧客接点を強化）し、デザイン思考や「モノ＋α」の考え方で個別顧客に訴求していくビジネスモデルを構築すべき

出所：伊藤元重「変化をチャンスと捉え、"スマイルカーブ"の上流・下流で勝負」SERIトピックス (970), 1-5, 2008-02-15 静岡経済研究所

戦い方 顧客接点と共にデータ利活用を強化



成功要因

顧客接点を強化しニーズを把握	顧客接点よりニーズを把握し、社会実装ニーズから新たなビジネスモデルを検討
データの蓄積利活用	これまでにない質と量の顧客データを蓄積し、パートナー企業ともデータを利活用
プラットフォーマーになり連携強化	データ利活用のプラットフォームを形成し、PF同士も連携することで補完関係を築く

© 2019. For information, contact Deloitte Tohmatsu Consulting LLC.

【結論】
・食料品製造業は市内企業に対して高い波及効果が認められる
・本社機能や最終製品工場を有する企業は、市内企業に対して一定の波及効果が認められる

『まち』の強みを生かし、成長を担う産業とは

「まち（天童市）」の強み

- 災害の被害が少ないまち
  - 強固な地盤・インフラ整備
- 恵まれた自然環境
  - 豊富で良質な地下水
- 恵まれた交通環境
- 優良な住環境
  - 計画的な都市整備、住宅供給
- 充実した子育て支援
  - 切れ目ない支援（待機児童数0人、0歳～18歳の医療費無料等）
  - ⇒女性の社会進出
- 多様な産業構造
  - 1次・2次・3次産業のバランスがよく、1次産業の移出入額の黒字収支が高い

水害 —— 水害の少ない天童市
Flood damage

水害による被害

年次		水害区域面積(㎡)	被災数(世帯)	被災数(事業所)	被害額(千円)
2018	天童市	0	0	0	0
	全国	285,943,628	58,792	6,217	1,405,107,280
2017	天童市	0	0	0	0
	全国	219,312,202	25,061	2,362	179,197,381
2016	天童市	0	0	0	0
	全国	102,890,632	14,460	2,951	466,812,054

資料：国土交通省「水害統計調査」

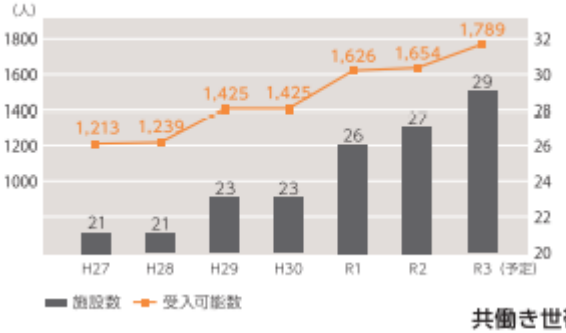
地震 —— 地震の少ない山形
Earthquake

地域別地震回数表

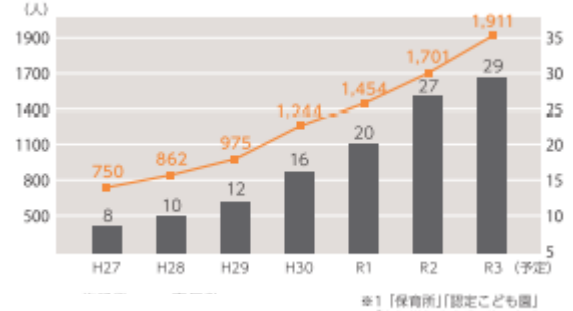
震度	5弱	5強	6弱	6強	7	合計
山形県	6	2	1	0	0	9
北海道	34	6	7	0	1	48
岩手県	21	3	5	1	0	30
宮城県	33	5	4	3	1	46
福島県	45	9	2	1	0	57
東京都	53	11	7	0	0	71
静岡県	18	1	4	1	0	24
熊本県	29	5	4	2	2	42

注）1996年9月以前の震度5は5弱、震度6は6弱として取り扱っています。
（検索期間　1924/4/1－2020/6/30）

天童市内の放課後児童クラブ（学童保育所）数

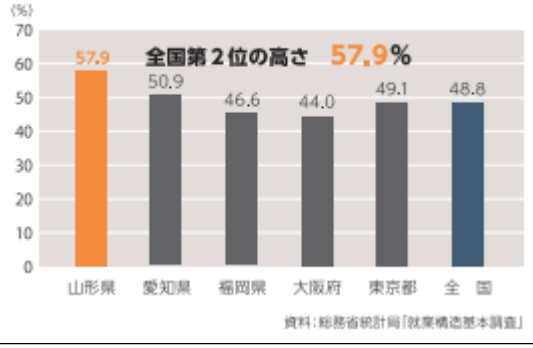


天童市内の保育所等の整備状況



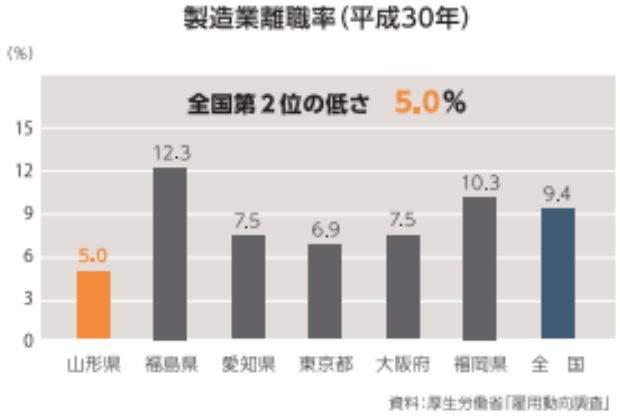
※1「保育所」「認定こども園」「小規模保育事業所」の合計

共働き世帯割合（平成29年）



資料：総務省統計局「就業構造基本調査」

誘致企業の声



〇当社設立後、地元山形で採用した多くの優秀な社員が当社の今日までの業容拡大に大きく貢献しています。また、ここ天童の強固な地盤と静かな環境は、僅かな振動や地場変動を嫌う電子顕微鏡の生産にとっては最適な地となっています。（業務用機械器具製造業）

〇天童市は東北中央自動車道、国道13号線、国道48号線による各方面へのアクセスの良さに加えて山形新幹線、山形空港も近くにあり、公共交通機関への接続も良い立地です。（業務用機械器具製造業）

〇当社にとって天童市の恵まれた自然環境や人材は、安全かつ高品質な製品づくりに大きなメリットであると考えております。（化学工業）

〇天童市は交通の便もよく、国内外のお客様へ迅速な対応が可能です。（生産用機械器具製造業）

〇従業員は約５５０名で、まじめで勤勉な地元採用者が多くを占めており、当社が位置する天童市は、国内主要都市からの交通アクセスも非常によく、利便性の高さを実感しております。（電子部品・デバイス 製造業）

〇天童市はスーパー、ホームセンターなどの店舗が多く、生活の利便性が良い地域です。また、県内では積雪の少ない地域で、転勤者もスムーズに生活に馴染むことができる街です。（食品製造業）

〇アクセスの良さ、整備された工業団地の良さなど様々な天童市の豊かさに魅力を感じます。（業務用機械器具製造業）

伸ばす＝今後の成長が期待できる「しごと」

その他の仕上用化粧品
内燃機関(はん用ディーゼル機関)(30PS未満)
リップクリーム
自転車(電動アシスト車)
乳液
整流素子(100mA以上)
おしろい
石油化学品製造用触媒
運動用革靴
合成ブタノール
その他の外装・荷造機械
銅製品(板)
その他の数値制御研削盤(金属工作用)
情報記録紙
アセトアルデヒド
軽トラック
特殊炭素製品
化粧水
エアコンディショナ(シングルパッケージ形)(リモートコンデンサ形を含む)
か性ソーダ(液体97%換算・固形有姿)
まゆ墨・まつ毛化粧料
エアコンディショナ(セパレート形)(室外ユニット)4.0kW超7.1kW以下
ファインセラミックス(集積回路用パッケージ)
エアコンディショナ(セパレート形)(室内ユニット)4.0kW超7.1kW以下
トレーラ
日やけ止め及び日やけ用化粧品
その他の研削盤(金属工作用)
段ボール原紙(外装用ライナー)(ジュート)
美容液

東北経済産業局『生産動態統計』より
　過去5年間、販売額が上昇しつけている品目をリストアップ

⇒「化粧品」関連の品目の上昇が目立つ。

（要因）
・海外での日本ブランドへの信頼、海外輸出増

・男性用化粧品の需要が徐々に拡大

・基礎化粧品、スキンケア商品の需要拡大

【結論】「まち」の強みを生かし、伸ばす「しごと」とは

「まち（天童市）」の強みを生かした「しごと」

① 食料品製造業

1次、2次、3次産業がバランスよく備わり、かつ1次産業の移出入額の黒字収支が高い天童市が、さらに市内で付加価値を高め、移出することにより、市内経済循環（市内産業への波及効果）が広範囲にかつ効率的に高められると期待できる。

② 精密機械製造業

天童市の固い地盤、良質な地下水は、精密機械製造業にとって必須条件であり、これまでも天童市内での集積が進んできている。なお、市内に本社機能を持つ企業による特許取得も進んできた。精密機械は日本の製造業の核とも言われ、今後も成長が期待できる分野がある。天童市にとっても企業にとっても希望が合致する業種と考えられる。

今後伸びる「しごと」

③ 化粧品関連製品製造業

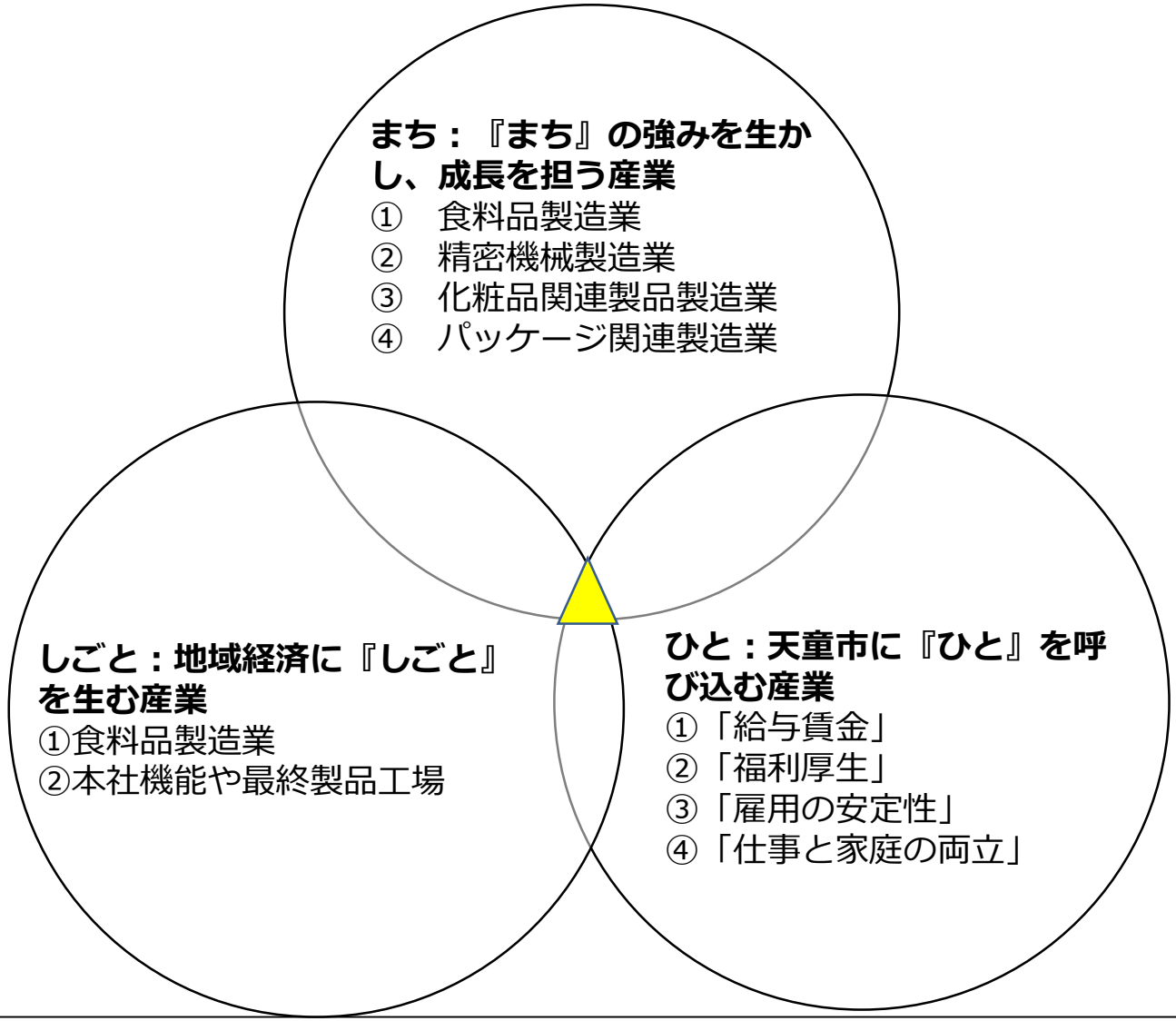
『生産動態統計』によると、今後も底堅い成長が見込まれ、かつ若者や女性への求心力が高いと推察される。また、天童市の自然環境や良質な地下水は、企業に対するＰＲポイントとなりうる。

④ パッケージ関連製造業

①③と関連し、小売り用パッケージは底堅く成長を続けている産業。コロナ以降も、家庭用製品の需要は大きく減ってはおらず、業界としてもトータルでのマイナスは小さい。

品目名称
油脂加工・医薬・食品製造用触媒
人造黒鉛電極(丸形)
容器成形充てん機
アスファルト舗装機械
その他の炭素製電極(連続自焼式電極ペーストを含む)
酸・アルカリ洗浄剤
洗濯用液体合成洗剤(中性)
無線通信測定器
蓄電池式運搬車(パレットトラックを含む)・内燃機関運搬車・無人搬送車
自動車排気ガス浄化用触媒
フルオロカーボン
ベンディングマシン(矯正機を含む)(金属加工用)
コールタール
アルミニウム電線
その他の仕上用化粧品
内燃機関(はん用ディーゼル機関)(30PS未満)
リップクリーム
自転車(電動アシスト車)
乳液
整流素子(100mA以上)
おしろい

検討まとめ



３つに共通する企業はあらゆる面で「魅力的」
⇒一般的にはこの全ての条件を満たすのは大企業が多いと思われる。
　しかしながら、大企業の本社機能を地方に誘致することは現実的に困難。

今後の方針

３つに共通する業種はあらゆる面で「魅力的」

⇒　一般的にはこの全ての条件を満たすのは大企業が多いと思われる。

しかし、大企業の本社機能を地方に誘致することは、絶対数が少なく、現実的に困難。

⇒　3条件のうち、2条件を満たす企業に対しても積極的に誘致を行い、誘致後も市が支援を行うことで、3条件を満たすような以下の施策が考えられる。

①　「まち」「ひと」の観点で優位性が高いと考えられる大企業の最終製品工場を誘致する。

（市の支援）「しごと」に関して、従来の取引関係を考慮して注力する誘致企業を選定する。

また、「誘致企業」と「市内企業」とのマッチング支援等により、取引関係の構築を図る。

②　「まち」「しごと」の観点で優位性が高いと考えられる本社機能も含めた誘致を行う。

ただし、大企業の本社機能移転は困難であるため、中堅企業の本社機能も含めて誘致を行う。

（市の支援）中堅企業については、「ひと」（若者や女性）への訴求力が比較的小さいため、企業情報の発信等により、「企業」と「ひと」のマッチング支援を行う。